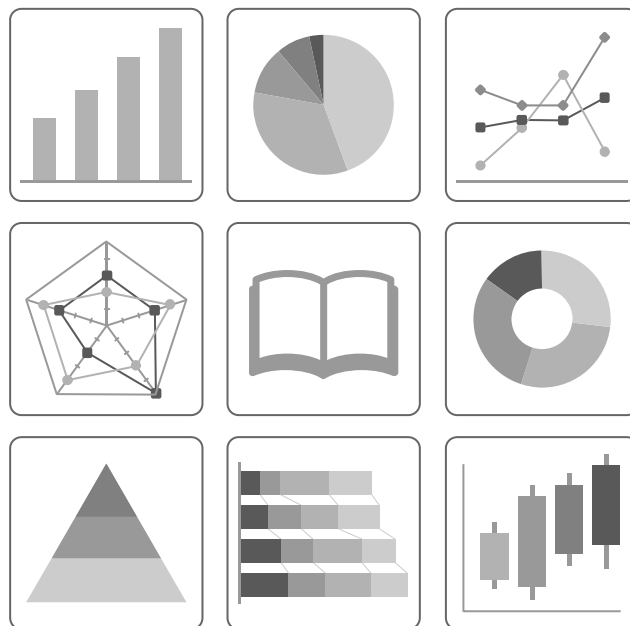


重症心身障害児者等の実態調査結果報告書



令和4年8月

名古屋市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	障害児（者）	2
	ご本人の状況	3
	日常生活の状況	8
	医療に関する状況	30
	福祉サービスの利用状況	33
	家族（介護者）の状況	53
	その他	69
2	事業所	90
III	調査票	116
1	障害児（者）	116
2	事業所	124

I 調査の概要

1 調査の目的

重症心身障害児者及びそのご家族の現在の状況やニーズ等を把握し、重症心身障害児者施設における今後の業務実施について検討するため、調査を実施するものです。

2 調査対象

障害児（者）：次のいずれかに該当する方

- ・愛護手帳が1度又は2度で、かつ身体障害者手帳の肢体不自由（下肢、体幹又は脳原性による移動機能障害）の程度が1級又は2級の方
- ・児童相談所から重症心身障害児として認定を受けた方

事業所：市内にある障害福祉サービス事業所等

3 調査期間

令和4年6月8日から令和4年7月8日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
障害児（者）	1,500 通	680 通	45.3%
事業所	5,200 通	3,040 通	58.5%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・クロス集計の分析については、左側のクロス項目を各選択肢の列でみた場合に、差がある部分を記載しています。
- ・調査結果における表記については、設問の中で続く内容については＜ ＞、クロス項目は【 】で表記しています。

Ⅱ 調査結果

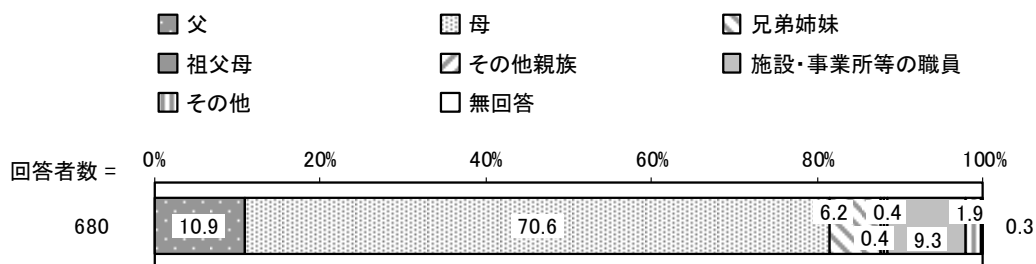
1 障害児（者）

問1 このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。ご本人（障害児・者）から見た続柄で1つだけ○をつけてください。

「母」の割合が70.6%と最も高く、次いで「父」の割合が10.9%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

	父	母	兄弟姉妹	祖父母	その他親族	施設・事業所等の職員	その他	無回答
全 体								
680	74	480	42	3	3	63	13	2
100.0	10.9	70.6	6.2	0.4	0.4	9.3	1.9	0.3

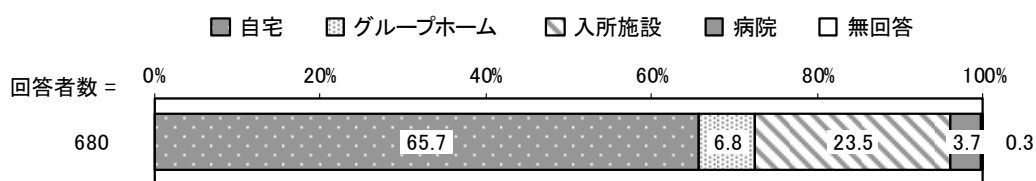


問2 ご本人が現在生活しているところについて、1つだけ○をつけてください。

「自宅」の割合が65.7%と最も高く、次いで「入所施設」の割合が23.5%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	自宅	グループホーム	入所施設	病院	無回答
680	447	46	160	25	2
100.0	65.7	6.8	23.5	3.7	0.3



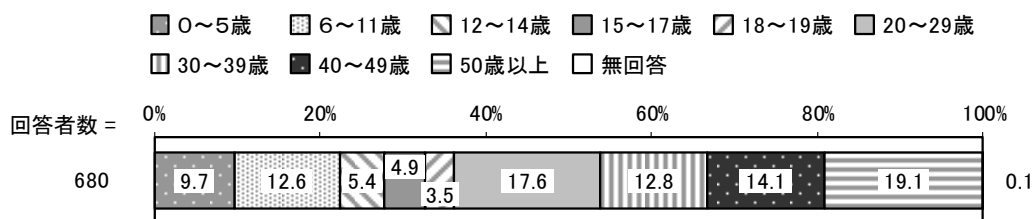
ご本人の状況

問3 ご本人の年齢を記入してください。（令和4年4月1日現在）

「50歳以上」の割合が19.1%と最も高く、次いで「20～29歳」の割合が17.6%、「40～49歳」の割合が14.1%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	無回答
680	66	86	37	33	24	120	87	96	130	1
100.0	9.7	12.6	5.4	4.9	3.5	17.6	12.8	14.1	19.1	0.1



問4 ご本人の身長と体重を記入してください。

身長

「150～160cm 未満」の割合が 21.8%と最も高く、次いで「140～150cm 未満」の割合が 19.7%、「160～170cm 未満」の割合が 10.9%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	100cm 未満	100～ 110cm 未満	110～ 120cm 未満	120～ 130cm 未満	130～ 140cm 未満	140～ 150cm 未満	150～ 160cm 未満	160～ 170cm 未満	170cm 以上	無回答
680	59	39	31	46	64	134	148	74	21	64
100.0	8.7	5.7	4.6	6.8	9.4	19.7	21.8	10.9	3.1	9.4

体重

「20～30kg 未満」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「30～40kg 未満」の割合が 19.1%、「10～20kg 未満」の割合が 18.8%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	10kg 未満	10～ 20kg 未満	20～ 30kg 未満	30～ 40kg 未満	40～ 50kg 未満	50～ 60kg 未満	60～ 70kg 未満	70～ 80kg 未満	80kg 以上	無回答
680	10	128	136	130	124	61	28	10	1	52
100.0	1.5	18.8	20.0	19.1	18.2	9.0	4.1	1.5	0.1	7.6

問5 ご本人のお住まいの区を記入してください。

なお、ご本人がグループホームに入居中の場合はグループホームの所在区、入所・入院中の場合は、入所・入院する前の居住区を記入してください。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区
680	22	13	75	75	27	9	21	22	24	43
100.0	3.2	1.9	11.0	11.0	4.0	1.3	3.1	3.2	3.5	6.3

港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区	無回答
44	49	70	70	54	32	30
6.5	7.2	10.3	10.3	7.9	4.7	4.4

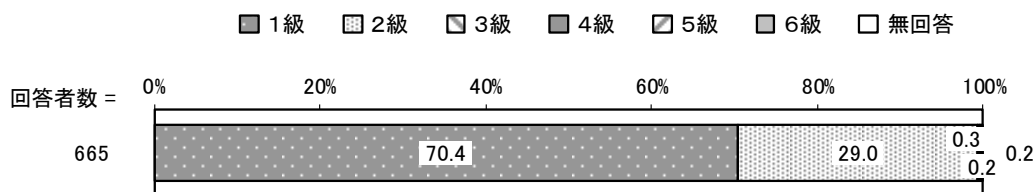
問6 ご本人の手帳の内容について記入してください。

身体障害者手帳 等級

「1級」の割合が70.4%と最も高く、次いで「2級」の割合が29.0%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	無回答
665	468	193	2	1	—	1	—
100.0	70.4	29.0	0.3	0.2	—	0.2	—

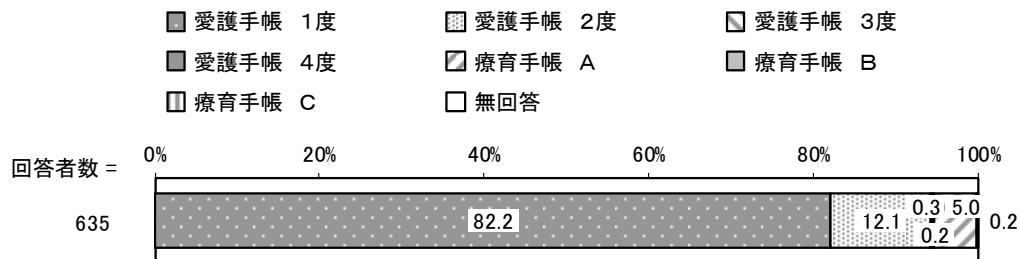


愛護手帳 等級

「1度」の割合が76.8%と最も高く、次いで「2度」の割合が11.3%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	1 度	2 度	3 度	4 度	A 判定	B 判定	C 判定	無回答
635	522	77	2	1	32	—	—	1
100.0	82.2	12.1	0.3	0.2	5.0	—	—	0.2



【身体障害者手帳・愛護手帳等比較】

「愛護手帳 1 度の方」は「愛護手帳 2 度」の方に比べ、「身体障害者手帳 1 級」の割合が 71.1%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

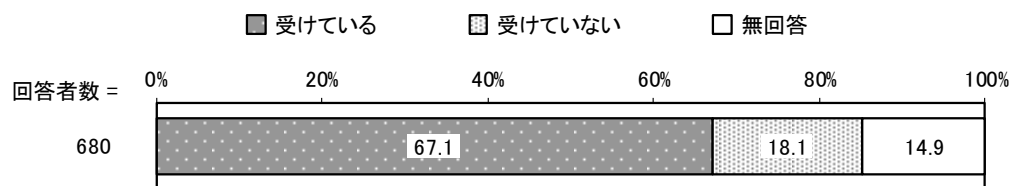
区分	全 体	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	無 回 答
全 体	626 100.0	438 70.0	186 29.7	2 0.3	- -	- -	- -	- -
1度	516 100.0	367 71.1	148 28.7	1 0.2	- -	- -	- -	- -
2度	75 100.0	40 53.3	34 45.3	1 1.3	- -	- -	- -	- -
3度	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
4度	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
A判定	31 100.0	27 87.1	4 12.9	- -	- -	- -	- -	- -
B判定	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
C判定	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
無回答	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

問7 ご本人は、障害支援区分の認定を受けていますか。いずれかに○をつけてください。

「受けている」の割合が 67.1%、「受けていない」の割合が 18.1%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	受けている	受けていない	無回答
680	456	123	101
100.0	67.1	18.1	14.9

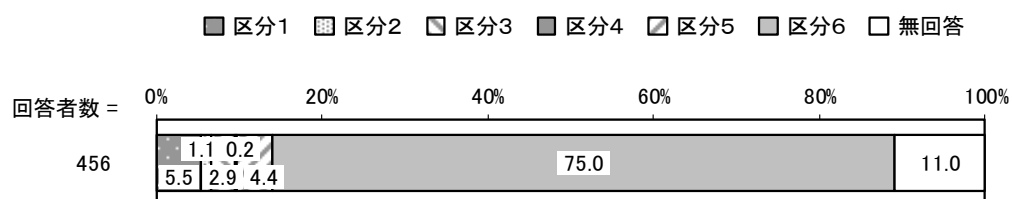


「受けている」方の障害支援区分

「区分6」の割合が 75.0%と最も高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	無回答
456	25	5	13	1	20	342	50
100.0	5.5	1.1	2.9	0.2	4.4	75.0	11.0



日常生活の状況

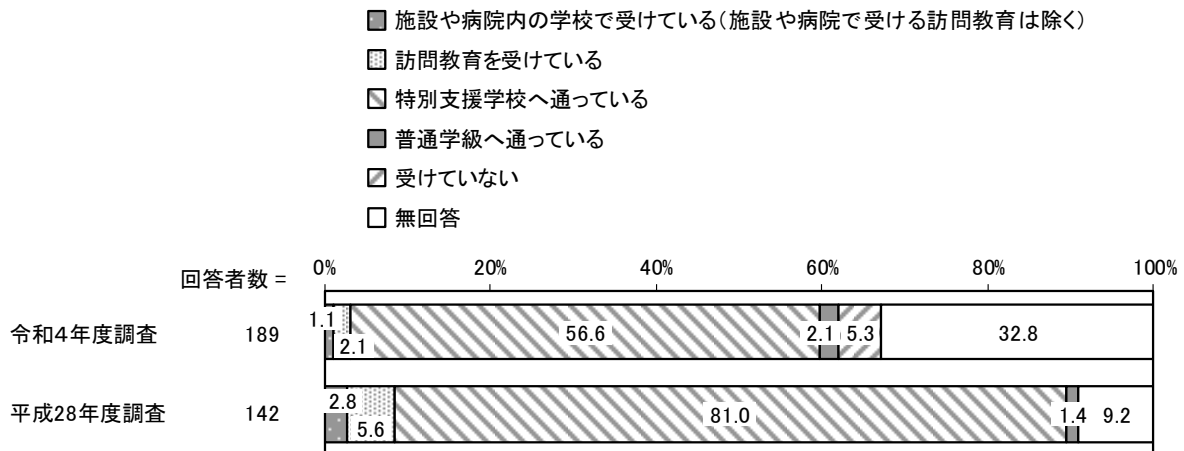
問 8 ご本人が義務教育対象年齢の方にお聞きします。学校教育はどこで受けていますか。1つだけ○をつけてください。

「特別支援学校へ通っている」の割合が 56.6%と最も高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「受けていない」の割合が 5.3%に増加しています。一方、「特別支援学校へ通っている」の割合が 56.6%に減少しています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	施設や病院内の学校で受けている（施設や病院で受ける訪問教育は除く）	訪問教育を受けている	特別支援学校へ通っている	普通学級へ通っている	受けていない	無回答
189 100.0	2 1.1	4 2.1	107 56.6	4 2.1	10 5.3	62 32.8

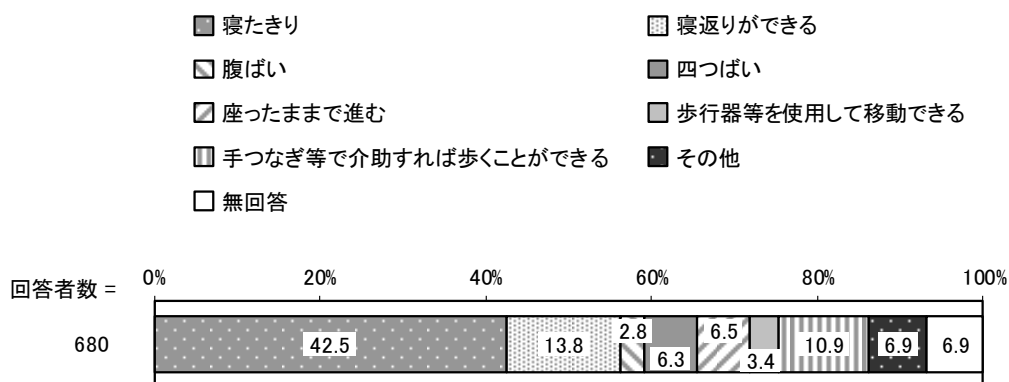


問9 ご本人の移動等の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

「寝たきり」の割合が42.5%と最も高く、次いで「寝返りができる」の割合が13.8%、「手つなぎ等で介助すれば歩くことができる」の割合が10.9%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

	寝たきり	寝返りができる	腹ばい	四つばい	座ったままで進む	歩行器具等を使用して移動できる	手つなぎ等で介助すれば歩くことができる	その他	無回答
全 体	289	94	19	43	44	23	74	47	47
	42.5	13.8	2.8	6.3	6.5	3.4	10.9	6.9	6.9



【移動等の状況（生活場所別）】

生活場所別でみると、他に比べ、病院で「寝たきり」の割合が76.0%、グループホームで「手つなぎ等で介助すれば歩くことができる」の割合が28.3%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	寝 た き り	寝 返 り が で き る	腹 ば い	四 つ ば い	座 っ た ま ま で 進 む	移 動 で き る 歩 行 器 等 を 使 用 し て	手 つ な ぎ 等 で 介 助 す れ ば 歩 く こ と が で き る	そ の 他	無 回 答
全 体	680 100.0	289 42.5	94 13.8	19 2.8	43 6.3	44 6.5	23 3.4	74 10.9	47 6.9	47 6.9
自宅	447 100.0	190 42.5	72 16.1	17 3.8	34 7.6	30 6.7	7 1.6	50 11.2	22 4.9	25 5.6
グループホーム	46 100.0	8 17.4	6 13.0	－ －	4 8.7	4 8.7	3 6.5	13 28.3	4 8.7	4 8.7
入所施設	160 100.0	72 45.0	15 9.4	2 1.3	4 2.5	10 6.3	13 8.1	10 6.3	20 12.5	14 8.8
病院	25 100.0	19 76.0	1 4.0	－ －	1 4.0	－ －	－ －	－ －	1 4.0	3 12.0
無回答	2 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 50.0	－ －	1 50.0

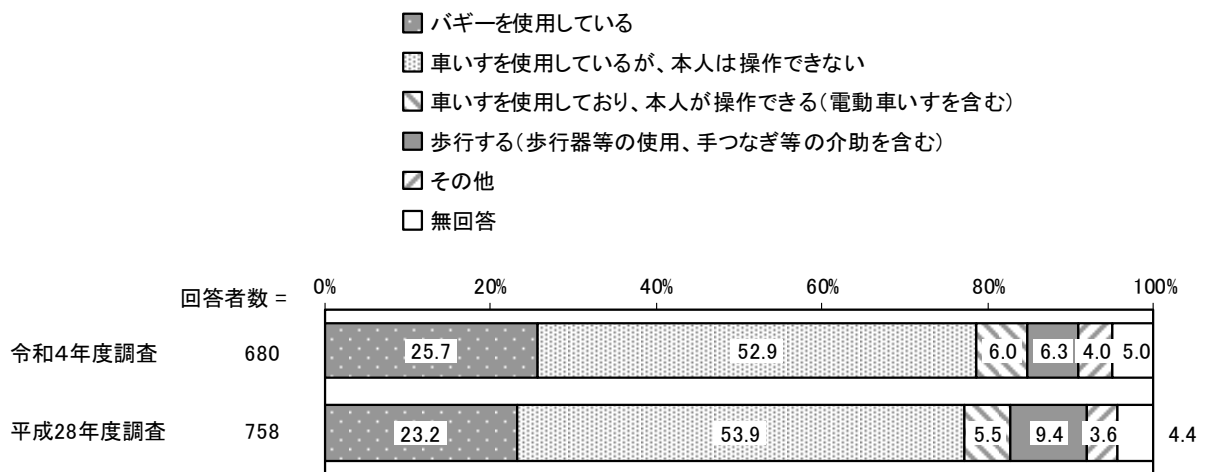
問 10 ご本人の移動の手段はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

「車いすを使用しているが、本人は操作できない」の割合が52.9%と最も高く、次いで「バギーを使用している」の割合が25.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	バギーを使用している	車いすを使用しているが、本人は操作できない	車いすを使用しており、本人が操作できる（電動車いすを含む）	歩行する（歩行器等の使用、手つなぎ等の介助を含む）	その他	無回答
680 100.0	175 25.7	360 52.9	41 6.0	43 6.3	27 4.0	34 5.0



【移動手段（生活場所別）】

生活場所別でみると、他に比べ、自宅で「バギーを使用している」の割合が 35.6%、病院で「車いすを使用しているが、本人は操作できない」の割合が 88.0%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	バ ギ ー を 使 用 し て い る	車 い す を 使 用 し て い る が、 本 人 は 操 作 で き な い	車 い す を 使 用 し て お り、 本 人 が 操 作 で き る （ 電 動 車 い す を 含 む ）	歩 行 す る （ 歩 行 器 等 の 使 用、 手 つ な ぎ 等 の 介 助 を 含 む ）	そ の 他	無 回 答
全 体	680 100.0	175 25.7	360 52.9	41 6.0	43 6.3	27 4.0	34 5.0
自宅	447 100.0	159 35.6	199 44.5	19 4.3	26 5.8	23 5.1	21 4.7
グループホーム	46 100.0	－ －	31 67.4	5 10.9	6 13.0	2 4.3	2 4.3
入所施設	160 100.0	15 9.4	107 66.9	17 10.6	10 6.3	1 0.6	10 6.3
病院	25 100.0	1 4.0	22 88.0	－ －	－ －	1 4.0	1 4.0
無回答	2 100.0	－ －	1 50.0	－ －	1 50.0	－ －	－ －

【移動手段（移動の状況別）】

移動の状況別でみると、他に比べ、腹ばいで「バギーを使用している」の割合が47.4%、座ったまま進むで「車いすを使用しているが、本人は操作できない」の割合が68.2%と高くなっています。また、手つなぎ等で介助すれば歩くことができるで「歩行する（歩行器等の使用、手つなぎ等の介助を含む）」の割合が45.9%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	バ ギ ー を 使 用 し て い る	車 い す を 使 用 し て い る が、 本 人 は 操 作 で き な い	車 い す を 使 用 し て お り、 本 人 が 操 作 で き る （ 電 動 車 い す を 含 む）	歩 行 す る （ 歩 行 等 器 等 の 使 用、 手 つ な ぎ 等 の 介 助 を 含 む）	そ の 他	無 回 答
全 体	680 100.0	175 25.7	360 52.9	41 6.0	43 6.3	27 4.0	34 5.0
寝たきり	289 100.0	93 32.2	176 60.9	8 2.8	－ －	12 4.2	－ －
寝返りができる	94 100.0	37 39.4	50 53.2	3 3.2	－ －	2 2.1	2 2.1
腹ばい	19 100.0	9 47.4	9 47.4	1 5.3	－ －	－ －	－ －
四つばい	43 100.0	9 20.9	26 60.5	6 14.0	－ －	1 2.3	1 2.3
座ったまま進む	44 100.0	9 20.5	30 68.2	4 9.1	－ －	1 2.3	－ －
歩行器等を使用して 移動できる	23 100.0	2 8.7	13 56.5	4 17.4	4 17.4	－ －	－ －
手つなぎ等で介助す れば歩くことができる	74 100.0	10 13.5	24 32.4	2 2.7	34 45.9	4 5.4	－ －
その他	47 100.0	4 8.5	23 48.9	9 19.1	5 10.6	6 12.8	－ －
無回答	47 100.0	2 4.3	9 19.1	4 8.5	－ －	1 2.1	31 66.0

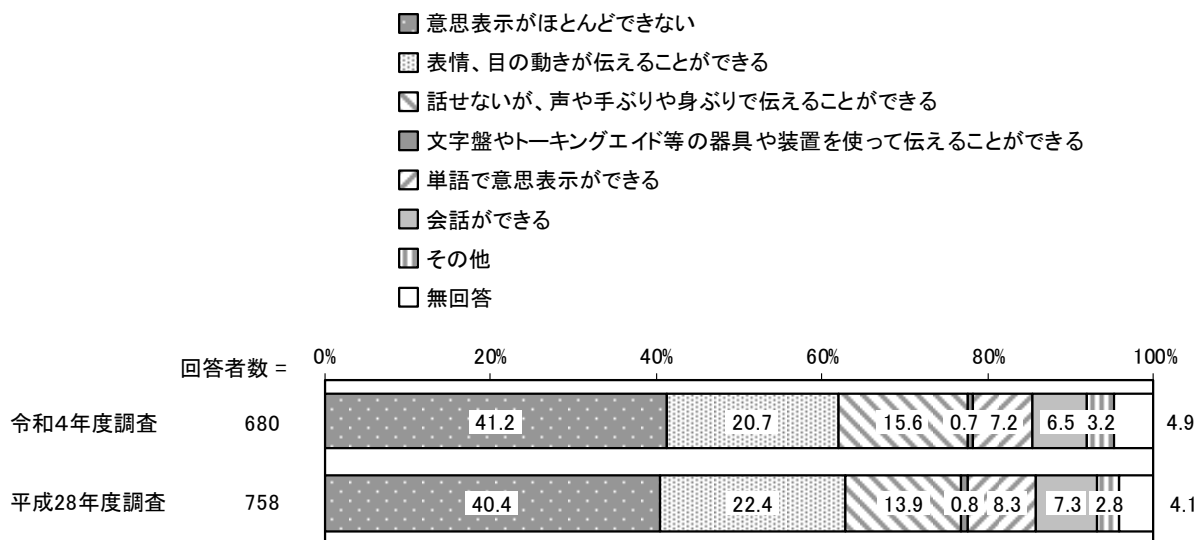
問 11 ご本人の意思表示・言語はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

「意思表示がほとんどできない」の割合が41.2%と最も高く、次いで「表情、目の動きが伝えることができる」の割合が20.7%、「話せないが、声や手ぶりや身ぶりで伝えることができる」の割合が15.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	意思表示がほとんど できない	表情、目の動きが 伝えることができる	話せないが、声や手ぶ りや身ぶりで伝えるこ とができる	文字盤やトーキング エイド等の器具や装置 を使って伝えることが できる	単語で意思表示が できる	会話ができる	その他	無回 答
680	280	141	106	5	49	44	22	33
100.0	41.2	20.7	15.6	0.7	7.2	6.5	3.2	4.9



【意思表示・言語（生活場所別）】

生活場所別でみると、他に比べ、病院で「意思表示がほとんどできない」の割合が56.0%、グループホームで「会話ができる」が13.0%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	意 思 表 示 が ほ と ん ど で き な い	表 情 、 目 の 動 き が 伝 え る こ と が で き る	話 せ な い が 、 声 や 手 ぶ り や 身 ぶ り で 伝 え る こ と が で き る	文 字 盤 や ト ー キ ン グ エ ィ ド 等 の 器 具 や 装 置 を 使 っ て 伝 え る こ と が で き る	単 語 で 意 思 表 示 が で き る	会 話 が で き る	そ の 他	無 回 答
全 体	680 100.0	280 41.2	141 20.7	106 15.6	5 0.7	49 7.2	44 6.5	22 3.2	33 4.9
自宅	447 100.0	174 38.9	104 23.3	76 17.0	1 0.2	34 7.6	26 5.8	13 2.9	19 4.3
グループホーム	46 100.0	17 37.0	4 8.7	7 15.2	3 6.5	3 6.5	6 13.0	4 8.7	2 4.3
入所施設	160 100.0	74 46.3	29 18.1	20 12.5	1 0.6	11 6.9	11 6.9	3 1.9	11 6.9
病院	25 100.0	14 56.0	4 16.0	3 12.0	－ －	1 4.0	－ －	2 8.0	1 4.0
無回答	2 100.0	1 50.0	－ －	－ －	－ －	－ －	1 50.0	－ －	－ －

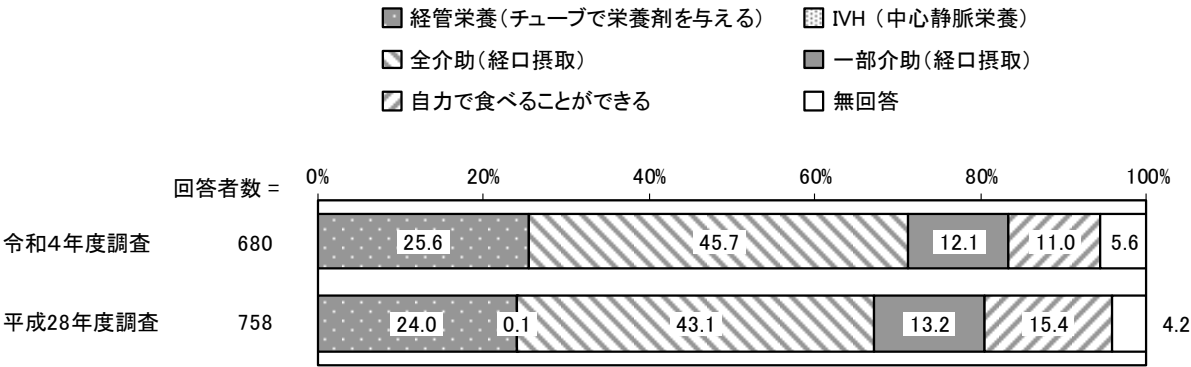
問 12 ご本人の食事の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

「全介助（経口摂取）」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「経管栄養（チューブで栄養剤を与える）」の割合が 25.6%、「一部介助（経口摂取）」の割合が 12.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	経管栄養（チューブで栄養剤を与える）	IVH（中心静脈栄養）	全介助（経口摂取）	一部介助（経口摂取）	自力で食べることができる	無回答
680	174	－	311	82	75	38
100.0	25.6	－	45.7	12.1	11.0	5.6



【食事の状況（生活場所別）】

生活場所別でみると、他に比べ、病院で「経管栄養（チューブで栄養剤を与える）」の割合が52.0%、グループホームで「一部介助（経口摂取）」の割合が23.9%、「自力で食べることができる」の割合が26.1%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	経管栄養 （チューブで 栄養剤を 与える）	I V H （中心静脈 栄養）	全 介 助 （経口 摂取）	一 部 介 助 （経口 摂取）	自 力 で 食 べ る こ と が で き る	無 回 答
全 体	680 100.0	174 25.6	－ －	311 45.7	82 12.1	75 11.0	38 5.6
自宅	447 100.0	118 26.4	－ －	215 48.1	54 12.1	39 8.7	21 4.7
グループホーム	46 100.0	－ －	－ －	21 45.7	11 23.9	12 26.1	2 4.3
入所施設	160 100.0	43 26.9	－ －	65 40.6	16 10.0	22 13.8	14 8.8
病院	25 100.0	13 52.0	－ －	9 36.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0
無回答	2 100.0	－ －	－ －	1 50.0	－ －	1 50.0	－ －

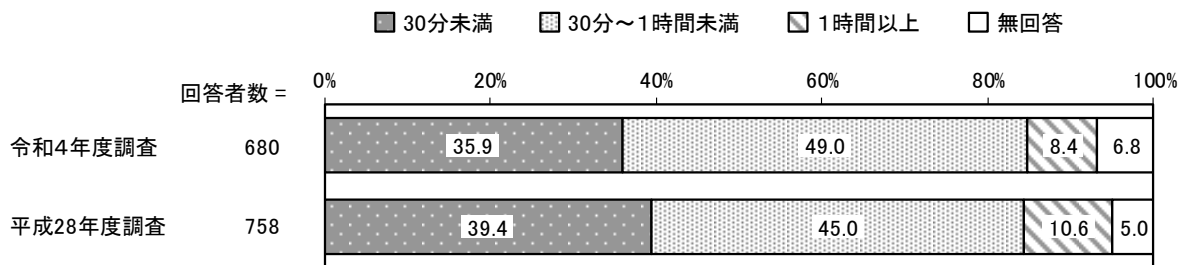
問 13 一回の食事に要する平均時間について、1つだけ○をつけてください。

「30 分～1 時間未満」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「30 分未満」の割合が 35.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	30 分未満	30 分～1 時間未満	1 時間以上	無回答
680	244	333	57	46
100.0	35.9	49.0	8.4	6.8



【一回の食事に要する平均時間（生活場所別）】

生活場所別でみると、他に比べ、入所施設及び病院で「30 分未満」の割合が 40.0%、グループホームで「30 分～1 時間未満」の割合が 58.7%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	30 分未満	30 分～1 時間未満	1 時間以上	無回答
全 体	680	244	333	57	46
	100.0	35.9	49.0	8.4	6.8
自宅	447	152	229	49	17
	100.0	34.0	51.2	11.0	3.8
グループホーム	46	16	27	1	2
	100.0	34.8	58.7	2.2	4.3
入所施設	160	64	69	6	21
	100.0	40.0	43.1	3.8	13.1
病院	25	10	8	1	6
	100.0	40.0	32.0	4.0	24.0
無回答	2	2	—	—	—
	100.0	100.0	—	—	—

【一回の食事に要する平均時間（食事の状況別）】

食事の状況別でみると、他に比べ、自力で食べることができるで「30 分未満」の割合が 68.0%、全介助（経口摂取）で「30 分～1 時間未満」の割合が 58.2%と高くなっています。また、経管栄養（チューブで栄養剤を与える）で「1 時間以上」の割合が 26.4%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	30 分 未 満	30 分 ～ 1 時 間 未 満	1 時 間 以 上	無 回 答
全 体	680 100.0	244 35.9	333 49.0	57 8.4	46 6.8
経管栄養（チューブで栄養剤を与える）	174 100.0	38 21.8	80 46.0	46 26.4	10 5.7
IVH（中心静脈栄養）	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
全介助（経口摂取）	311 100.0	115 37.0	181 58.2	10 3.2	5 1.6
一部介助（経口摂取）	82 100.0	38 46.3	42 51.2	1 1.2	1 1.2
自力で食べることができる	75 100.0	51 68.0	24 32.0	－ －	－ －
無回答	38 100.0	2 5.3	6 15.8	－ －	30 78.9

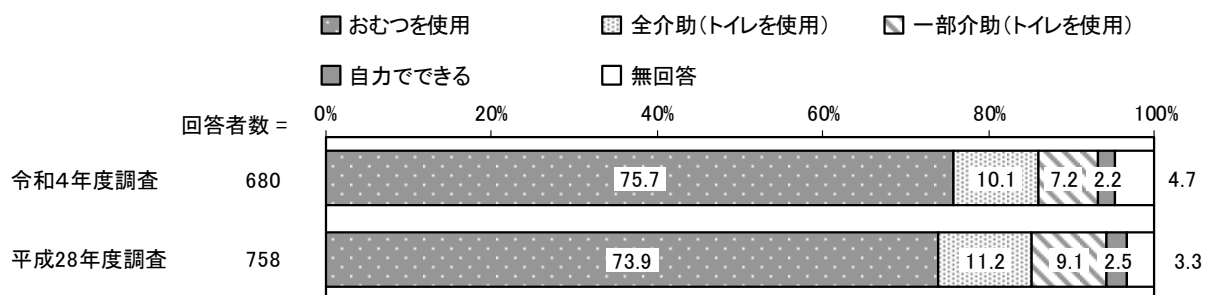
問 14 ご本人の排泄の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

「おむつを使用」の割合が 75.7%と最も高く、次いで「全介助(トイレを使用)」の割合が 10.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	使用 おむつを	全介助 (トイレ を使用)	一部介助 (トイレ を使用)	自力で できる	無回答
680 100.0	515 75.7	69 10.1	49 7.2	15 2.2	32 4.7



【排泄の状況（生活場所別）】

生活場所別でみると、他に比べ、病院で「おむつを使用」の割合が 92.0%、グループホームで「全介助(トイレを使用)」の割合が 37.0%「一部介助(トイレを使用)」の割合が 15.2%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	使用 おむつを	全介助 (トイレ を使用)	一部介助 (トイレ を使用)	自力で できる	無回答
全 体	680 100.0	515 75.7	69 10.1	49 7.2	15 2.2	32 4.7
自宅	447 100.0	364 81.4	31 6.9	31 6.9	5 1.1	16 3.6
グループホーム	46 100.0	16 34.8	17 37.0	7 15.2	3 6.5	3 6.5
入所施設	160 100.0	112 70.0	19 11.9	11 6.9	6 3.8	12 7.5
病院	25 100.0	23 92.0	1 4.0	— —	— —	1 4.0
無回答	2 100.0	— —	1 50.0	— —	1 50.0	— —

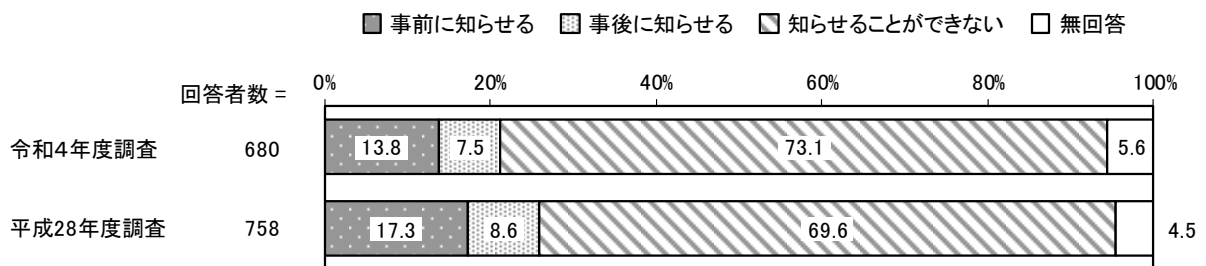
問 15 ご本人の排泄の予告の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

「知らせることができない」の割合が73.1%と最も高く、次いで「事前に知らせる」の割合が13.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	事前に 知らせる	事後に 知らせる	知らせ ことが でき ない	無回 答
680	94	51	497	38
100.0	13.8	7.5	73.1	5.6



【排泄の予告の状況（生活場所別）】

生活場所別でみると、他に比べ、グループホームで「事前に知らせる」の割合が37.0%、病院で「知らせることができない」の割合が88.0%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	事前に 知らせる	事後に 知らせる	知らせ ことが でき ない	無回 答
全 体	680 100.0	94 13.8	51 7.5	497 73.1	38 5.6
自宅	447 100.0	52 11.6	42 9.4	334 74.7	19 4.3
グループホーム	46 100.0	17 37.0	1 2.2	25 54.3	3 6.5
入所施設	160 100.0	24 15.0	7 4.4	115 71.9	14 8.8
病院	25 100.0	— —	1 4.0	22 88.0	2 8.0
無回答	2 100.0	1 50.0	— —	1 50.0	— —

【排泄の予告の状況（意思表示・言語別）】

意思表示・言語別でみると、他に比べ、会話ができるで「事前に知らせる」の割合が 65.9%、「事後に知らせる」の割合が 20.5%、意思表示がほとんどできないで「知らせることができない」の割合が 92.9%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	事 前 に 知 ら せ る	事 後 に 知 ら せ る	知 ら せ る こ と が で き な い	無 回 答
全 体	680 100.0	94 13.8	51 7.5	497 73.1	38 5.6
意思表示がほとんどできない	280 100.0	10 3.6	7 2.5	260 92.9	3 1.1
表情、目の動きが伝えることができる	141 100.0	9 6.4	12 8.5	118 83.7	2 1.4
話せないが、声や手ぶりや身ぶりで 伝えることができる	106 100.0	20 18.9	11 10.4	74 69.8	1 0.9
文字盤やトーキングエイド等の器具や 装置を使って伝えることができる	5 100.0	3 60.0	2 40.0	－ －	－ －
単語で意思表示ができる	49 100.0	20 40.8	6 12.2	22 44.9	1 2.0
会話ができる	44 100.0	29 65.9	9 20.5	5 11.4	1 2.3
その他	22 100.0	3 13.6	3 13.6	15 68.2	1 4.5
無回答	33 100.0	－ －	1 3.0	3 9.1	29 87.9

【排泄の予告の状況（排泄の状況別）】

排泄の状況別でみると、他に比べ、おむつを使用で「知らせることができない」の割合が 87.4%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	事前 に 知 ら せ る	事後 に 知 ら せ る	知 ら せ る こ と が で き な い	無 回 答
全 体	680 100.0	94 13.8	51 7.5	497 73.1	38 5.6
おむつを使用	515 100.0	17 3.3	44 8.5	450 87.4	4 0.8
全介助(トイレを使用)	69 100.0	32 46.4	3 4.3	33 47.8	1 1.4
一部介助(トイレを使用)	49 100.0	33 67.3	4 8.2	11 22.4	1 2.0
自力でできる	15 100.0	10 66.7	－ －	3 20.0	2 13.3
無回答	32 100.0	2 6.3	－ －	－ －	30 93.8

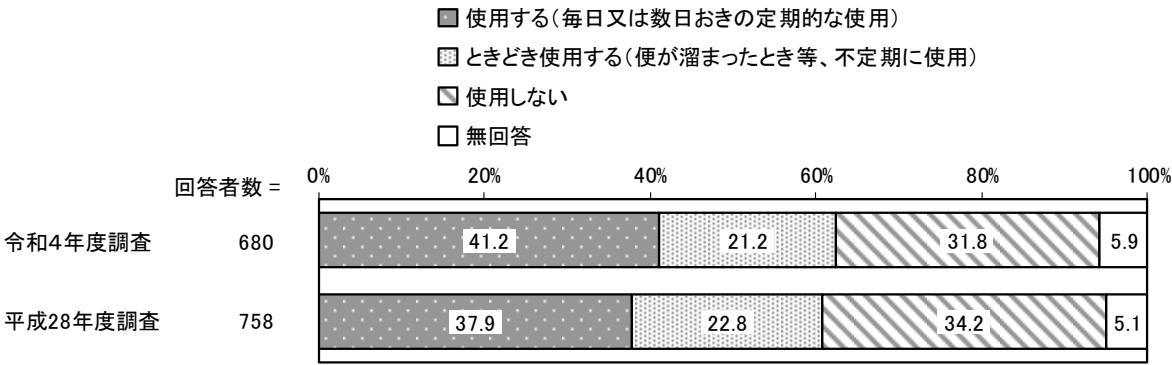
問 16 ご本人の排便に関して緩下剤又は浣腸を使用しますか。
1つだけ○をつけてください。

「使用する（毎日又は数日おきの定期的な使用）」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「使用しない」の割合が 31.8%、「ときどき使用する（便が溜まったとき等、不定期に使用）」の割合が 21.2%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	使用する (毎日又は 数日おきの 定期的な使 用)	ときどき使 用する (便が溜ま ったとき 等、不定期 に使用)	使用しない	無回答
680	280	144	216	40
100.0	41.2	21.2	31.8	5.9

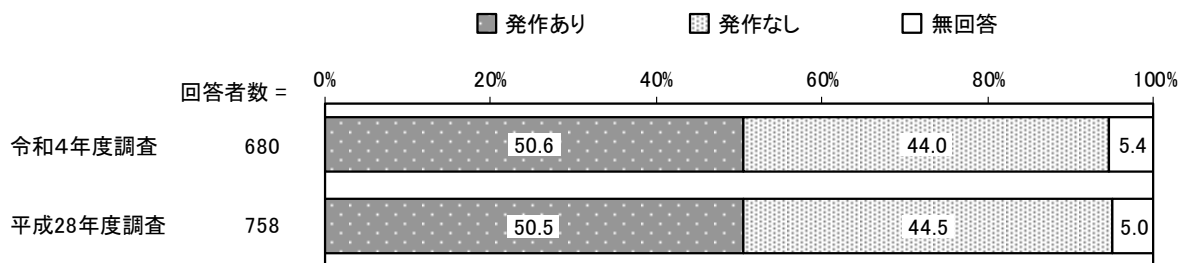


問 17 ご本人はてんかん発作がありますか。いずれかに○をつけてください。また、「発作あり」に○をつけた方は、その頻度について、平均回数を記入し、回答された回数の単位に○をつけてください。

「発作あり」の割合が 50.6%、「発作なし」の割合が 44.0%となっています。
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	発作あり	発作なし	無回答
680 100.0	344 50.6	299 44.0	37 5.4



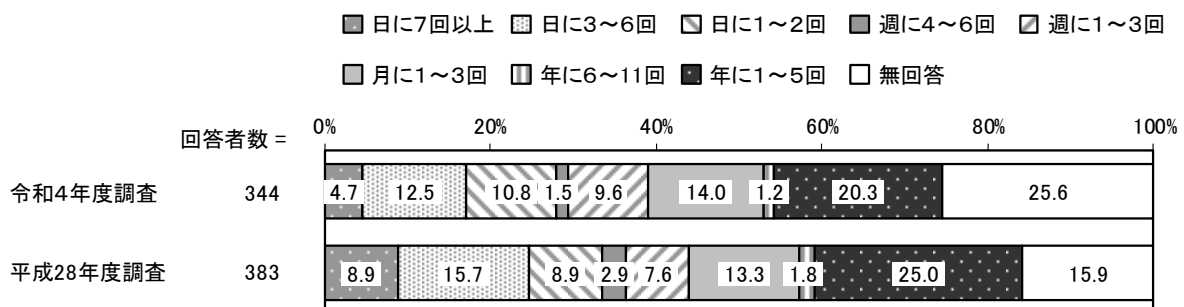
<発作の頻度>

「年に1～5回」の割合が 20.3%と最も高く、次いで「月に1～3回」の割合が 14.0%、「日に3～6回」の割合が 12.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	日に7回以上	日に3～6回	日に1～2回	週に4～6回	週に1～3回	月に1～3回	年に6～11回	年に1～5回	無回答
344 100.0	16 4.7	43 12.5	37 10.8	5 1.5	33 9.6	48 14.0	4 1.2	70 20.3	88 25.6

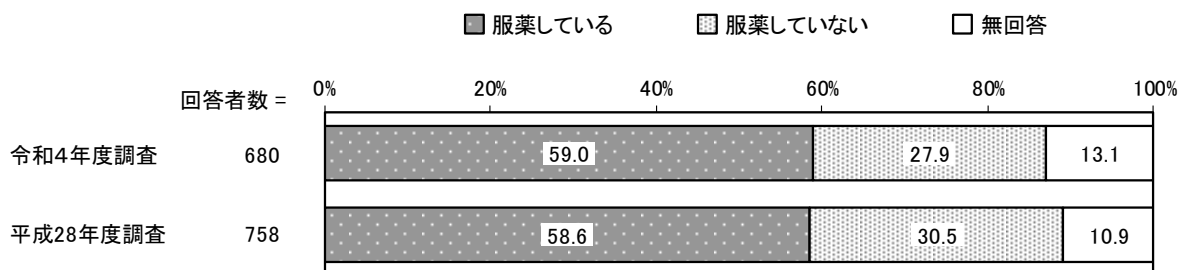


問 18 てんかん発作を抑える服薬はしていますか。いずれかに○をつけてください。

「服薬している」の割合が 59.0%、「服薬していない」の割合が 27.9%となっています。
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	服薬している	服薬していない	無回答
680 100.0	401 59.0	190 27.9	89 13.1



【てんかん発作を抑える服薬の有無（発作の有無別）】

発作の有無別でみると、発作なしに比べ、発作ありで「服用している」の割合が 93.0%と高くなっています。一方、発作ありに比べ、発作なしで「服用していない」の割合が 56.5%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	服薬している	服薬していない	無回答
全 体	680 100.0	401 59.0	190 27.9	89 13.1
発作あり	344 100.0	320 93.0	21 6.1	3 0.9
発作なし	299 100.0	77 25.8	169 56.5	53 17.7
無回答	37 100.0	4 10.8	— —	33 89.2

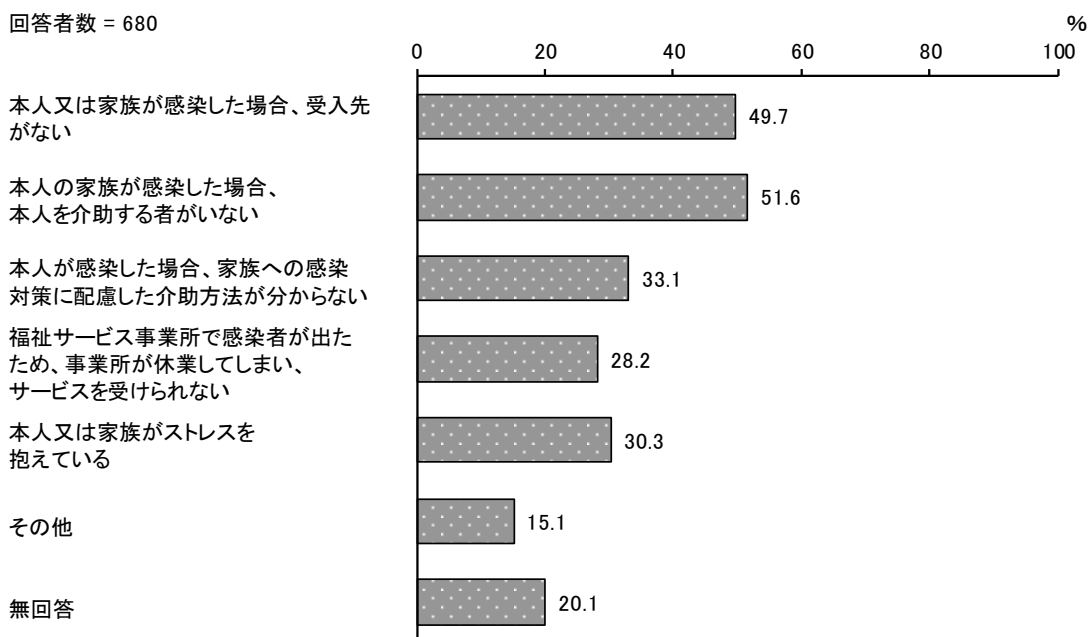
問 19 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活等でお困りのことはありますか。あてはまるものがありましたら、すべてに○をつけてください。

「本人の家族が感染した場合、本人を介助する者がいない」の割合が51.6%と最も高く、次いで「本人又は家族が感染した場合、受入先がない」の割合が49.7%、「本人が感染した場合、家族への感染対策に配慮した介助方法が分からない」の割合が33.1%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	本人又は家族が感染した場合、 受入先がない	本人の家族が感染した場合、 本人を介助する者がいない	本人が感染した場合、家族への 感染対策に配慮した介助方法が 分からない	福祉サービス事業所で感染者が 出たため、事業所が休業してし まい、サービスを受けられない	本人又は家族がストレスを 抱えている	その他	無回 答
680	338	351	225	192	206	103	137
100.0	49.7	51.6	33.1	28.2	30.3	15.1	20.1

回答者数 = 680



【新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活での困り事（生活場所別）】

生活場所別でみると、他に比べ、自宅で「本人又は家族が感染した場合、受入先がない」の割合が 67.8%、「本人の家族が感染した場合、本人を介助する者がいない」の割合が 72.5%、「本人が感染した場合、家族への感染対策に配慮した介助方法が分からない」の割合が 45.0%、グループホームで「本人又は家族がストレスを抱えている」の割合が 43.5%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	本人又は家族が感染した場合、 受入先がない	本人の家族が感染した場合、 本人を介助する者がいない	本人が感染した場合、家族への 感染対策に配慮した介助方法が 分からない	福祉サービス事業所で感染者が 出たため、事業所が休業してし まい、サービスを受けられない	本人又は家族がストレスを 抱えている	その他	無回 答
全 体	680 100.0	338 49.7	351 51.6	225 33.1	192 28.2	206 30.3	103 15.1	137 20.1
自宅	447 100.0	303 67.8	324 72.5	201 45.0	172 38.5	130 29.1	55 12.3	46 10.3
グループホーム	46 100.0	21 45.7	18 39.1	16 34.8	17 37.0	20 43.5	8 17.4	6 13.0
入所施設	160 100.0	13 8.1	7 4.4	8 5.0	3 1.9	51 31.9	33 20.6	70 43.8
病院	25 100.0	1 4.0	2 8.0	- -	- -	4 16.0	7 28.0	14 56.0
無回答	2 100.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -	1 50.0

【新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活での困り事（年齢別）】

年齢別でみると、他に比べ、18～19歳で「本人の家族が感染した場合、本人を介助する者がいない」の割合が79.2%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	本人又は家族が感染した場合、 受入先がない	本人の家族が感染した場合、 本人を介助する者がいない	本人が感染した場合、家族への 感染対策に配慮した介助方法が 分からない	福祉サービス事業所で感染者が 出たため、事業所が休業してし まい、サービスを受けられない	本人又は家族がストレスを 抱えている	その他	無回 答
全 体	680 100.0	338 49.7	351 51.6	225 33.1	192 28.2	206 30.3	103 15.1	137 20.1
0～5歳	66 100.0	31 47.0	37 56.1	32 48.5	21 31.8	19 28.8	8 12.1	9 13.6
6～11歳	86 100.0	57 66.3	62 72.1	33 38.4	27 31.4	17 19.8	8 9.3	8 9.3
12～14歳	37 100.0	22 59.5	25 67.6	12 32.4	16 43.2	13 35.1	5 13.5	4 10.8
15～17歳	33 100.0	21 63.6	23 69.7	11 33.3	10 30.3	8 24.2	4 12.1	5 15.2
18～19歳	24 100.0	17 70.8	19 79.2	11 45.8	7 29.2	11 45.8	3 12.5	4 16.7
20～29歳	120 100.0	80 66.7	84 70.0	49 40.8	47 39.2	39 32.5	22 18.3	13 10.8
30～39歳	87 100.0	52 59.8	49 56.3	41 47.1	36 41.4	37 42.5	15 17.2	10 11.5
40～49歳	96 100.0	35 36.5	31 32.3	18 18.8	18 18.8	25 26.0	17 17.7	31 32.3
50歳以上	130 100.0	23 17.7	21 16.2	18 13.8	10 7.7	37 28.5	21 16.2	52 40.0
無回答	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0

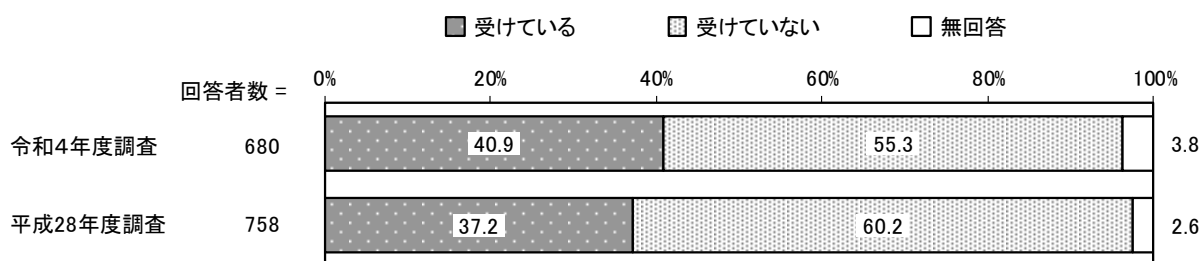
医療に関する状況

問 20 ご本人は医療的処置を受けていますか。いずれかに○をつけてください。
また、「受けている」に○をつけた方は、受けている医療的処置すべてに○をつけてください。

「受けている」の割合が 40.9%、「受けていない」の割合が 55.3%となっています。
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	受けている	受けていない	無回答
680	278	376	26
100.0	40.9	55.3	3.8



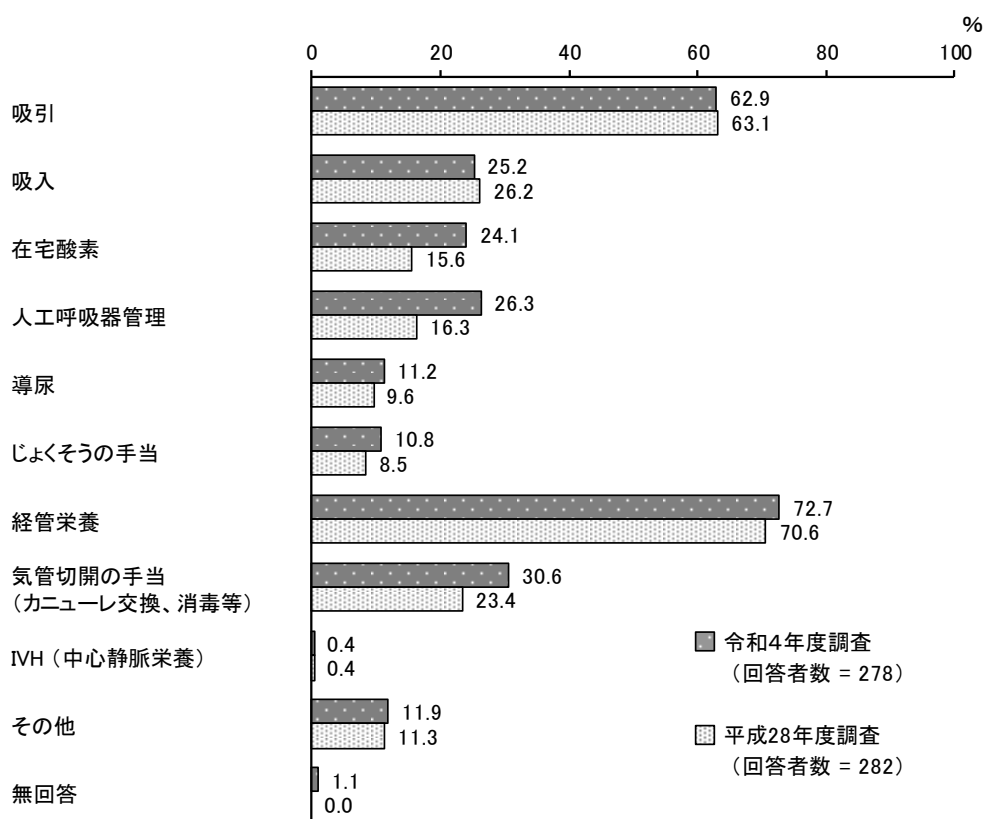
<処置内容>

「経管栄養」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「吸引」の割合が 62.9%、「気管切開の手当（カニューレ交換、消毒等）」の割合が 30.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「在宅酸素」「人工呼吸器管理」「気管切開の手当（カニューレ交換、消毒等）」の割合が増加しています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	吸引	吸入	在宅酸素	人工呼吸器管理	導尿	じょくそうの手当	経管栄養	気管切開の手当（カニューレ交換、消毒等）	I V H（中心静脈栄養）	その他	無回答
278	175	70	67	73	31	30	202	85	1	33	3
100.0	62.9	25.2	24.1	26.3	11.2	10.8	72.7	30.6	0.4	11.9	1.1



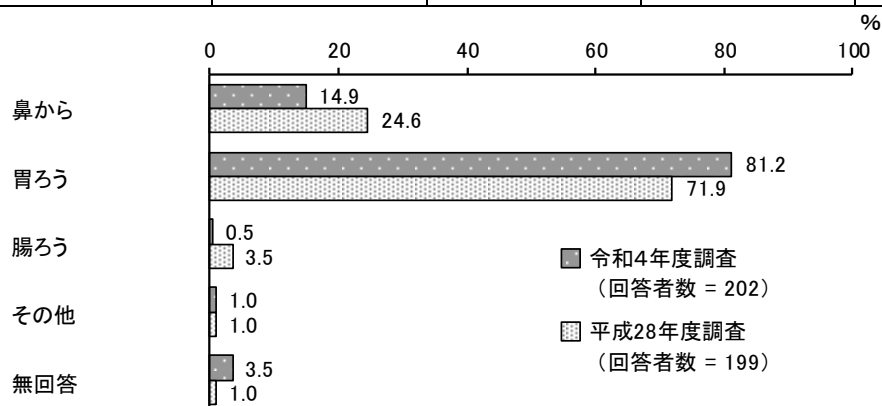
<経管栄養において、あてはまる処置>

「胃ろう」の割合が81.2%と最も高く、次いで「鼻から」の割合が14.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「胃ろう」の割合が増加しています。一方、「鼻から」の割合が減少しています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	鼻から	胃ろう	腸ろう	その他	無回答
202	30	164	1	2	7
100.0	14.9	81.2	0.5	1.0	3.5

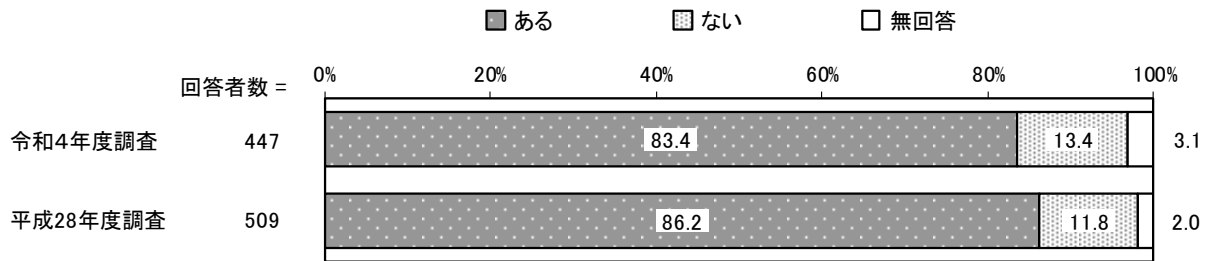


問 21 問 2 で、ご本人が現在生活しているところを「自宅」と答えた方のみ記入してください。
 ご本人が風邪、軽症な感染症等の診療、予防接種等が必要な場合、地域でかけられる診療所等がありますか。いずれかに○をつけ、ある場合はかかる診療科を記入してください。

「ある」の割合が 83.4%、「ない」の割合が 13.4%となっています。
 平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	ある	ない	無回答
447	373	60	14
100.0	83.4	13.4	3.1



【地域でかけられる診療所の有無（医療的処置の有無別）】

医療的処置の有無別でみると、他に比べ、受けていないで「ある」の割合が 88.5%、受けているで「ない」の割合が 20.3%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	ある	ない	無回答
全 体	447 100.0	373 83.4	60 13.4	14 3.1
受けている	187 100.0	145 77.5	38 20.3	4 2.1
受けていない	253 100.0	224 88.5	21 8.3	8 3.2
無回答	7 100.0	4 57.1	1 14.3	2 28.6

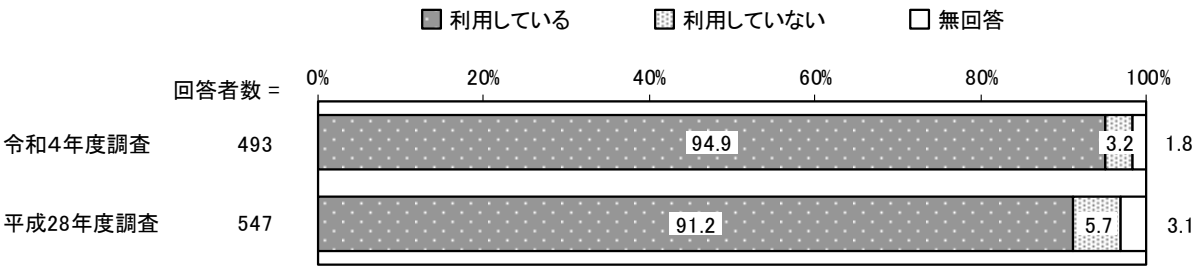
福祉サービスの利用状況

問 22 ご本人は現在、福祉サービスを利用していますか。いずれかに○をつけてください。
また、「利用している」に○をつけた方は、利用しているサービスすべてに○をつけてください。

「利用している」の割合が 94.9%、「利用していない」の割合が 3.2%となっています。
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	利用 している	利用 していない	無 回 答
493	468	16	9
100.0	94.9	3.2	1.8



【福祉サービスの利用の有無（年齢別）】

年齢別でみると、他に比べ、40～49 歳で「利用していない」の割合が 12.2%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
全 体	493 100.0	468 94.9	16 3.2	9 1.8
0～5歳	65 100.0	58 89.2	4 6.2	3 4.6
6～11 歳	81 100.0	77 95.1	1 1.2	3 3.7
12～14 歳	36 100.0	35 97.2	1 2.8	－ －
15～17 歳	29 100.0	28 96.6	1 3.4	－ －
18～19 歳	24 100.0	24 100.0	－ －	－ －
20～29 歳	102 100.0	102 100.0	－ －	－ －
30～39 歳	68 100.0	66 97.1	－ －	2 2.9
40～49 歳	49 100.0	42 85.7	6 12.2	1 2.0
50 歳以上	39 100.0	36 92.3	3 7.7	－ －
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －

【福祉サービスの利用の有無（移動の状況別）】

移動の状況別でみると、他に比べ、その他で「利用していない」の割合が 19.2%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
全 体	493 100.0	468 94.9	16 3.2	9 1.8
寝たきり	198 100.0	189 95.5	6 3.0	3 1.5
寝返りができる	78 100.0	76 97.4	－ －	2 2.6
腹ばい	17 100.0	16 94.1	－ －	1 5.9
四つばい	38 100.0	37 97.4	1 2.6	－ －
座ったままで進む	34 100.0	34 100.0	－ －	－ －
歩行器等を使用して 移動できる	10 100.0	9 90.0	1 10.0	－ －
手つなぎ等で介助すれば 歩くことができる	63 100.0	60 95.2	2 3.2	1 1.6
その他	26 100.0	20 76.9	5 19.2	1 3.8
無回答	29 100.0	27 93.1	1 3.4	1 3.4

【福祉サービスの利用の有無（新型コロナウイルス感染症の影響によりお困りの事柄別）】

新型コロナウイルス感染症の影響によりお困りの事柄別でみると、大きな差異はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
全 体	493 100.0	468 94.9	16 3.2	9 1.8
本人又は家族が感染した場合、受入先がない	324 100.0	311 96.0	9 2.8	4 1.2
本人の家族が感染した場合、本人を介助する者がいない	342 100.0	328 95.9	10 2.9	4 1.2
本人が感染した場合、家族への感染対策に配慮した介助方法が分からない	217 100.0	208 95.9	6 2.8	3 1.4
福祉サービス事業所で感染者が出たため、事業所が休業してしまい、サービスを受けられない	189 100.0	186 98.4	1 0.5	2 1.1
本人又は家族がストレスを抱えている	150 100.0	146 97.3	4 2.7	－ －
その他	63 100.0	58 92.1	5 7.9	－ －
無回答	52 100.0	48 92.3	1 1.9	3 5.8

【福祉サービスの利用の有無（医療的処置の有無別）】

医療的処置の有無別でみると、他に比べ、大きな差異はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
全 体	493 100.0	468 94.9	16 3.2	9 1.8
受けている	194 100.0	190 97.9	3 1.5	1 0.5
受けていない	290 100.0	271 93.4	13 4.5	6 2.1
無回答	9 100.0	7 77.8	－ －	2 22.2

【福祉サービスの利用の有無（地域でかかれる診療所の有無別）】

地域でかかれる診療所の有無別でみると、大きな差異はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
全 体	447 100.0	422 94.4	16 3.6	9 2.0
ある	373 100.0	354 94.9	14 3.8	5 1.3
ない	60 100.0	57 95.0	2 3.3	1 1.7
無回答	14 100.0	11 78.6	－ －	3 21.4

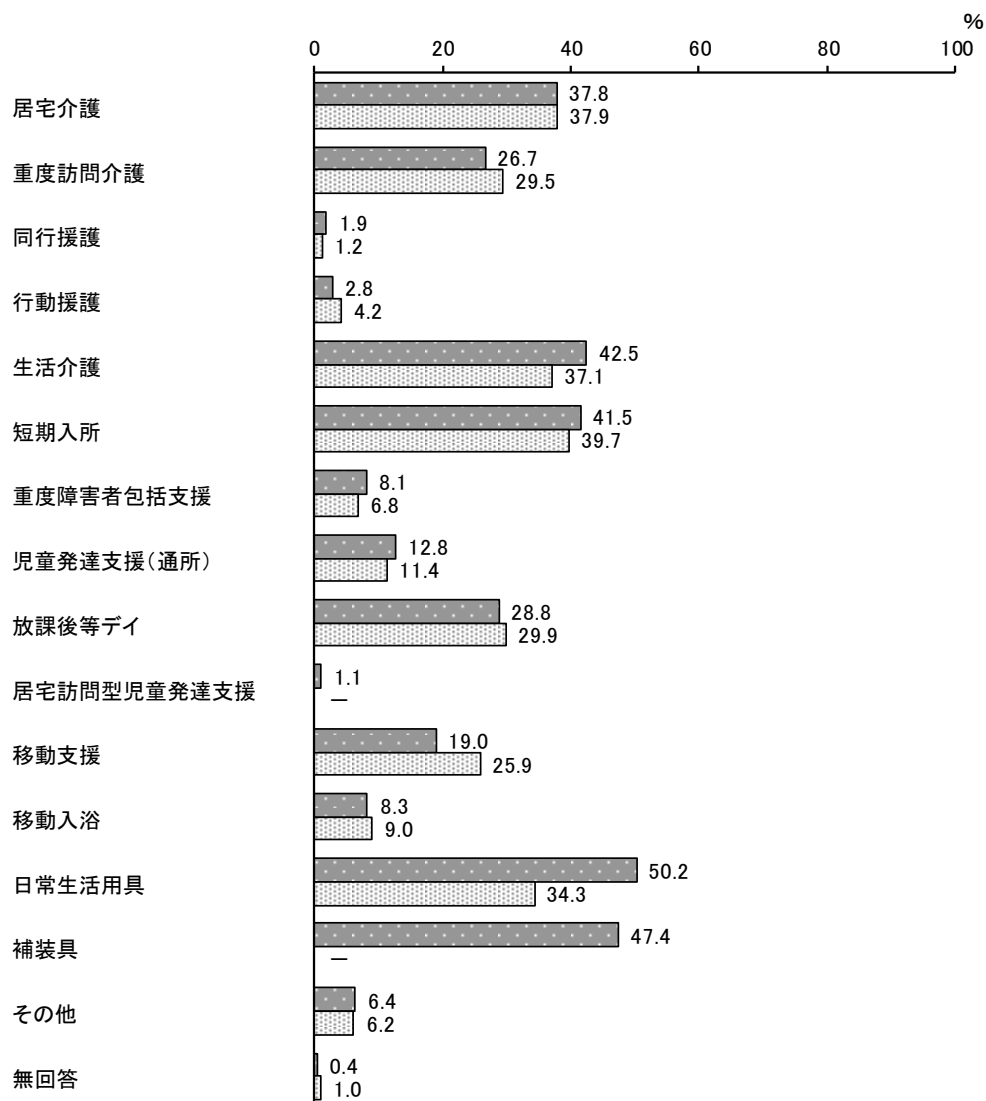
<利用しているサービス>

「日常生活用具」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「補装具」の割合が 47.4%、「生活介護」の割合が 42.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「生活介護」、「日常生活用具」の割合が増加しています。一方、「移動支援」の割合が減少しています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	生活介護	短期入所	重度障害者包括支援	児童発達支援（通所）	放課後等デイ	居宅訪問型児童発達支援	移動支援	移動入浴	日常生活用具	補装具	その他	無回答
468	177	125	9	13	199	194	38	60	135	5	89	39	235	222	30	2
100.0	37.8	26.7	1.9	2.8	42.5	41.5	8.1	12.8	28.8	1.1	19.0	8.3	50.2	47.4	6.4	0.4



※平成 28 年度は「居宅訪問型児童発達支援」と「補装具」の選択肢はありませんでした。

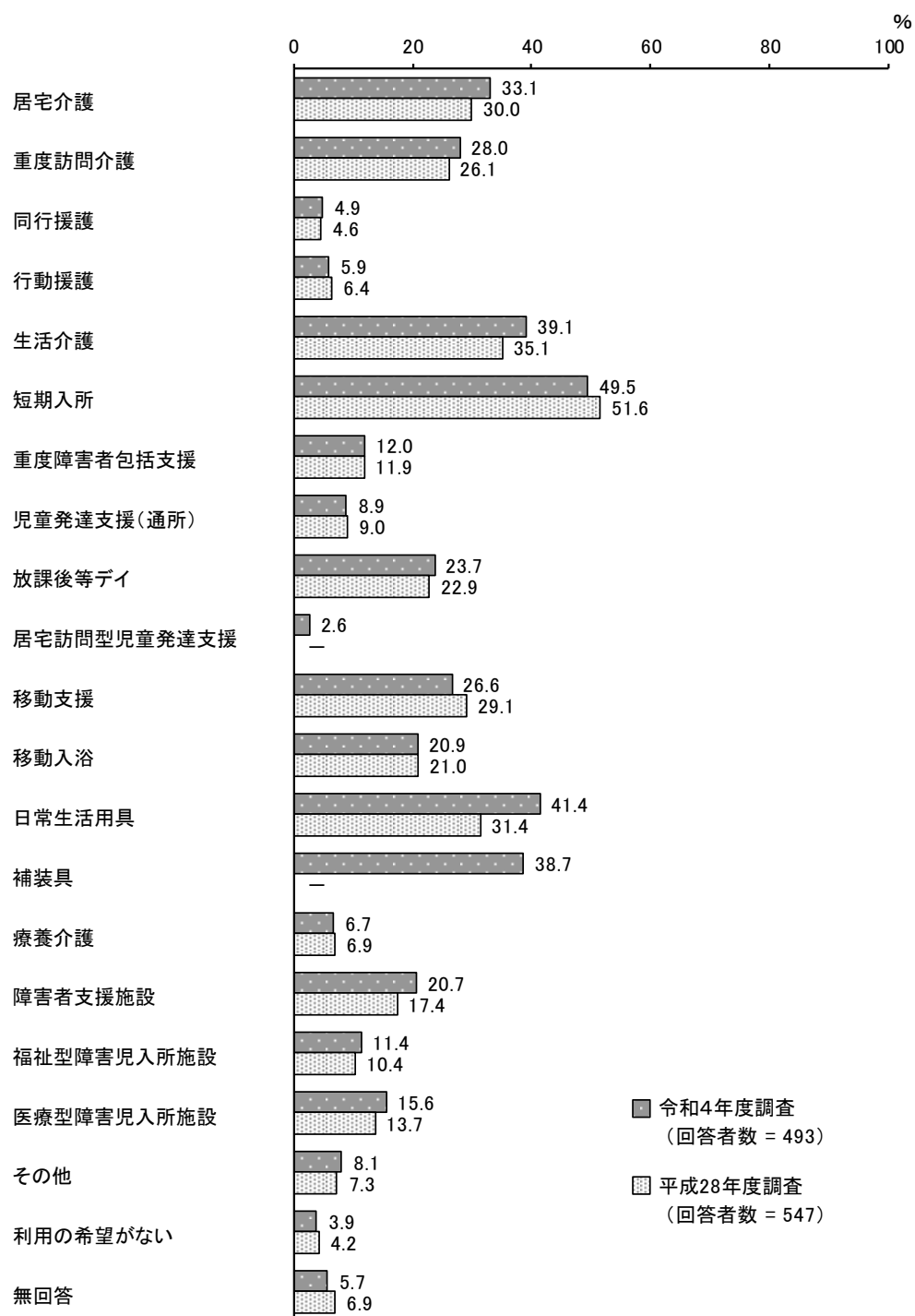
問 23 今後どのような福祉サービスの利用を希望しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「短期入所」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「日常生活用具」の割合が 41.4%、「生活介護」の割合が 39.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「日常生活用具」の割合が 41.4%に増加しています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	生活介護	短期入所	重度障害者包括支援	児童発達支援（通所）	放課後等デイ	居宅訪問型児童発達支援
493 100.0	163 33.1	138 28.0	24 4.9	29 5.9	193 39.1	244 49.5	59 12.0	44 8.9	117 23.7	13 2.6
移動支援	移動入浴	日常生活用具	補装具	療養介護	障害者支援施設	福祉型障害児入所施設	医療型障害児入所施設	その他	利用の希望がない	無回答
131 26.6	103 20.9	204 41.4	191 38.7	33 6.7	102 20.7	56 11.4	77 15.6	40 8.1	19 3.9	28 5.7



※平成 28 年度は「居宅訪問型児童発達支援」と「補装具」の選択肢はありませんでした。

【今後の福祉サービスの利用希望（年齢別）】

年齢別でみると、他に比べ、18～19歳で「居宅介護」の割合が58.3%、0～5歳で「児童発達支援(通所)」の割合が58.5%と高くなっています。また、6～11歳で「移動入浴」の割合が34.6%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	居 宅 介 護	重 度 訪 問 介 護	同 行 援 護	行 動 援 護	生 活 介 護	短 期 入 所	重 度 障 害 者 包 括 支 援	児 童 発 達 支 援 （ 通 所 ）	放 課 後 等 デ イ	居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援
全 体	493 100.0	163 33.1	138 28.0	24 4.9	29 5.9	193 39.1	244 49.5	59 12.0	44 8.9	117 23.7	13 2.6
0～5歳	65 100.0	11 16.9	15 23.1	4 6.2	3 4.6	7 10.8	23 35.4	8 12.3	38 58.5	43 66.2	6 9.2
6～11歳	81 100.0	24 29.6	15 18.5	4 4.9	4 4.9	24 29.6	51 63.0	8 9.9	5 6.2	47 58.0	3 3.7
12～14歳	36 100.0	12 33.3	4 11.1	1 2.8	－ －	14 38.9	19 52.8	3 8.3	1 2.8	19 52.8	1 2.8
15～17歳	29 100.0	5 17.2	6 20.7	1 3.4	1 3.4	15 51.7	15 51.7	1 3.4	－ －	7 24.1	1 3.4
18～19歳	24 100.0	14 58.3	8 33.3	2 8.3	3 12.5	12 50.0	15 62.5	4 16.7	－ －	－ －	－ －
20～29歳	102 100.0	39 38.2	37 36.3	3 2.9	4 3.9	56 54.9	62 60.8	13 12.7	－ －	－ －	1 1.0
30～39歳	68 100.0	24 35.3	27 39.7	4 5.9	4 5.9	31 45.6	36 52.9	10 14.7	－ －	－ －	－ －
40～49歳	49 100.0	19 38.8	17 34.7	2 4.1	3 6.1	23 46.9	15 30.6	7 14.3	－ －	1 2.0	－ －
50歳以上	39 100.0	15 38.5	9 23.1	3 7.7	7 17.9	11 28.2	8 20.5	5 12.8	－ －	－ －	1 2.6
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

(表続き) [上段：回答者数（人）、下段：構成比（％）]

区分	移動支援	移動入浴	日常生活用具	補装具	療養介護	障害者支援施設	福祉型障害児入所施設	医療型障害児入所施設	その他	利用の希望がない	無回答
全 体	131 26.6	103 20.9	204 41.4	191 38.7	33 6.7	102 20.7	56 11.4	77 15.6	40 8.1	19 3.9	28 5.7
0～5歳	21 32.3	14 21.5	29 44.6	32 49.2	2 3.1	4 6.2	10 15.4	10 15.4	4 6.2	1 1.5	4 6.2
6～11 歳	25 30.9	28 34.6	42 51.9	38 46.9	3 3.7	8 9.9	9 11.1	16 19.8	8 9.9	3 3.7	1 1.2
12～14 歳	14 38.9	9 25.0	17 47.2	15 41.7	1 2.8	4 11.1	1 2.8	5 13.9	1 2.8	－ －	－ －
15～17 歳	5 17.2	7 24.1	10 34.5	9 31.0	3 10.3	3 10.3	5 17.2	10 34.5	1 3.4	1 3.4	1 3.4
18～19 歳	4 16.7	5 20.8	13 54.2	10 41.7	1 4.2	5 20.8	2 8.3	8 33.3	3 12.5	1 4.2	－ －
20～29 歳	28 27.5	18 17.6	46 45.1	43 42.2	6 5.9	39 38.2	16 15.7	16 15.7	9 8.8	3 2.9	6 5.9
30～39 歳	17 25.0	12 17.6	26 38.2	25 36.8	8 11.8	23 33.8	7 10.3	7 10.3	4 5.9	1 1.5	5 7.4
40～49 歳	11 22.4	4 8.2	15 30.6	11 22.4	6 12.2	11 22.4	4 8.2	4 8.2	6 12.2	6 12.2	4 8.2
50 歳以上	6 15.4	6 15.4	6 15.4	8 20.5	3 7.7	5 12.8	2 5.1	1 2.6	4 10.3	3 7.7	7 17.9
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

【今後の福祉サービスの利用希望（移動の状況別）】

移動の状況別でみると、他に比べ、手つなぎ等で介助すれば歩くことができるで「行動援護」の割合が17.5%、腹ばいで「生活介護」の割合が52.9%、「放課後等デイ」の割合が47.1%、「日常生活用具」の割合が70.6%、「補装具」の割合が76.5%と高くなっています。また、座ったまま進むで「重度障害者包括支援」の割合が20.6%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	居 宅 介 護	重 度 訪 問 介 護	同 行 援 護	行 動 援 護	生 活 介 護	短 期 入 所	重 度 障 害 者 包 括 支 援	児 童 発 達 支 援 （ 通 所 ）	放 課 後 等 デ イ	居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援
全 体	493 100.0	163 33.1	138 28.0	24 4.9	29 5.9	193 39.1	244 49.5	59 12.0	44 8.9	117 23.7	13 2.6
寝たきり	198 100.0	67 33.8	65 32.8	6 3.0	7 3.5	78 39.4	101 51.0	25 12.6	16 8.1	40 20.2	8 4.0
寝返りができる	78 100.0	24 30.8	22 28.2	1 1.3	1 1.3	32 41.0	41 52.6	6 7.7	12 15.4	30 38.5	1 1.3
腹ばい	17 100.0	4 23.5	5 29.4	1 5.9	1 5.9	9 52.9	9 52.9	2 11.8	－ －	8 47.1	1 5.9
四つばい	38 100.0	8 21.1	8 21.1	－ －	2 5.3	12 31.6	22 57.9	5 13.2	3 7.9	7 18.4	－ －
座ったまま進む	34 100.0	14 41.2	8 23.5	1 2.9	3 8.8	12 35.3	16 47.1	7 20.6	4 11.8	7 20.6	1 2.9
歩行器等を使用して 移動できる	10 100.0	2 20.0	2 20.0	－ －	1 10.0	4 40.0	5 50.0	－ －	－ －	1 10.0	－ －
手つなぎ等で介助すれば 歩くことができる	63 100.0	23 36.5	16 25.4	10 15.9	11 17.5	26 41.3	26 41.3	5 7.9	5 7.9	15 23.8	2 3.2
その他	26 100.0	9 34.6	5 19.2	3 11.5	3 11.5	8 30.8	12 46.2	4 15.4	4 15.4	6 23.1	－ －
無回答	29 100.0	12 41.4	7 24.1	2 6.9	－ －	12 41.4	12 41.4	5 17.2	－ －	3 10.3	－ －

(表続き) [上段：回答者数(人)、下段：構成比(%)]

区分	移動支援	移動入浴	日常生活用具	補装具	療養介護	障害者支援施設	福祉型障害児入所施設	医療型障害児入所施設	その他	利用の希望がない	無回答
全 体	131 26.6	103 20.9	204 41.4	191 38.7	33 6.7	102 20.7	56 11.4	77 15.6	40 8.1	19 3.9	28 5.7
寝たきり	48 24.2	52 26.3	90 45.5	73 36.9	11 5.6	34 17.2	20 10.1	43 21.7	16 8.1	7 3.5	8 4.0
寝返りができる	25 32.1	20 25.6	39 50.0	40 51.3	6 7.7	16 20.5	14 17.9	11 14.1	4 5.1	4 5.1	5 6.4
腹ばい	5 29.4	5 29.4	12 70.6	13 76.5	1 5.9	5 29.4	2 11.8	3 17.6	2 11.8	－ －	1 5.9
四つばい	10 26.3	8 21.1	9 23.7	15 39.5	3 7.9	7 18.4	3 7.9	6 15.8	3 7.9	3 7.9	3 7.9
座ったままで進む	13 38.2	6 17.6	12 35.3	16 47.1	2 5.9	9 26.5	4 11.8	－ －	1 2.9	－ －	2 5.9
歩行器等を使用して移動できる	3 30.0	－ －	2 20.0	3 30.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	－ －	－ －
手つなぎ等で介助すれば歩くことができる	14 22.2	1 1.6	22 34.9	18 28.6	2 3.2	19 30.2	6 9.5	6 9.5	5 7.9	3 4.8	2 3.2
その他	8 30.8	6 23.1	9 34.6	7 26.9	2 7.7	5 19.2	1 3.8	2 7.7	6 23.1	1 3.8	3 11.5
無回答	5 17.2	5 17.2	9 31.0	6 20.7	5 17.2	4 13.8	4 13.8	5 17.2	1 3.4	1 3.4	4 13.8

【今後の福祉サービスの利用希望（医療的処置の有無別）】

医療的処置の有無別でみると、受けていないに比べ、受けているで「移動入浴」、「医療型障害児入所施設」の割合がともに28.4%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	居 宅 介 護	重 度 訪 問 介 護	同 行 援 護	行 動 援 護	生 活 介 護	短 期 入 所	重 度 障 害 者 包 括 支 援	児 童 発 達 支 援 （ 通 所 ）	放 課 後 等 デ イ	居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援
全 体	493 100.0	163 33.1	138 28.0	24 4.9	29 5.9	193 39.1	244 49.5	59 12.0	44 8.9	117 23.7	13 2.6
受けている	194 100.0	69 35.6	56 28.9	10 5.2	8 4.1	75 38.7	106 54.6	24 12.4	19 9.8	54 27.8	10 5.2
受けていない	290 100.0	92 31.7	80 27.6	13 4.5	21 7.2	116 40.0	136 46.9	33 11.4	25 8.6	63 21.7	3 1.0
無回答	9 100.0	2 22.2	2 22.2	1 11.1	－ －	2 22.2	2 22.2	2 22.2	－ －	－ －	－ －

区分	移 動 支 援	移 動 入 浴	日 常 生 活 用 具	補 装 具	療 養 介 護	障 害 者 支 援 施 設	福 祉 型 障 害 児 入 所 施 設	医 療 型 障 害 児 入 所 施 設	そ の 他	利 用 の 希 望 が な い	無 回 答
全 体	131 26.6	103 20.9	204 41.4	191 38.7	33 6.7	102 20.7	56 11.4	77 15.6	40 8.1	19 3.9	28 5.7
受けている	49 25.3	55 28.4	88 45.4	70 36.1	15 7.7	25 12.9	20 10.3	55 28.4	16 8.2	5 2.6	7 3.6
受けていない	78 26.9	46 15.9	114 39.3	120 41.4	17 5.9	74 25.5	35 12.1	21 7.2	23 7.9	13 4.5	18 6.2
無回答	4 44.4	2 22.2	2 22.2	1 11.1	1 11.1	3 33.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	3 33.3

【今後の福祉サービスの利用希望（地域でかけられる診療所の有無別）】

地域でかけられる診療所の有無別でみると、あるに比べ、ないで「重度訪問介護」の割合が 36.7%、「移動入浴」の割合が 31.7%、「日常生活用具」の割合が 50.0%、「医療型障害児入所施設」の割合が 25.0%と高くなっています。一方、ないに比べ、あるで「生活介護」の割合が 40.2%、「放課後等デイ」の割合が 27.6%、「障害者支援施設」の割合が 22.3%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	居 宅 介 護	重 度 訪 問 介 護	同 行 援 護	行 動 援 護	生 活 介 護	短 期 入 所	重 度 障 害 者 包 括 支 援	児 童 発 達 支 援 （ 通 所 ）	放 課 後 等 デ イ	居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援
全 体	447 100.0	148 33.1	125 28.0	22 4.9	26 5.8	174 38.9	242 54.1	56 12.5	44 9.8	117 26.2	13 2.9
ある	373 100.0	124 33.2	102 27.3	15 4.0	18 4.8	150 40.2	203 54.4	45 12.1	37 9.9	103 27.6	10 2.7
ない	60 100.0	23 38.3	22 36.7	7 11.7	7 11.7	21 35.0	34 56.7	10 16.7	7 11.7	12 20.0	3 5.0
無回答	14 100.0	1 7.1	1 7.1	－ －	1 7.1	3 21.4	5 35.7	1 7.1	－ －	2 14.3	－ －

区分	移 動 支 援	移 動 入 浴	日 常 生 活 用 具	補 装 具	療 養 介 護	障 害 者 支 援 施 設	福 祉 型 障 害 児 入 所 施 設	医 療 型 障 害 児 入 所 施 設	そ の 他	利 用 の 希 望 が な い	無 回 答
全 体	118 26.4	101 22.6	192 43.0	180 40.3	28 6.3	96 21.5	53 11.9	74 16.6	36 8.1	15 3.4	19 4.3
ある	103 27.6	80 21.4	160 42.9	148 39.7	22 5.9	83 22.3	46 12.3	58 15.5	29 7.8	13 3.5	11 2.9
ない	14 23.3	19 31.7	30 50.0	27 45.0	6 10.0	9 15.0	6 10.0	15 25.0	6 10.0	1 1.7	5 8.3
無回答	1 7.1	2 14.3	2 14.3	5 35.7	－ －	4 28.6	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	3 21.4

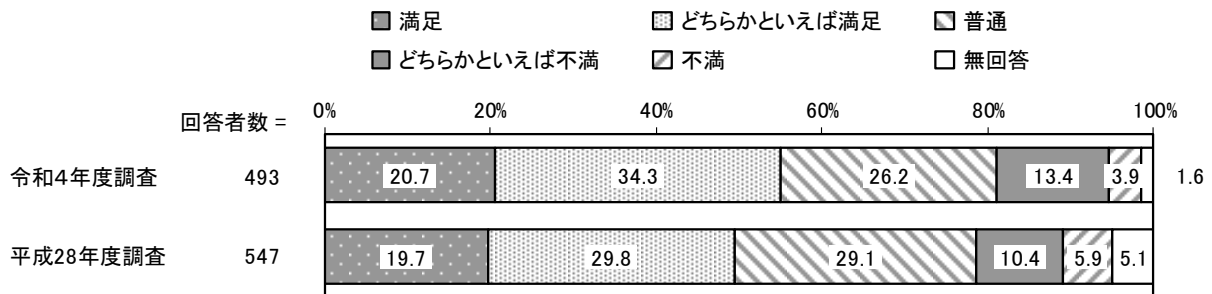
問 24 ご本人が利用している福祉サービスの量に満足していますか。1つだけ○をつけてください。

「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせた“満足”の割合が55.0%、「普通」の割合が26.2%、「どちらかといえば不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が17.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	無回答
全 体						
493	102	169	129	66	19	8
100.0	20.7	34.3	26.2	13.4	3.9	1.6



【福祉サービスの量の満足度別（移動の状況別）】

移動の状況別でみると、他に比べ、座ったままで進むで“満足”の割合が64.7%と高くなっています。また、寝返りができるで“不満”の割合が24.3%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	満 足	満 足 ど ち ら か と い え ば	普 通	不 満 ど ち ら か と い え ば	不 満	無 回 答
全 体	493 100.0	102 20.7	169 34.3	129 26.2	66 13.4	19 3.9	8 1.6
寝たきり	198 100.0	42 21.2	66 33.3	57 28.8	23 11.6	6 3.0	4 2.0
寝返りができる	78 100.0	11 14.1	28 35.9	20 25.6	16 20.5	3 3.8	－ －
腹ばい	17 100.0	5 29.4	5 29.4	2 11.8	2 11.8	2 11.8	1 5.9
四つばい	38 100.0	10 26.3	12 31.6	11 28.9	3 7.9	2 5.3	－ －
座ったままで進む	34 100.0	9 26.5	13 38.2	8 23.5	3 8.8	1 2.9	－ －
歩行器等を使用して 移動できる	10 100.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	－ －
手つなぎ等で介助すれば 歩くことができる	63 100.0	10 15.9	26 41.3	14 22.2	9 14.3	2 3.2	2 3.2
その他	26 100.0	5 19.2	6 23.1	10 38.5	4 15.4	1 3.8	－ －
無回答	29 100.0	8 27.6	10 34.5	5 17.2	4 13.8	1 3.4	1 3.4

【福祉サービスの量の満足度別（医療的処置の有無別）】

医療的処置の有無別でみると、受けていないに比べ、受けているで“不満”の割合が20.1%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	満 足	満 足 ど ち ら か と い え ば	普 通	不 満 ど ち ら か と い え ば	不 満	無 回 答
全 体	493 100.0	102 20.7	169 34.3	129 26.2	66 13.4	19 3.9	8 1.6
受けている	194 100.0	38 19.6	65 33.5	48 24.7	30 15.5	9 4.6	4 2.1
受けていない	290 100.0	63 21.7	101 34.8	81 27.9	34 11.7	9 3.1	2 0.7
無回答	9 100.0	1 11.1	3 33.3	－ －	2 22.2	1 11.1	2 22.2

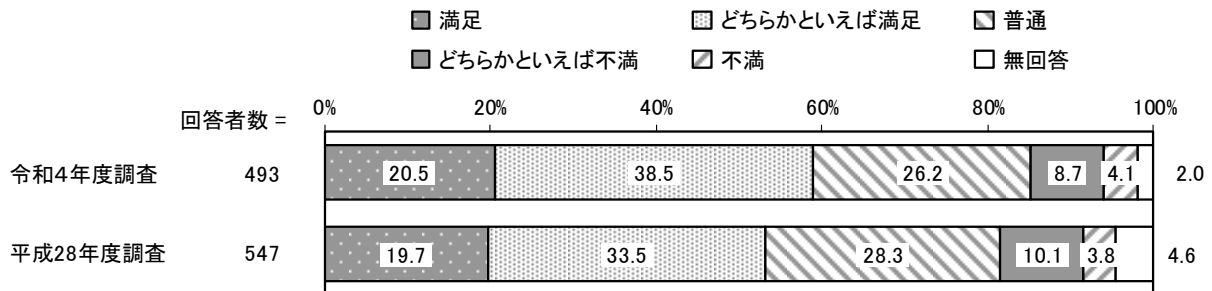
問 25 ご本人が利用している福祉サービスの質や内容に満足していますか。
1つだけ○をつけてください。

「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせた“満足”の割合が 59.0%、「普通」の割合が 26.2%、「どちらかといえば不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が 12.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	無回答
全 体						
493	101	190	129	43	20	10
100.0	20.5	38.5	26.2	8.7	4.1	2.0



【福祉サービスの質や内容の満足度（移動の状況別）】

移動の状況別でみると、他に比べ、座ったままで進むで“満足”の割合が67.7%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	満 足	満 足 ど ち ら か と い え ば	普 通	不 満 ど ち ら か と い え ば	不 満	無 回 答
全 体	493 100.0	101 20.5	190 38.5	129 26.2	43 8.7	20 4.1	10 2.0
寝たきり	198 100.0	45 22.7	75 37.9	52 26.3	15 7.6	5 2.5	6 3.0
寝返りができる	78 100.0	15 19.2	33 42.3	16 20.5	12 15.4	1 1.3	1 1.3
腹ばい	17 100.0	2 11.8	9 52.9	4 23.5	1 5.9	－ －	1 5.9
四つばい	38 100.0	8 21.1	12 31.6	11 28.9	3 7.9	4 10.5	－ －
座ったままで進む	34 100.0	9 26.5	14 41.2	9 26.5	2 5.9	－ －	－ －
歩行器等を使用して 移動できる	10 100.0	2 20.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	－ －
手つなぎ等で介助すれば 歩くことができる	63 100.0	11 17.5	22 34.9	20 31.7	4 6.3	5 7.9	1 1.6
その他	26 100.0	4 15.4	9 34.6	8 30.8	3 11.5	2 7.7	－ －
無回答	29 100.0	5 17.2	13 44.8	6 20.7	2 6.9	2 6.9	1 3.4

【福祉サービスの質や内容の満足度（医療的処置の有無別）】

医療的処置の有無別でみると、大きな差異はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	満 足	満 足 ど ち ら か と い え ば	普 通	不 満 ど ち ら か と い え ば	不 満	無 回 答
全 体	493 100.0	101 20.5	190 38.5	129 26.2	43 8.7	20 4.1	10 2.0
受けている	194 100.0	40 20.6	72 37.1	52 26.8	19 9.8	8 4.1	3 1.5
受けていない	290 100.0	61 21.0	116 40.0	74 25.5	24 8.3	11 3.8	4 1.4
無回答	9 100.0	－ －	2 22.2	3 33.3	－ －	1 11.1	3 33.3

家族（介護者）の状況

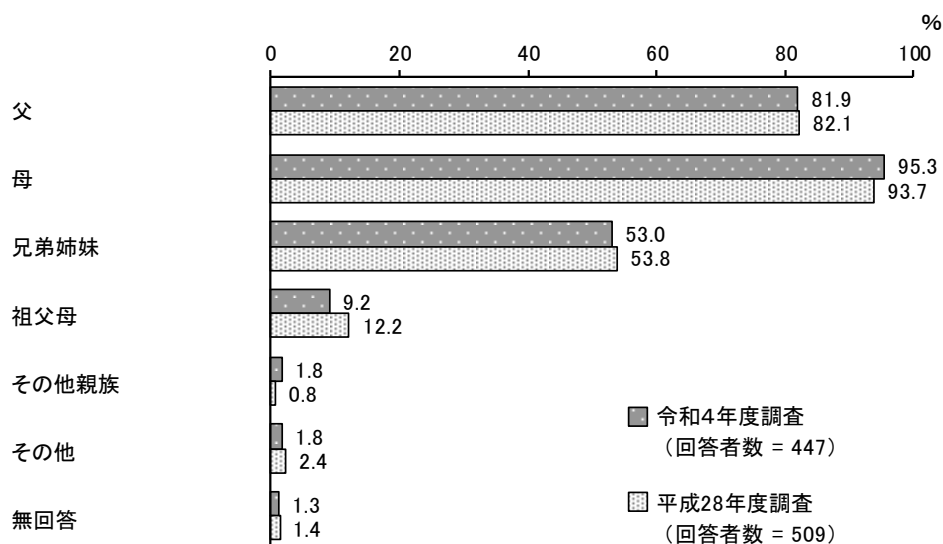
問 26 ご本人からみて同居されている家族について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「母」の割合が 95.3%と最も高く、次いで「父」の割合が 81.9%、「兄弟姉妹」の割合が 53.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	父	母	兄弟姉妹	祖父母	その他親族	その他	無回答
447	366	426	237	41	8	8	6
100.0	81.9	95.3	53.0	9.2	1.8	1.8	1.3



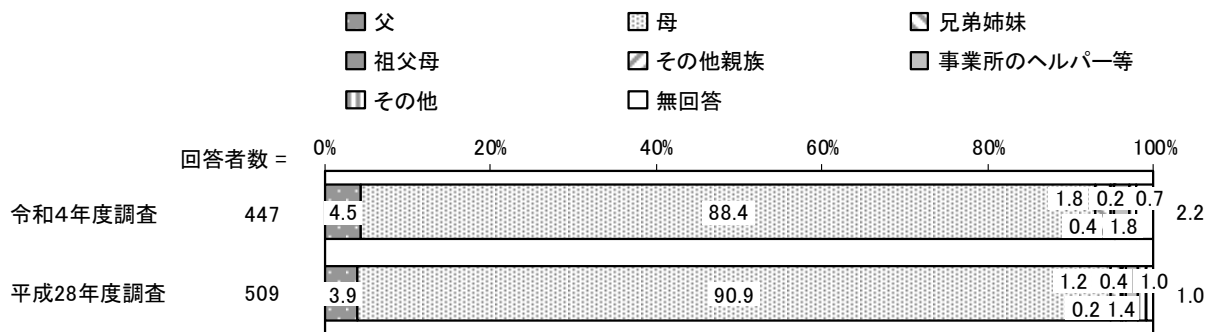
問 27 どなたがご本人のお世話を主にされていますか。1つだけ○をつけてください。

「母」の割合が88.4%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	父	母	兄弟姉妹	祖父母	その他親族	事業所のヘルパー等	その他	無回答
447 100.0	20 4.5	395 88.4	8 1.8	2 0.4	1 0.2	8 1.8	3 0.7	10 2.2



【お世話をされている方（年齢別）】

年齢別でみると、他に比べ、50歳以上で「兄弟姉妹」の割合が31.8%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	父	母	兄 弟 姉 妹	祖 父 母	そ の 他 親 族	事 業 所 の ヘル パー 等	そ の 他	無 回 答
全 体	447 100.0	20 4.5	395 88.4	8 1.8	2 0.4	1 0.2	8 1.8	3 0.7	10 2.2
0～5歳	65 100.0	4 6.2	58 89.2	－ －	1 1.5	－ －	－ －	－ －	2 3.1
6～11歳	81 100.0	2 2.5	77 95.1	－ －	－ －	－ －	－ －	1 1.2	1 1.2
12～14歳	36 100.0	2 5.6	33 91.7	－ －	－ －	－ －	1 2.8	－ －	－ －
15～17歳	29 100.0	－ －	28 96.6	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 3.4
18～19歳	24 100.0	1 4.2	21 87.5	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	2 8.3
20～29歳	98 100.0	7 7.1	88 89.8	－ －	－ －	－ －	2 2.0	－ －	1 1.0
30～39歳	61 100.0	2 3.3	57 93.4	－ －	－ －	－ －	2 3.3	－ －	－ －
40～49歳	31 100.0	2 6.5	23 74.2	1 3.2	1 3.2	1 3.2	1 3.2	－ －	2 6.5
50歳以上	22 100.0	－ －	10 45.5	7 31.8	－ －	－ －	2 9.1	2 9.1	1 4.5
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

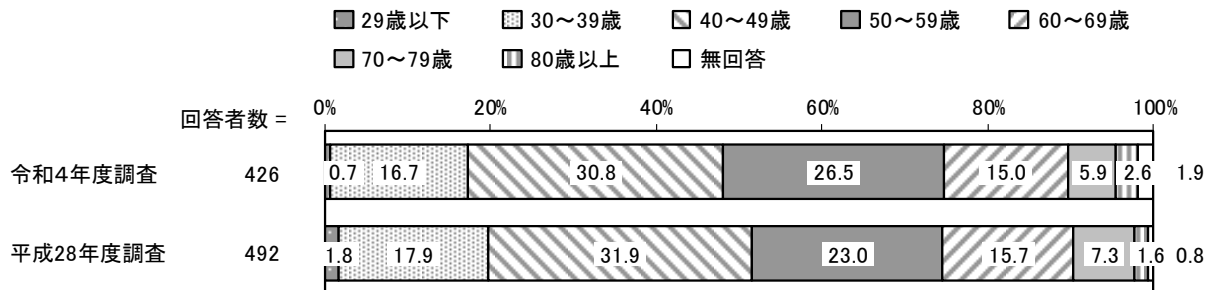
問 28 問 27 で「父」～「その他親族」に○をつけた方のみ記入してください。
 主な介護者の年齢を記入してください。（令和 4 年 4 月 1 日現在）

「40～49 歳」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「50～59 歳」の割合が 26.5%、「30～39 歳」の割合が 16.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	29 歳以下	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	無回答
426	3	71	131	113	64	25	11	8
100.0	0.7	16.7	30.8	26.5	15.0	5.9	2.6	1.9



【介護者の年齢（福祉サービスの利用希望別）】

福祉サービスの利用希望別でみると、他に比べ、児童発達支援（通所）で「30～39 歳」の割合が 58.1%、居宅訪問型児童発達支援で「40～49 歳」の割合が 61.5%と高くなっています。また、療養介護で「60～69 歳」の割合が 33.3%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	29 歳 以下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上	無 回 答
全 体	426 100.0	3 0.7	71 16.7	131 30.8	113 26.5	64 15.0	25 5.9	11 2.6	8 1.9
居宅介護	142 100.0	3 2.1	15 10.6	38 26.8	44 31.0	25 17.6	9 6.3	6 4.2	2 1.4
重度訪問介護	119 100.0	－ －	14 11.8	27 22.7	43 36.1	24 20.2	7 5.9	3 2.5	1 0.8
同行援護	21 100.0	1 4.8	5 23.8	4 19.0	4 19.0	2 9.5	3 14.3	2 9.5	－ －
行動援護	26 100.0	1 3.8	1 3.8	7 26.9	7 26.9	4 15.4	2 7.7	4 15.4	－ －
生活介護	169 100.0	－ －	8 4.7	52 30.8	67 39.6	30 17.8	7 4.1	4 2.4	1 0.6
短期入所	238 100.0	2 0.8	30 12.6	76 31.9	79 33.2	35 14.7	11 4.6	4 1.7	1 0.4
重度障害者包括支援	53 100.0	1 1.9	6 11.3	15 28.3	12 22.6	12 22.6	6 11.3	1 1.9	－ －
児童発達支援(通所)	43 100.0	－ －	25 58.1	14 32.6	2 4.7	1 2.3	－ －	－ －	1 2.3
放課後等デイ	115 100.0	2 1.7	41 35.7	63 54.8	6 5.2	1 0.9	1 0.9	－ －	1 0.9
居宅訪問型児童発達支援	13 100.0	1 7.7	2 15.4	8 61.5	1 7.7	1 7.7	－ －	－ －	－ －

表続き [上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	29 歳 以下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 歳 以上	無 回 答
移動支援	116 100.0	－ －	19 16.4	44 37.9	32 27.6	14 12.1	5 4.3	1 0.9	1 0.9
移動入浴	98 100.0	2 2.0	16 16.3	39 39.8	22 22.4	14 14.3	1 1.0	2 2.0	2 2.0
日常生活用具	189 100.0	1 0.5	30 15.9	66 34.9	60 31.7	21 11.1	9 4.8	1 0.5	1 0.5
補装具	176 100.0	1 0.6	30 17.0	60 34.1	55 31.3	21 11.9	7 4.0	1 0.6	1 0.6
療養介護	27 100.0	1 3.7	－ －	6 22.2	7 25.9	9 33.3	3 11.1	1 3.7	－ －
障害者支援施設	91 100.0	－ －	6 6.6	15 16.5	42 46.2	19 20.9	6 6.6	2 2.2	1 1.1
福祉型障害児入所施設	52 100.0	1 1.9	6 11.5	18 34.6	14 26.9	8 15.4	3 5.8	1 1.9	1 1.9
医療型障害児入所施設	70 100.0	1 1.4	10 14.3	28 40.0	22 31.4	6 8.6	1 1.4	1 1.4	1 1.4
その他	33 100.0	－ －	6 18.2	8 24.2	12 36.4	3 9.1	2 6.1	2 6.1	－ －
利用の希望がない	14 100.0	－ －	－ －	6 42.9	3 21.4	3 21.4	2 14.3	－ －	－ －
無回答	15 100.0	－ －	4 26.7	2 13.3	2 13.3	3 20.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7

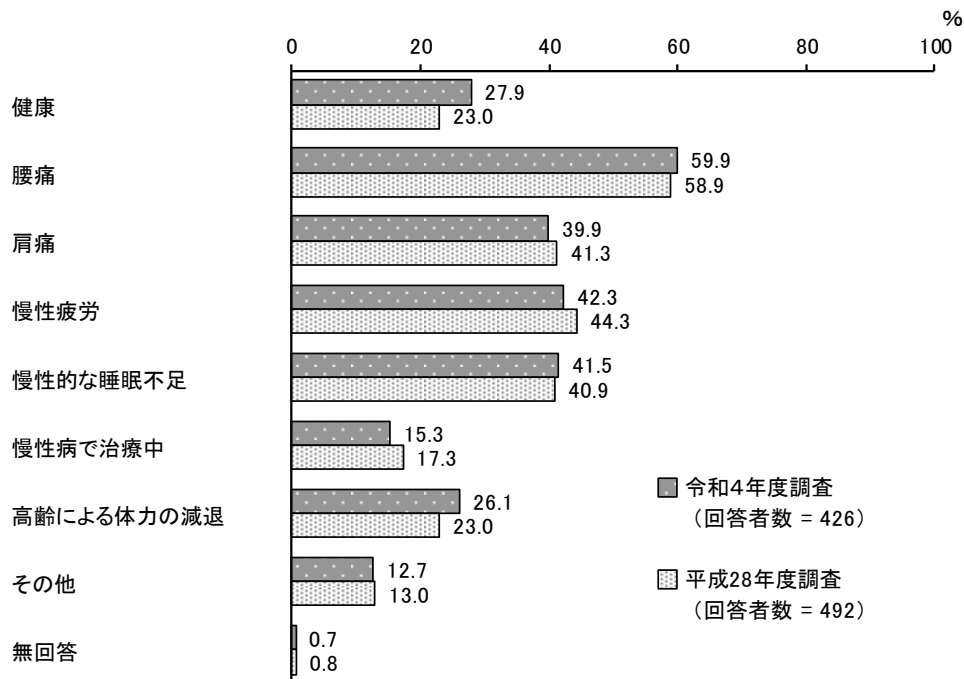
問 29 問 27 で「父」～「その他親族」に○をつけた方のみ記入してください。
 主な介護者の健康状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「腰痛」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「慢性疲労」の割合が 42.3%、「慢性的な睡眠不足」の割合が 41.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	健康	腰痛	肩痛	慢性疲労	慢性的な睡眠不足	慢性病で治療中	高齢による体力の減退	その他	無回答
426	119	255	170	180	177	65	111	54	3
100.0	27.9	59.9	39.9	42.3	41.5	15.3	26.1	12.7	0.7



【介護者の健康状況（本人の年齢別）】

本人の年齢別でみると、他に比べ、0～5歳で「健康」の割合が47.6%、18～19歳で「肩痛」の割合が63.6%、「慢性病で治療中」の割合が36.4%と高くなっています。また、40～49歳で「高齢による体力の減退」の割合が75.0%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	健 康	腰 痛	肩 痛	慢 性 疲 労	慢 性 的 な 睡 眠 不 足	慢 性 病 で 治 療 中	高 齢 に よ る 体 力 の 減 退	そ の 他	無 回 答
全 体	426 100.0	119 27.9	255 59.9	170 39.9	180 42.3	177 41.5	65 15.3	111 26.1	54 12.7	3 0.7
0～5歳	63 100.0	30 47.6	34 54.0	22 34.9	25 39.7	27 42.9	3 4.8	7 11.1	9 14.3	－ －
6～11 歳	79 100.0	32 40.5	39 49.4	32 40.5	26 32.9	28 35.4	4 5.1	8 10.1	11 13.9	2 2.5
12～14 歳	35 100.0	11 31.4	21 60.0	9 25.7	12 34.3	15 42.9	4 11.4	5 14.3	4 11.4	1 2.9
15～17 歳	28 100.0	6 21.4	19 67.9	15 53.6	18 64.3	17 60.7	1 3.6	3 10.7	3 10.7	－ －
18～19 歳	22 100.0	3 13.6	15 68.2	14 63.6	14 63.6	14 63.6	8 36.4	3 13.6	3 13.6	－ －
20～29 歳	95 100.0	21 22.1	62 65.3	39 41.1	43 45.3	41 43.2	19 20.0	25 26.3	16 16.8	－ －
30～39 歳	59 100.0	9 15.3	38 64.4	23 39.0	24 40.7	26 44.1	13 22.0	28 47.5	5 8.5	－ －
40～49 歳	28 100.0	5 17.9	17 60.7	9 32.1	9 32.1	5 17.9	9 32.1	21 75.0	3 10.7	－ －
50 歳以上	17 100.0	2 11.8	10 58.8	7 41.2	9 52.9	4 23.5	4 23.5	11 64.7	－ －	－ －
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

【介護者の健康状況（介護者の年齢別）】

介護者の年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「健康」の割合が49.3%、80歳以上で「高齢による体力の減退」の割合が90.9%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	健 康	腰 痛	肩 痛	慢 性 疲 労	慢 性 的 な 睡 眠 不 足	慢 性 病 で 治 療 中	高 齢 に よ る 体 力 の 減 退	そ の 他	無 回 答
全 体	426 100.0	119 27.9	255 59.9	170 39.9	180 42.3	177 41.5	65 15.3	111 26.1	54 12.7	3 0.7
29 歳以下	3 100.0	－ －	2 66.7	1 33.3	1 33.3	－ －	－ －	－ －	3 100.0	－ －
30～39 歳	71 100.0	35 49.3	38 53.5	21 29.6	23 32.4	25 35.2	3 4.2	2 2.8	7 9.9	1 1.4
40～49 歳	131 100.0	43 32.8	76 58.0	60 45.8	58 44.3	65 49.6	10 7.6	20 15.3	21 16.0	－ －
50～59 歳	113 100.0	25 22.1	72 63.7	48 42.5	54 47.8	50 44.2	25 22.1	24 21.2	14 12.4	－ －
60～69 歳	64 100.0	11 17.2	42 65.6	29 45.3	26 40.6	27 42.2	13 20.3	33 51.6	4 6.3	－ －
70～79 歳	25 100.0	4 16.0	14 56.0	3 12.0	8 32.0	4 16.0	8 32.0	21 84.0	3 12.0	－ －
80 歳以上	11 100.0	－ －	6 54.5	3 27.3	6 54.5	2 18.2	4 36.4	10 90.9	1 9.1	－ －
無回答	8 100.0	1 12.5	5 62.5	5 62.5	4 50.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0

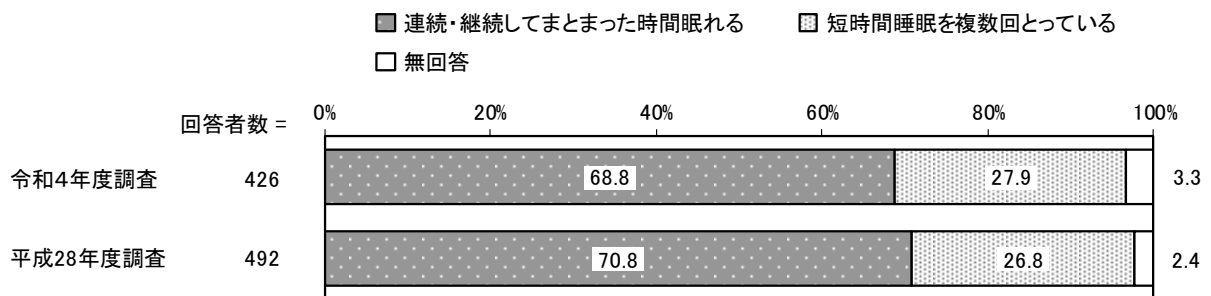
問 30 問 27 で「父」～「その他親族」に○をつけた方のみ記入してください。
 主な介護者の睡眠状況について、あてはまるもののいずれかに○をつけ、一日の睡眠時間を記入してください。

「連続・継続してまとまった時間眠れる」の割合が 68.8%、「短時間睡眠を複数回とっている」の割合が 27.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	連続・継続して まとまった時間 眠れる	短時間睡眠を 複数回とっている	無 回 答
426 100.0	293 68.8	119 27.9	14 3.3



【介護者の睡眠状況（医療的処置の有無別）】

医療的処置の有無別でみると、受けているに比べ、受けていないで「連続・継続してまとまった時間眠れる」の割合が 73.8%と高くなっています。一方、受けていないに比べ、受けているで「短時間睡眠を複数回とっている」の割合が 34.8%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	連続・継続して まとまった 時間眠れる	短時間睡眠を 複数回とって いる	無 回 答
全 体	426 100.0	293 68.8	119 27.9	14 3.3
受けている	181 100.0	111 61.3	63 34.8	7 3.9
受けていない	240 100.0	177 73.8	56 23.3	7 2.9
無回答	5 100.0	5 100.0	— —	— —

【介護者の睡眠状況（介護者の健康状況別）】

介護者の健康状況別でみると、他に比べ、健康で「連続・継続してまとまった時間眠れる」の割合が 80.7%、慢性的な睡眠不足で「短時間睡眠を複数回とっている」の割合が 49.7%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	連 続・ 継 続 し て ま と ま っ た 時 間 眠 れ る	短 時 間 睡 眠 を 複 数 回 と っ て い る	無 回 答
全 体	426 100.0	293 68.8	119 27.9	14 3.3
健康	119 100.0	96 80.7	21 17.6	2 1.7
腰痛	255 100.0	172 67.5	79 31.0	4 1.6
肩痛	170 100.0	122 71.8	45 26.5	3 1.8
慢性疲労	180 100.0	111 61.7	65 36.1	4 2.2
慢性的な睡眠不足	177 100.0	86 48.6	88 49.7	3 1.7
慢性病で治療中	65 100.0	36 55.4	27 41.5	2 3.1
高齢による体力の減退	111 100.0	63 56.8	42 37.8	6 5.4
その他	54 100.0	33 61.1	19 35.2	2 3.7
無回答	3 100.0	1 33.3	－ －	2 66.7

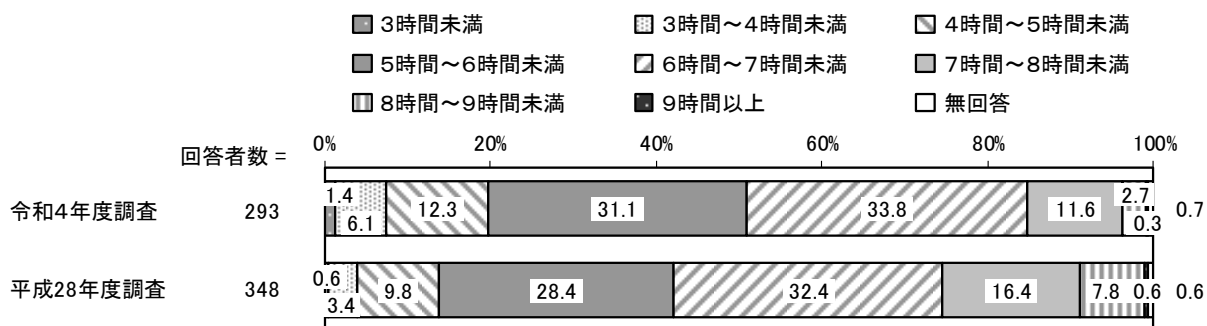
<連続・継続してまとまった時間眠れる人の睡眠時間>

「6時間～7時間未満」の割合が33.8%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が31.1%、「4時間～5時間未満」の割合が12.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が減少しています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	3時間未満	4時間未満	3時間～4時間未満	5時間未満	4時間～5時間未満	6時間未満	5時間～6時間未満	7時間未満	6時間～7時間未満	8時間未満	7時間～8時間未満	9時間未満	8時間～9時間未満	9時間以上	無回答
293	4	18	36	91	99	34	8	1	2						
100.0	1.4	6.1	12.3	31.1	33.8	11.6	2.7	0.3	0.7						



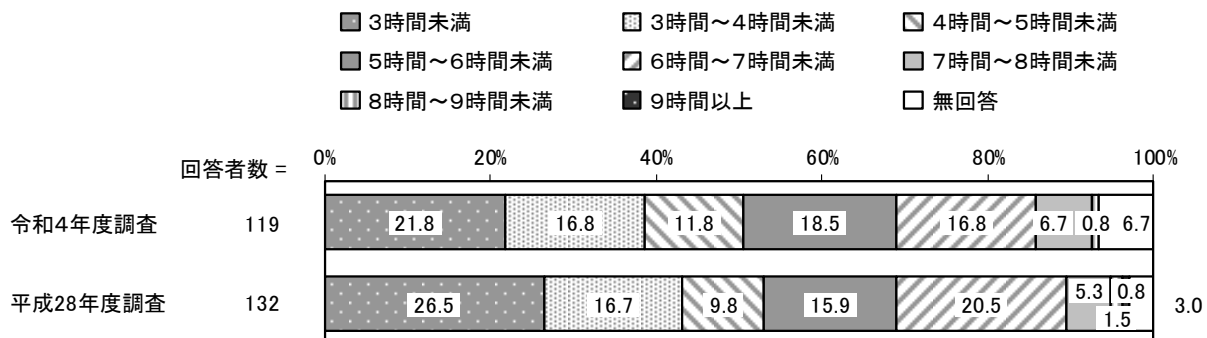
<短時間睡眠を複数回とっている人の睡眠時間>

「3時間未満」の割合が21.8%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が18.5%、「3時間～4時間未満」、「6時間～7時間未満」の割合が16.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	3時間未満	4時間未満	3時間～4時間未満	5時間未満	4時間～5時間未満	6時間未満	5時間～6時間未満	7時間未満	6時間～7時間未満	8時間未満	7時間～8時間未満	9時間未満	8時間～9時間未満	9時間以上	無回答
119	26	20	14	22	20	8	1	—	8						
100.0	21.8	16.8	11.8	18.5	16.8	6.7	0.8	—	6.7						

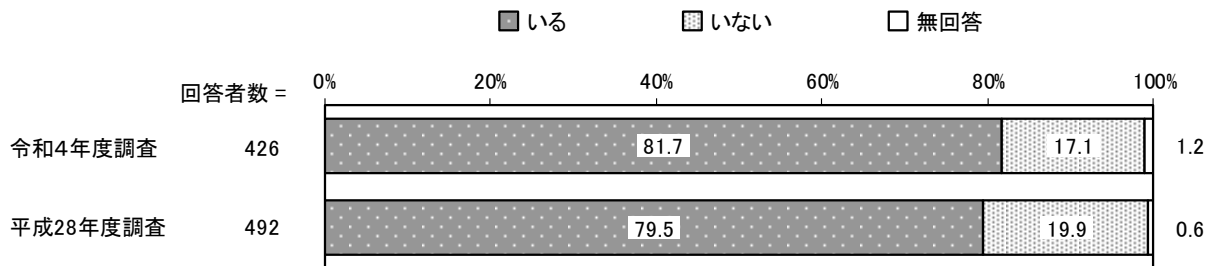


問 31 問 27 で「父」～「その他親族」に○をつけた方のみ記入してください。
 主な介護者の他に、日常的に介護の協力をしていただいている方がみえますか。
 いずれかに○をつけてください。また、おみえになる場合は、ご本人から見た続
 柄で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「いる」の割合が 81.7%、「いない」の割合が 17.1%となっています。
 平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	い る	い な い	無 回 答
426	348	73	5
100.0	81.7	17.1	1.2



【介護協力者の有無（介護者の年齢別）】

介護者の年齢別でみると、他に比べ、80 歳以上で「いない」の割合が 45.5%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	い る	い な い	無 回 答
全 体	426 100.0	348 81.7	73 17.1	5 1.2
29 歳以下	3 100.0	2 66.7	1 33.3	－ －
30～39 歳	71 100.0	61 85.9	9 12.7	1 1.4
40～49 歳	131 100.0	111 84.7	20 15.3	－ －
50～59 歳	113 100.0	90 79.6	23 20.4	－ －
60～69 歳	64 100.0	54 84.4	8 12.5	2 3.1
70～79 歳	25 100.0	18 72.0	6 24.0	1 4.0
80 歳以上	11 100.0	6 54.5	5 45.5	－ －
無回答	8 100.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5

【介護協力者の有無（介護者の睡眠時間別）】

介護者の睡眠時間別でみると、大きな差異はみられません。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	い る	い な い	無 回 答
全 体	426 100.0	348 81.7	73 17.1	5 1.2
連続・継続してまとまった時間眠れる	293 100.0	243 82.9	49 16.7	1 0.3
短時間睡眠を複数回とっている	119 100.0	99 83.2	20 16.8	－ －
無回答	14 100.0	6 42.9	4 28.6	4 28.6

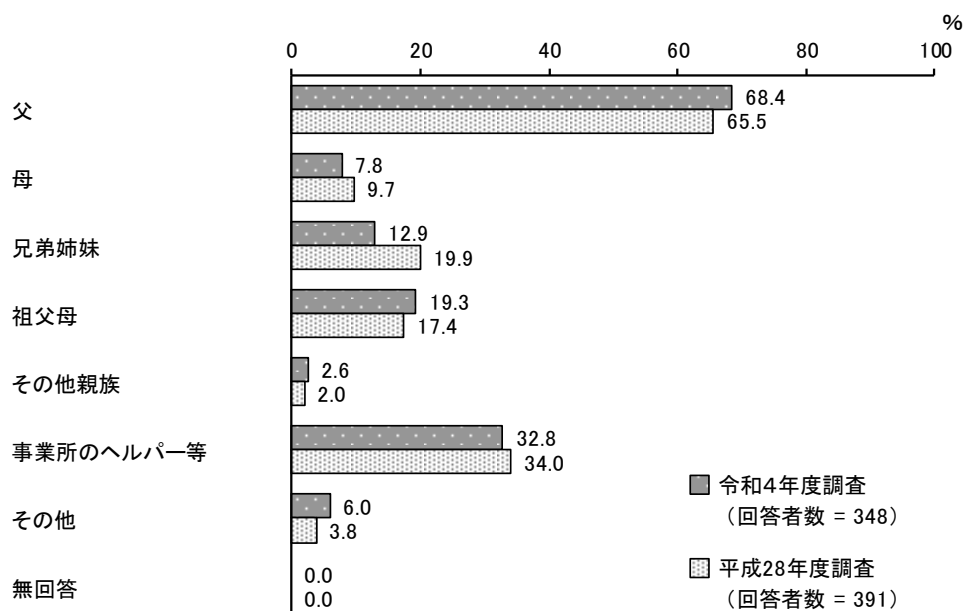
＜ご本人から見た続柄＞

「父」の割合が68.4%と最も高く、次いで「事業所のヘルパー等」の割合が32.8%、「祖父母」の割合が19.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「兄弟姉妹」の割合が12.9%に減少しています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	父	母	兄 弟 姉 妹	祖 父 母	そ 他 親 族	事 業 所 の ヘ ル パ ー 等	そ 他	無 回 答
348 100.0	238 68.4	27 7.8	45 12.9	67 19.3	9 2.6	114 32.8	21 6.0	－ －



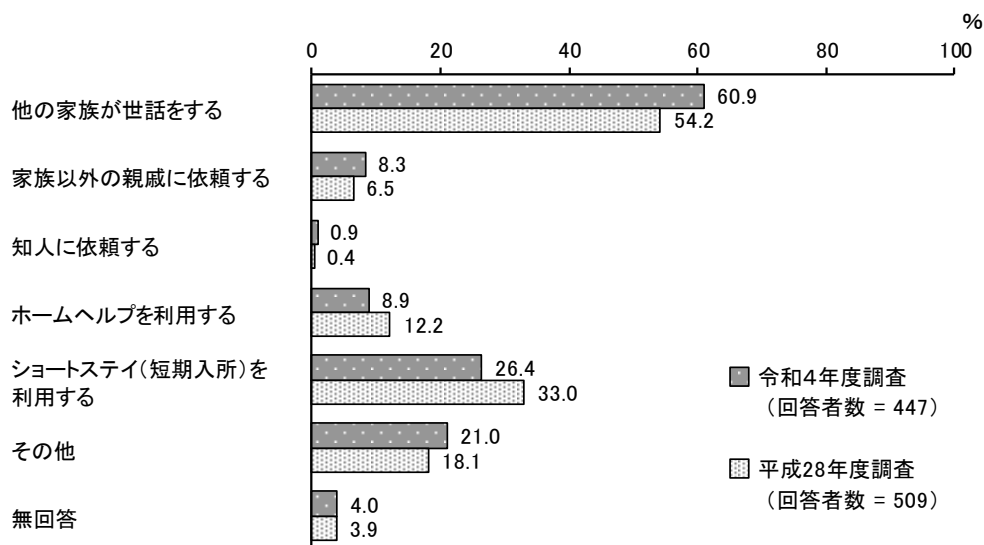
問 32 主な介護者が急な病気等でお世話できないときはどうされていますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

「他の家族が世話をする」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「ショートステイ（短期入所）を利用する」の割合が 26.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「他の家族が世話をする」の割合が増加しています。一方、「ショートステイ（短期入所）を利用する」の割合が減少しています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	他の家族が世話をする	家族以外の親戚に依頼する	知人に依頼する	ホームヘルプを利用する	ショートステイ（短期入所）を利用する	その他	無回答
447	272	37	4	40	118	94	18
100.0	60.9	8.3	0.9	8.9	26.4	21.0	4.0



その他

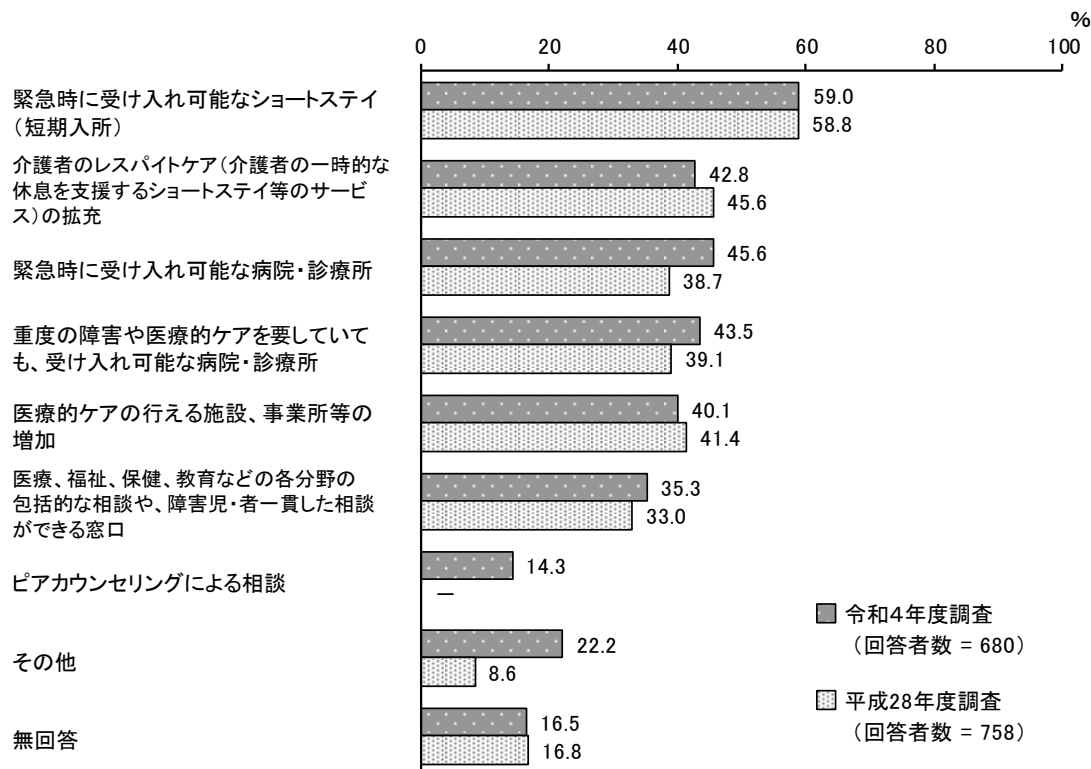
問 33 今後、新設または拡充してほしいサービス等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。また、選択肢にないものにつきましてもなにかございましたら、「その他」に記載してください。

「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」の割合が 45.6%、「重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所」の割合が 43.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」の割合が 45.5%に増加しています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の増加	医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無回答
680	401	291	310	296	273	240	97	151	112
100.0	59.0	42.8	45.6	43.5	40.1	35.3	14.3	22.2	16.5



※平成 28 年度調査では「ピアカウンセリングによる相談」の選択肢がありませんでした。また、「医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口」の選択肢は「障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関（窓口）」となっていました。

【今後、新設または拡充してほしいサービス（本人の年齢別）】

本人の年齢別でみると、他に比べ、12～14歳で「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」の割合が73.0%、18～19歳で「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」の割合が62.5%、「重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所」の割合が58.3%と高くなっています。また、0～5歳で「医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口」の割合が54.5%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の増加	分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無 回 答
全 体	680 100.0	401 59.0	291 42.8	310 45.6	296 43.5	273 40.1	240 35.3	97 14.3	151 22.2	112 16.5
0～5歳	66 100.0	49 74.2	35 53.0	22 33.3	29 43.9	30 45.5	36 54.5	15 22.7	28 42.4	4 6.1
6～11歳	86 100.0	71 82.6	55 64.0	46 53.5	41 47.7	38 44.2	42 48.8	15 17.4	27 31.4	4 4.7
12～14歳	37 100.0	33 89.2	27 73.0	21 56.8	18 48.6	19 51.4	15 40.5	3 8.1	7 18.9	1 2.7
15～17歳	33 100.0	27 81.8	21 63.6	13 39.4	16 48.5	17 51.5	14 42.4	7 21.2	6 18.2	2 6.1
18～19歳	24 100.0	20 83.3	15 62.5	15 62.5	14 58.3	10 41.7	7 29.2	1 4.2	6 25.0	3 12.5
20～29歳	120 100.0	95 79.2	67 55.8	67 55.8	63 52.5	52 43.3	49 40.8	18 15.0	36 30.0	5 4.2
30～39歳	87 100.0	54 62.1	39 44.8	42 48.3	36 41.4	36 41.4	31 35.6	13 14.9	13 14.9	13 14.9
40～49歳	96 100.0	29 30.2	17 17.7	38 39.6	39 40.6	33 34.4	21 21.9	11 11.5	13 13.5	29 30.2
50歳以上	130 100.0	23 17.7	15 11.5	46 35.4	40 30.8	38 29.2	25 19.2	14 10.8	15 11.5	50 38.5
無回答	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0

【今後、新設または拡充してほしいサービス（移動の状況別）】

移動の状況別でみると、他に比べ、腹ばいで「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」の割合が78.9%、「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」の割合が63.2%、「医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口」の割合が57.9%、「その他」の割合が52.6%と高くなっています。また、四つばいで「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」の割合が65.1%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要している場合、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の増加	分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無回答
全 体	680 100.0	401 59.0	291 42.8	310 45.6	296 43.5	273 40.1	240 35.3	97 14.3	151 22.2	112 16.5
寝たきり	289 100.0	178 61.6	128 44.3	138 47.8	144 49.8	147 50.9	104 36.0	39 13.5	59 20.4	43 14.9
寝返りができる	94 100.0	68 72.3	50 53.2	42 44.7	43 45.7	40 42.6	35 37.2	19 20.2	26 27.7	7 7.4
腹ばい	19 100.0	15 78.9	12 63.2	9 47.4	7 36.8	7 36.8	11 57.9	2 10.5	10 52.6	2 10.5
四つばい	43 100.0	31 72.1	23 53.5	28 65.1	22 51.2	16 37.2	20 46.5	6 14.0	7 16.3	1 2.3
座ったままで進む	44 100.0	24 54.5	20 45.5	16 36.4	17 38.6	6 13.6	16 36.4	7 15.9	10 22.7	6 13.6
歩行器等を使用して 移動できる	23 100.0	8 34.8	5 21.7	10 43.5	4 17.4	9 39.1	9 39.1	3 13.0	6 26.1	6 26.1
手つなぎ等で介助すれば 歩くことができる	74 100.0	43 58.1	35 47.3	35 47.3	35 47.3	29 39.2	23 31.1	12 16.2	12 16.2	8 10.8
その他	47 100.0	19 40.4	11 23.4	17 36.2	15 31.9	9 19.1	10 21.3	6 12.8	16 34.0	17 36.2
無回答	47 100.0	15 31.9	7 14.9	15 31.9	9 19.1	10 21.3	12 25.5	3 6.4	5 10.6	22 46.8

【今後、新設または拡充してほしいサービス（医療的処置の有無別）】

医療的処置の有無別でみると、受けていないに比べ、受けているで「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」の割合が 48.2%、「重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所」の割合が 56.1%、「医療的ケアの行える施設、事業所等の増加」の割合が 59.0%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の増加	医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者の一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無回答
全 体	680 100.0	401 59.0	291 42.8	310 45.6	296 43.5	273 40.1	240 35.3	97 14.3	151 22.2	112 16.5
受けている	278 100.0	175 62.9	134 48.2	133 47.8	156 56.1	164 59.0	102 36.7	43 15.5	69 24.8	40 14.4
受けていない	376 100.0	221 58.8	153 40.7	169 44.9	135 35.9	108 28.7	130 34.6	53 14.1	79 21.0	58 15.4
無回答	26 100.0	5 19.2	4 15.4	8 30.8	5 19.2	1 3.8	8 30.8	1 3.8	3 11.5	14 53.8

【今後、新設または拡充してほしいサービス（地域でかけられる診療所の有無別）】

地域でかけられる診療所の有無別でみると、あるに比べ、ないで「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」の割合が 63.3%、「重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所」の割合が 71.7%、「医療的ケアの行える施設、事業所等の増加」の割合が 58.3%、「医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口」の割合が 51.7%、「その他」の割合が 31.7%と高くなっています。一方、ないに比べ、あるで「ピアカウンセリングによる相談」の割合が 17.2%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者 の一時の休息を支援するサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・ 診療所	重度の障害や医療的ケアを 要していても、受け入れ可能な 病院・診療所	医療的ケアの行える施設、 事業所等の増加	医療、福祉、保健、教育などの各 分野の包括的な相談や、障害児・ 者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無 回 答
全 体	447 100.0	369 82.6	268 60.0	240 53.7	216 48.3	204 45.6	184 41.2	72 16.1	122 27.3	19 4.3
ある	373 100.0	311 83.4	226 60.6	198 53.1	170 45.6	167 44.8	151 40.5	64 17.2	99 26.5	14 3.8
ない	60 100.0	50 83.3	37 61.7	38 63.3	43 71.7	35 58.3	31 51.7	7 11.7	19 31.7	3 5.0
無回答	14 100.0	8 57.1	5 35.7	4 28.6	3 21.4	2 14.3	2 14.3	1 7.1	4 28.6	2 14.3

【今後、新設または拡充してほしいサービス（福祉サービス量の満足度別）】

福祉サービス量の満足度別でみると、どちらかといえば不満で「介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」の割合が 72.7%、「ピアカウンセリングによる相談」の割合が 22.7%、不満で「医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口」の割合が 52.6%、「その他」の割合が 47.4%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	重度の障害や医療的ケアを要している、受け入れ可能な病院・診療所	医療的ケアの行える施設、事業所等の増加	医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無 回 答
全 体	493 100.0	382 77.5	276 56.0	266 54.0	242 49.1	222 45.0	196 39.8	82 16.6	129 26.2	25 5.1
満足	102 100.0	78 76.5	43 42.2	52 51.0	38 37.3	39 38.2	35 34.3	19 18.6	21 20.6	10 9.8
どちらかといえば満足	169 100.0	126 74.6	99 58.6	89 52.7	82 48.5	76 45.0	71 42.0	28 16.6	40 23.7	5 3.0
普通	129 100.0	104 80.6	71 55.0	67 51.9	69 53.5	60 46.5	49 38.0	20 15.5	33 25.6	5 3.9
どちらかといえば不満	66 100.0	55 83.3	48 72.7	42 63.6	38 57.6	34 51.5	30 45.5	15 22.7	25 37.9	3 4.5
不満	19 100.0	15 78.9	12 63.2	13 68.4	11 57.9	10 52.6	10 52.6	－ －	9 47.4	－ －
無回答	8 100.0	4 50.0	3 37.5	3 37.5	4 50.0	3 37.5	1 12.5	－ －	1 12.5	2 25.0

【今後、新設または拡充してほしいサービス（福祉サービスの質や内容の満足度別）】

福祉サービスの質や内容の満足度別でみると、他に比べ、どちらかといえば不満で「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」の割合が 86.0%、「その他」の割合が 41.9%、不満で「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」の割合が 75.0%、「医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口」の割合が 55.0%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者 の一時の休息を支援するサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・ 診療所	重度の障害や医療的ケアを 要している、受け入れ可能な 病院・診療所	医療的ケアの行える施設、 事業所等の増加	分野の包括的な相談や、障害児・ 者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無 回 答
全 体	493 100.0	382 77.5	276 56.0	266 54.0	242 49.1	222 45.0	196 39.8	82 16.6	129 26.2	25 5.1
満足	101 100.0	77 76.2	47 46.5	52 51.5	43 42.6	39 38.6	32 31.7	19 18.8	22 21.8	10 9.9
どちらかといえば満足	190 100.0	145 76.3	112 58.9	97 51.1	86 45.3	86 45.3	82 43.2	33 17.4	50 26.3	7 3.7
普通	129 100.0	100 77.5	73 56.6	73 56.6	68 52.7	66 51.2	56 43.4	20 15.5	31 24.0	4 3.1
どちらかといえば不満	43 100.0	37 86.0	27 62.8	24 55.8	28 65.1	21 48.8	13 30.2	8 18.6	18 41.9	2 4.7
不満	20 100.0	16 80.0	13 65.0	15 75.0	14 70.0	8 40.0	11 55.0	2 10.0	7 35.0	－ －
無回答	10 100.0	7 70.0	4 40.0	5 50.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	－ －	1 10.0	2 20.0

【今後、新設または拡充してほしいサービス（介護者の年齢別）】

介護者の年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「ピアカウンセリングによる相談」の割合が23.9%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者の 一時的な休息を支援するサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・ 診療所	重度の障害や医療的ケアを 要している、受け入れ可能な 病院・診療所	医療的ケアの行える施設、 事業所等の増加	医療、福祉、保健、教育などの各 分野の包括的な相談や、障害児・ 者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無 回 答
全 体	426 100.0	362 85.0	263 61.7	234 54.9	212 49.8	201 47.2	181 42.5	72 16.9	120 28.2	8 1.9
29 歳以下	3 100.0	2 66.7	2 66.7	2 66.7	1 33.3	－ －	2 66.7	－ －	3 100.0	－ －
30～39 歳	71 100.0	59 83.1	35 49.3	28 39.4	34 47.9	34 47.9	33 46.5	17 23.9	21 29.6	2 2.8
40～49 歳	131 100.0	114 87.0	94 71.8	73 55.7	68 51.9	71 54.2	65 49.6	23 17.6	39 29.8	2 1.5
50～59 歳	113 100.0	99 87.6	77 68.1	61 54.0	58 51.3	49 43.4	45 39.8	17 15.0	37 32.7	2 1.8
60～69 歳	64 100.0	53 82.8	39 60.9	42 65.6	35 54.7	28 43.8	23 35.9	12 18.8	11 17.2	－ －
70～79 歳	25 100.0	21 84.0	11 44.0	17 68.0	10 40.0	11 44.0	8 32.0	3 12.0	2 8.0	1 4.0
80 歳以上	11 100.0	8 72.7	2 18.2	6 54.5	4 36.4	5 45.5	2 18.2	－ －	4 36.4	1 9.1
無回答	8 100.0	6 75.0	3 37.5	5 62.5	2 25.0	3 37.5	3 37.5	－ －	3 37.5	－ －

【今後、新設または拡充してほしいサービス（介護者の健康状況別）】

介護者の健康状況別でみると、他に比べ、高齢による体力の減退で「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」の割合が68.5%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者の 一時的な休息を支援するサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・ 診療所	重度の障害や、医療的ケアを 要している、受け入れ可能な 病院・診療所	医療的ケアの行える施設、 事業所等の増加	医療、福祉、保健、教育などの各 分野の包括的な相談や、障害児・ 者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無 回 答
全 体	426 100.0	362 85.0	263 61.7	234 54.9	212 49.8	201 47.2	181 42.5	72 16.9	120 28.2	8 1.9
健康	119 100.0	104 87.4	65 54.6	58 48.7	48 40.3	52 43.7	46 38.7	23 19.3	28 23.5	4 3.4
腰痛	255 100.0	218 85.5	168 65.9	151 59.2	140 54.9	122 47.8	121 47.5	47 18.4	78 30.6	4 1.6
肩痛	170 100.0	143 84.1	115 67.6	102 60.0	102 60.0	93 54.7	82 48.2	28 16.5	54 31.8	4 2.4
慢性疲労	180 100.0	152 84.4	126 70.0	115 63.9	112 62.2	104 57.8	87 48.3	32 17.8	63 35.0	2 1.1
慢性的な睡眠不足	177 100.0	149 84.2	121 68.4	111 62.7	103 58.2	95 53.7	80 45.2	38 21.5	61 34.5	3 1.7
慢性病で治療中	65 100.0	54 83.1	42 64.6	41 63.1	41 63.1	31 47.7	28 43.1	12 18.5	20 30.8	－ －
高齢による体力の減退	111 100.0	97 87.4	72 64.9	76 68.5	64 57.7	58 52.3	50 45.0	21 18.9	35 31.5	2 1.8
その他	54 100.0	43 79.6	38 70.4	26 48.1	24 44.4	27 50.0	25 46.3	10 18.5	29 53.7	－ －
無回答	3 100.0	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	－ －	－ －	－ －	1 33.3	－ －

【今後、新設または拡充してほしいサービス（介護者の睡眠時間別）】

介護者の睡眠時間別でみると、連続・継続してまとまった時間眠れるに比べ、短時間睡眠を複数回とっているで「重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所」の割合が 58.0%、「医療的ケアの行える施設、事業所等の増加」の割合が 51.3%、「ピアカウンセリングによる相談」の割合が 21.0%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者の 一時的な休息を支援するサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・ 診療所	重度の障害や医療的ケアを 要していても、受け入れ可能な 病院・診療所	医療的ケアの行える施設、 事業所等の増加	医療、福祉、保健、教育などの各 分野の包括的な相談や、障害児・ 者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無 回 答
全 体	426 100.0	362 85.0	263 61.7	234 54.9	212 49.8	201 47.2	181 42.5	72 16.9	120 28.2	8 1.9
連続・継続してまとまった 時間眠れる	293 100.0	251 85.7	178 60.8	156 53.2	136 46.4	134 45.7	129 44.0	47 16.0	79 27.0	5 1.7
短時間睡眠を複数回 とっている	119 100.0	102 85.7	78 65.5	69 58.0	69 58.0	61 51.3	48 40.3	25 21.0	38 31.9	2 1.7
無回答	14 100.0	9 64.3	7 50.0	9 64.3	7 50.0	6 42.9	4 28.6	－ －	3 21.4	1 7.1

【今後、新設または拡充してほしいサービス（介護協力者の有無別）】

介護協力者の有無別でみると、いないに比べ、いるで「ピアカウンセリングによる相談」の割合が18.7%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者 の一時の休息を支援するサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・ 診療所	重度の障害や医療的ケアを 要している、受け入れ可能な 病院・診療所	医療的ケアの行える施設、 事業所等の増加	医療、福祉、保健、教育などの各 分野の包括的な相談や、障害児・ 者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無 回 答
全 体	426 100.0	362 85.0	263 61.7	234 54.9	212 49.8	201 47.2	181 42.5	72 16.9	120 28.2	8 1.9
いる	348 100.0	297 85.3	215 61.8	193 55.5	172 49.4	166 47.7	150 43.1	65 18.7	98 28.2	5 1.4
いない	73 100.0	60 82.2	46 63.0	37 50.7	38 52.1	34 46.6	30 41.1	7 9.6	21 28.8	3 4.1
無回答	5 100.0	5 100.0	2 40.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	－ －	1 20.0	－ －

【今後、新設または拡充してほしいサービス（介護者の急病時の対応別）】

介護者の急病時の対応別でみると、他に比べ、家族以外の親戚に依頼するで「医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口」の割合が 59.5%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能な ショートステイ（短期入所）	介護者のレスパイトケア（介護者の 一時的な休息を支援するサービス）の拡充	緊急時に受け入れ可能な病院・ 診療所	重度の障害や医療的ケアを 要している、受け入れ可能な 病院・診療所	医療的ケアの行える施設、 事業所等の増加	医療、福祉、保健、教育などの各 分野の包括的な相談や、障害児・ 者一貫した相談ができる窓口	ピアカウンセリングによる相談	その他	無 回 答
全 体	447 100.0	369 82.6	268 60.0	240 53.7	216 48.3	204 45.6	184 41.2	72 16.1	122 27.3	19 4.3
他の家族が世話をする	272 100.0	235 86.4	167 61.4	151 55.5	132 48.5	123 45.2	115 42.3	46 16.9	68 25.0	4 1.5
家族以外の親戚に依頼する	37 100.0	30 81.1	22 59.5	16 43.2	17 45.9	14 37.8	22 59.5	10 27.0	14 37.8	1 2.7
知人に依頼する	4 100.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	－ －
ホームヘルプを利用する	40 100.0	29 72.5	21 52.5	25 62.5	21 52.5	21 52.5	12 30.0	8 20.0	9 22.5	2 5.0
ショートステイ(短期入所)を 利用する	118 100.0	101 85.6	74 62.7	62 52.5	56 47.5	55 46.6	52 44.1	21 17.8	32 27.1	3 2.5
その他	94 100.0	82 87.2	66 70.2	61 64.9	60 63.8	57 60.6	43 45.7	18 19.1	43 45.7	2 2.1
無回答	18 100.0	5 27.8	3 16.7	3 16.7	3 16.7	3 16.7	1 5.6	1 5.6	－ －	11 61.1

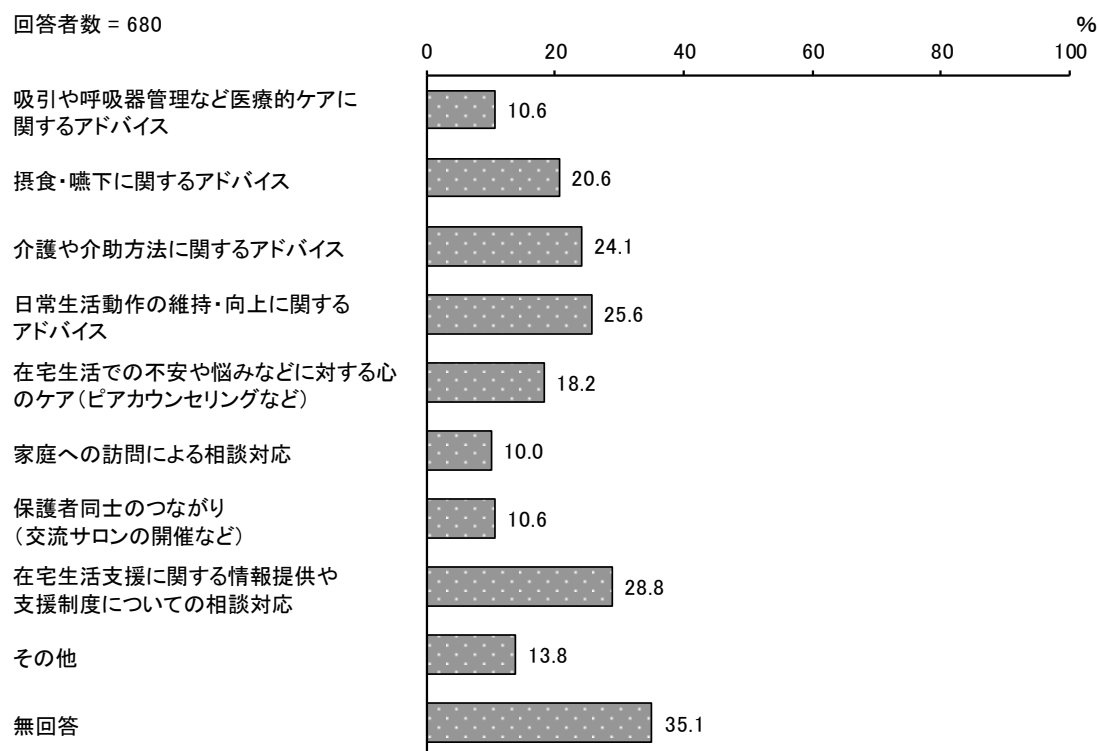
問 34 今後、在宅で生活していくために、ご本人およびその介護者の方への支援などで、不足している、または、必要であると感じることについて、あてはまるものがありましたら、すべてに○をつけてください。また、選択肢にないものにつきましても、感じる事などがございましたら、「9. その他」に記載してください。

「在宅生活支援に関する情報提供や支援制度についての相談対応」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「日常生活動作の維持・向上に関するアドバイス」の割合が 25.6%、「介護や介助方法に関するアドバイス」の割合が 24.1%となっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

全 体	吸引や呼吸器管理など医療的ケアに関するアドバイス	摂食・嚥下に関するアドバイス	介護や介助方法に関するアドバイス	日常生活動作の維持・向上に関するアドバイス	在宅生活での不安や悩みなどに対する心のケア（ピアカウンセリングなど）	家庭への訪問による相談対応	保護者同士のつながり（交流サロンの開催など）	在宅生活支援に関する情報提供や支援制度についての相談対応	その他	無回答
680	72	140	164	174	124	68	72	196	94	239
100.0	10.6	20.6	24.1	25.6	18.2	10.0	10.6	28.8	13.8	35.1

回答者数 = 680



【在宅での生活において、必要だと思われる支援内容（本人の年齢別）】

本人の年齢別でみると、他に比べ、0～5歳で「摂食・嚥下に関するアドバイス」の割合が56.1%、「保護者同士のつながり（交流サロンの開催など）」の割合が22.7%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	吸引や呼吸器管理など医療的 ケアに関するアドバイス	摂食・嚥下に関するアドバイス	介護や介助方法に関する アドバイス	日常生活動作の維持・ 向上に関するアドバイス	在宅生活での不安や悩みなどに 対する心のケア （ピアカウンセリングなど）	家庭への訪問による相談対応	保護者同士のつながり （交流サロンの開催など）	在宅生活支援に関する情報提供 や支援制度についての相談対応	その他	無 回 答
全 体	680 100.0	72 10.6	140 20.6	164 24.1	174 25.6	124 18.2	68 10.0	72 10.6	196 28.8	94 13.8	239 35.1
0～5歳	66 100.0	12 18.2	37 56.1	20 30.3	24 36.4	14 21.2	11 16.7	15 22.7	25 37.9	12 18.2	10 15.2
6～11 歳	86 100.0	11 12.8	26 30.2	31 36.0	35 40.7	23 26.7	15 17.4	13 15.1	32 37.2	10 11.6	14 16.3
12～14 歳	37 100.0	4 10.8	6 16.2	10 27.0	11 29.7	7 18.9	3 8.1	5 13.5	9 24.3	5 13.5	10 27.0
15～17 歳	33 100.0	4 12.1	8 24.2	9 27.3	4 12.1	5 15.2	2 6.1	5 15.2	12 36.4	9 27.3	6 18.2
18～19 歳	24 100.0	4 16.7	8 33.3	9 37.5	7 29.2	6 25.0	3 12.5	2 8.3	10 41.7	4 16.7	3 12.5
20～29 歳	120 100.0	9 7.5	15 12.5	33 27.5	33 27.5	21 17.5	12 10.0	13 10.8	43 35.8	28 23.3	28 23.3
30～39 歳	87 100.0	6 6.9	11 12.6	19 21.8	25 28.7	18 20.7	6 6.9	9 10.3	33 37.9	8 9.2	32 36.8
40～49 歳	96 100.0	9 9.4	13 13.5	15 15.6	15 15.6	16 16.7	5 5.2	5 5.2	19 19.8	8 8.3	51 53.1
50 歳以上	130 100.0	13 10.0	16 12.3	18 13.8	20 15.4	14 10.8	11 8.5	5 3.8	13 10.0	10 7.7	84 64.6
無回答	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0

【在宅での生活において、必要だと思われる支援内容（医療的処置の有無別）】

医療的処置の有無別でみると、受けていないに比べ、受けているで「吸引や呼吸器管理など医療的ケアに関するアドバイス」の割合が18.7%、「摂食・嚥下に関するアドバイス」の割合が24.8%と高くなっています。一方、受けているに比べ、受けていないで「日常生活動作の維持・向上に関するアドバイス」の割合が29.5%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	吸引や呼吸器管理など医療的 ケアに関するアドバイス	摂食・嚥下に関するアドバイス	介護や介助方法に関する アドバイス	日常生活動作の維持・ 向上に関するアドバイス	在宅生活での不安や悩みなどに 対する心のケア (ピアカウンセリングなど)	家庭への訪問による相談対応	保護者同士のつながり (交流サロンの開催など)	在宅生活支援に関する情報提供 や支援制度についての相談対応	その他	無 回 答
全 体	680 100.0	72 10.6	140 20.6	164 24.1	174 25.6	124 18.2	68 10.0	72 10.6	196 28.8	94 13.8	239 35.1
受けている	278 100.0	52 18.7	69 24.8	71 25.5	62 22.3	55 19.8	30 10.8	36 12.9	79 28.4	43 15.5	94 33.8
受けていない	376 100.0	20 5.3	69 18.4	91 24.2	111 29.5	68 18.1	37 9.8	36 9.6	115 30.6	48 12.8	126 33.5
無回答	26 100.0	- -	2 7.7	2 7.7	1 3.8	1 3.8	1 3.8	- -	2 7.7	3 11.5	19 73.1

【在宅での生活において、必要だと思われる支援内容（介護者の年齢別）】

介護者の年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「摂食・嚥下に関するアドバイス」の割合が45.1%、「保護者同士のつながり（交流サロンの開催など）」の割合が21.1%、40～49歳で「介護や介助方法に関するアドバイス」の割合が40.5%と高くなっています。また、60～69歳で「在宅生活での不安や悩みなどに対する心のケア（ピアカウンセリングなど）」の割合が32.8%、「在宅生活支援に関する情報提供や支援制度についての相談対応」の割合が53.1%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	吸 引 や 呼 吸 器 管 に 関 する ア ド バ イ ス	摂 食 ・ 嚥 下 に 関 する ア ド バ イ ス	介 護 や 介 助 方 法 に 関 する ア ド バ イ ス	日 常 生 活 動 作 の 維 持 ・ 向 上 に 関 する ア ド バ イ ス	在 宅 生 活 で の 不 安 や 悩 み な ど に 対 する 心 の ケ ア （ ピ ア カ ウ ン セ リ ン グ な ど ）	家 庭 へ の 訪 問 に よ る 相 談 対 応	保 護 者 同 士 の つ な が り （ 交 流 サ ロ ン の 開 催 な ど ）	在 宅 生 活 支 援 に 関 する 情 報 提 供 や 支 援 制 度 に 関 する 相 談 対 応	そ の 他	無 回 答
全 体	426 100.0	47 11.0	110 25.8	135 31.7	140 32.9	97 22.8	48 11.3	57 13.4	166 39.0	71 16.7	74 17.4
29 歳以下	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	2 66.7	- -
30～39 歳	71 100.0	7 9.9	32 45.1	18 25.4	22 31.0	15 21.1	8 11.3	15 21.1	30 42.3	10 14.1	11 15.5
40～49 歳	131 100.0	20 15.3	43 32.8	53 40.5	50 38.2	31 23.7	18 13.7	20 15.3	47 35.9	20 15.3	23 17.6
50～59 歳	113 100.0	12 10.6	18 15.9	34 30.1	34 30.1	23 20.4	15 13.3	13 11.5	40 35.4	24 21.2	24 21.2
60～69 歳	64 100.0	8 12.5	10 15.6	20 31.3	23 35.9	21 32.8	5 7.8	5 7.8	34 53.1	6 9.4	7 10.9
70～79 歳	25 100.0	- -	3 12.0	7 28.0	7 28.0	6 24.0	2 8.0	3 12.0	11 44.0	4 16.0	4 16.0
80 歳以上	11 100.0	- -	1 9.1	1 9.1	2 18.2	1 9.1	- -	1 9.1	2 18.2	2 18.2	5 45.5
無回答	8 100.0	- -	2 25.0	1 12.5	2 25.0	- -	- -	- -	2 25.0	3 37.5	- -

【在宅での生活において、必要だと思われる支援内容（介護者の健康状況別）】

介護者の健康状況別でみると、他に比べ、慢性病で治療中で「在宅生活での不安や悩みなどに対する心のケア（ピアカウンセリングなど）」の割合が32.3%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	吸引や呼吸器管理など医療的 ケアに関するアドバイス	摂食・嚥下に関するアドバイス	介護や介助方法に関する アドバイス	日常生活動作の維持・ 向上に関するアドバイス	在宅生活での不安や悩みなどに 対する心のケア （ピアカウンセリングなど）	家庭への訪問による相談対応	保護者同士のつながり （交流サロンの開催など）	在宅生活支援に関する情報提供 や支援制度についての相談対応	その他	無 回 答
全 体	426 100.0	47 11.0	110 25.8	135 31.7	140 32.9	97 22.8	48 11.3	57 13.4	166 39.0	71 16.7	74 17.4
健康	119 100.0	12 10.1	30 25.2	32 26.9	37 31.1	18 15.1	9 7.6	18 15.1	47 39.5	17 14.3	23 19.3
腰痛	255 100.0	31 12.2	65 25.5	88 34.5	88 34.5	63 24.7	31 12.2	34 13.3	98 38.4	43 16.9	47 18.4
肩痛	170 100.0	25 14.7	55 32.4	61 35.9	58 34.1	46 27.1	23 13.5	25 14.7	67 39.4	27 15.9	27 15.9
慢性疲労	180 100.0	29 16.1	59 32.8	68 37.8	65 36.1	52 28.9	22 12.2	24 13.3	70 38.9	34 18.9	27 15.0
慢性的な睡眠不足	177 100.0	30 16.9	50 28.2	68 38.4	65 36.7	51 28.8	23 13.0	25 14.1	73 41.2	33 18.6	27 15.3
慢性病で治療中	65 100.0	6 9.2	15 23.1	23 35.4	25 38.5	21 32.3	12 18.5	9 13.8	29 44.6	10 15.4	7 10.8
高齢による体力の減退	111 100.0	14 12.6	26 23.4	40 36.0	41 36.9	34 30.6	12 10.8	12 10.8	49 44.1	20 18.0	17 15.3
その他	54 100.0	9 16.7	15 27.8	16 29.6	15 27.8	14 25.9	12 22.2	9 16.7	16 29.6	17 31.5	8 14.8
無回答	3 100.0	－ －	2 66.7	－ －	1 33.3	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 33.3

【在宅での生活において、必要だと思われる支援内容（介護者の睡眠時間別）】

介護者の睡眠時間別でみると、連続・継続してまとまった時間眠れるに比べ、短時間睡眠を複数回とっているで「吸引や呼吸器管理など医療的ケアに関するアドバイス」の割合が 15.1%、「介護や介助方法に関するアドバイス」の割合が 37.8%と高くなっています。一方、短時間睡眠を複数回とっているに比べ、連続・継続してまとまった時間眠れるで「在宅生活支援に関する情報提供や支援制度についての相談対応」の割合が 41.3%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	吸引や呼吸器管理など医療的 ケアに関するアドバイス	摂食・嚥下に関するアドバイス	介護や介助方法に関する アドバイス	日常生活動作の維持・ 向上に関するアドバイス	在宅生活での不安や悩みなどに 対する心のケア (ピアカウンセリングなど)	家庭への訪問による相談対応	保護者同士のつながり (交流サロンの開催など)	在宅生活支援に関する情報提供 や支援制度についての相談対応	その他	無 回 答
全 体	426 100.0	47 11.0	110 25.8	135 31.7	140 32.9	97 22.8	48 11.3	57 13.4	166 39.0	71 16.7	74 17.4
連続・継続して まとまった時間眠れる	293 100.0	29 9.9	77 26.3	84 28.7	95 32.4	66 22.5	31 10.6	41 14.0	121 41.3	47 16.0	46 15.7
短時間睡眠を 複数回とっている	119 100.0	18 15.1	30 25.2	45 37.8	41 34.5	30 25.2	16 13.4	16 13.4	42 35.3	21 17.6	26 21.8
無回答	14 100.0	－ －	3 21.4	6 42.9	4 28.6	1 7.1	1 7.1	－ －	3 21.4	3 21.4	2 14.3

【在宅での生活において、必要だと思われる支援内容（介護協力者の有無別）】

介護協力者の有無別でみると、いないに比べ、いるで「吸引や呼吸器管理など医療的ケアに関するアドバイス」の割合が12.4%、「介護や介助方法に関するアドバイス」の割合が33.0%、「日常生活動作の維持・向上に関するアドバイス」の割合が36.2%、「在宅生活での不安や悩みなどに対する心のケア（ピアカウンセリングなど）」の割合が23.9%、「家庭への訪問による相談対応」の割合が13.5%、「保護者同士のつながり（交流サロンの開催など）」の割合が14.7%、「在宅生活支援に関する情報提供や支援制度についての相談対応」の割合が41.4%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	吸引や呼吸器管理など医療的 ケアに関するアドバイス	摂食・嚥下に関するアドバイス	介護や介助方法に関する アドバイス	日常生活動作の維持・ 向上に関するアドバイス	在宅生活での不安や悩みなどに 対する心のケア （ピアカウンセリングなど）	家庭への訪問による相談対応	保護者同士のつながり （交流サロンの開催など）	在宅生活支援に関する情報提供 や支援制度についての相談対応	その他	無 回 答
全 体	426 100.0	47 11.0	110 25.8	135 31.7	140 32.9	97 22.8	48 11.3	57 13.4	166 39.0	71 16.7	74 17.4
いる	348 100.0	43 12.4	89 25.6	115 33.0	126 36.2	83 23.9	47 13.5	51 14.7	144 41.4	55 15.8	57 16.4
いない	73 100.0	4 5.5	19 26.0	17 23.3	12 16.4	12 16.4	1 1.4	6 8.2	22 30.1	16 21.9	16 21.9
無回答	5 100.0	- -	2 40.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	- -	- -	- -	- -	1 20.0

【在宅での生活において、必要だと思われる支援内容（介護者の急病時の対応別）】

介護者の急病時の対応別でみると、他に比べ、家族以外の親戚に依頼するで「摂食・嚥下に関するアドバイス」の割合が 40.5%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	吸引や呼吸器管理など医療的 ケアに関するアドバイス	摂食・嚥下に関するアドバイス	介護や介助方法に関する アドバイス	日常生活動作の維持・ 向上に関するアドバイス	在宅生活での不安や悩みなどに 対する心のケア （ピアカウンセリングなど）	家庭への訪問による相談対応	保護者同士のつながり （交流サロンの開催など）	在宅生活支援に関する情報提供 や支援制度についての相談対応	その他	無 回 答
全 体	447 100.0	50 11.2	116 26.0	139 31.1	145 32.4	103 23.0	52 11.6	59 13.2	173 38.7	75 16.8	80 17.9
他の家族が世話をする	272 100.0	30 11.0	75 27.6	92 33.8	103 37.9	60 22.1	34 12.5	40 14.7	113 41.5	44 16.2	43 15.8
家族以外の親戚に 依頼する	37 100.0	2 5.4	15 40.5	8 21.6	15 40.5	9 24.3	2 5.4	6 16.2	13 35.1	5 13.5	7 18.9
知人に依頼する	4 100.0	－ －	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	－ －
ホームヘルプを利用する	40 100.0	3 7.5	7 17.5	11 27.5	12 30.0	11 27.5	3 7.5	6 15.0	15 37.5	6 15.0	10 25.0
ショートステイ （短期入所）を利用する	118 100.0	7 5.9	25 21.2	40 33.9	37 31.4	32 27.1	14 11.9	18 15.3	53 44.9	14 11.9	19 16.1
その他	94 100.0	16 17.0	24 25.5	28 29.8	22 23.4	22 23.4	13 13.8	14 14.9	33 35.1	29 30.9	16 17.0
無回答	18 100.0	1 5.6	4 22.2	4 22.2	5 27.8	6 33.3	3 16.7	1 5.6	7 38.9	－ －	7 38.9

【在宅での生活において、必要だと思われる支援内容（今後、新設・拡充してほしいサービス別）】

介護者の健康状況別でみると、他に比べ、ピアカウンセリングによる相談で「日常生活動作の維持・向上に関するアドバイス」の割合が 50.5%、「在宅生活での不安や悩みなどに対する心のケア（ピアカウンセリングなど）」の割合が 58.8%、「家庭への訪問による相談対応」の割合が 27.8%、「保護者同士のつながり（交流サロンの開催など）」の割合が 36.1%と高くなっています。

[上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	吸引や呼吸器管理など医療的 ケアに関するアドバイス	摂食・嚥下に関するアドバイス	介護や介助方法に関する アドバイス	日常生活動作の維持・ 向上に関するアドバイス	在宅生活での不安や悩みなどに 対する心のケア （ピアカウンセリングなど）	家庭への訪問による相談対応	保護者同士のつながり （交流サロンの開催など）	在宅生活支援に関する情報提供 や支援制度についての相談対応	その他	無 回 答
全 体	680 100.0	72 10.6	140 20.6	164 24.1	174 25.6	124 18.2	68 10.0	72 10.6	196 28.8	94 13.8	239 35.1
緊急時に受け入れ可能な ショートステイ(短期入所)	401 100.0	50 12.5	108 26.9	134 33.4	139 34.7	98 24.4	50 12.5	57 14.2	153 38.2	66 16.5	70 17.5
介護者のレスパイトケア (介護者の一時的な休息を 支援するショートステイ等 のサービス)の拡充	291 100.0	41 14.1	81 27.8	107 36.8	108 37.1	81 27.8	45 15.5	47 16.2	120 41.2	47 16.2	45 15.5
緊急時に受け入れ可能な 病院・診療所	310 100.0	48 15.5	84 27.1	110 35.5	110 35.5	74 23.9	43 13.9	42 13.5	112 36.1	47 15.2	68 21.9
重度の障害や医療的ケア を要していても、受け入れ 可能な病院・診療所	296 100.0	51 17.2	87 29.4	103 34.8	105 35.5	69 23.3	41 13.9	42 14.2	108 36.5	54 18.2	68 23.0
医療的ケアの行える施設、 事業所等の増加	273 100.0	55 20.1	82 30.0	88 32.2	96 35.2	64 23.4	39 14.3	41 15.0	105 38.5	48 17.6	52 19.0
医療、福祉、保健、教育な どの各分野の包括的な相 談や、障害児・者一貫した 相談ができる窓口	240 100.0	40 16.7	79 32.9	96 40.0	100 41.7	80 33.3	47 19.6	44 18.3	107 44.6	34 14.2	38 15.8
ピアカウンセリングによる 相談	97 100.0	19 19.6	35 36.1	39 40.2	49 50.5	57 58.8	27 27.8	35 36.1	47 48.5	12 12.4	14 14.4
その他	151 100.0	20 13.2	47 31.1	39 25.8	42 27.8	34 22.5	25 16.6	29 19.2	51 33.8	46 30.5	33 21.9
無回答	112 100.0	2 1.8	3 2.7	4 3.6	4 3.6	6 5.4	4 3.6	3 2.7	5 4.5	3 2.7	98 87.5

2 事業所

問1 貴事業所・施設のサービス種別について、1つだけ○をつけてください。

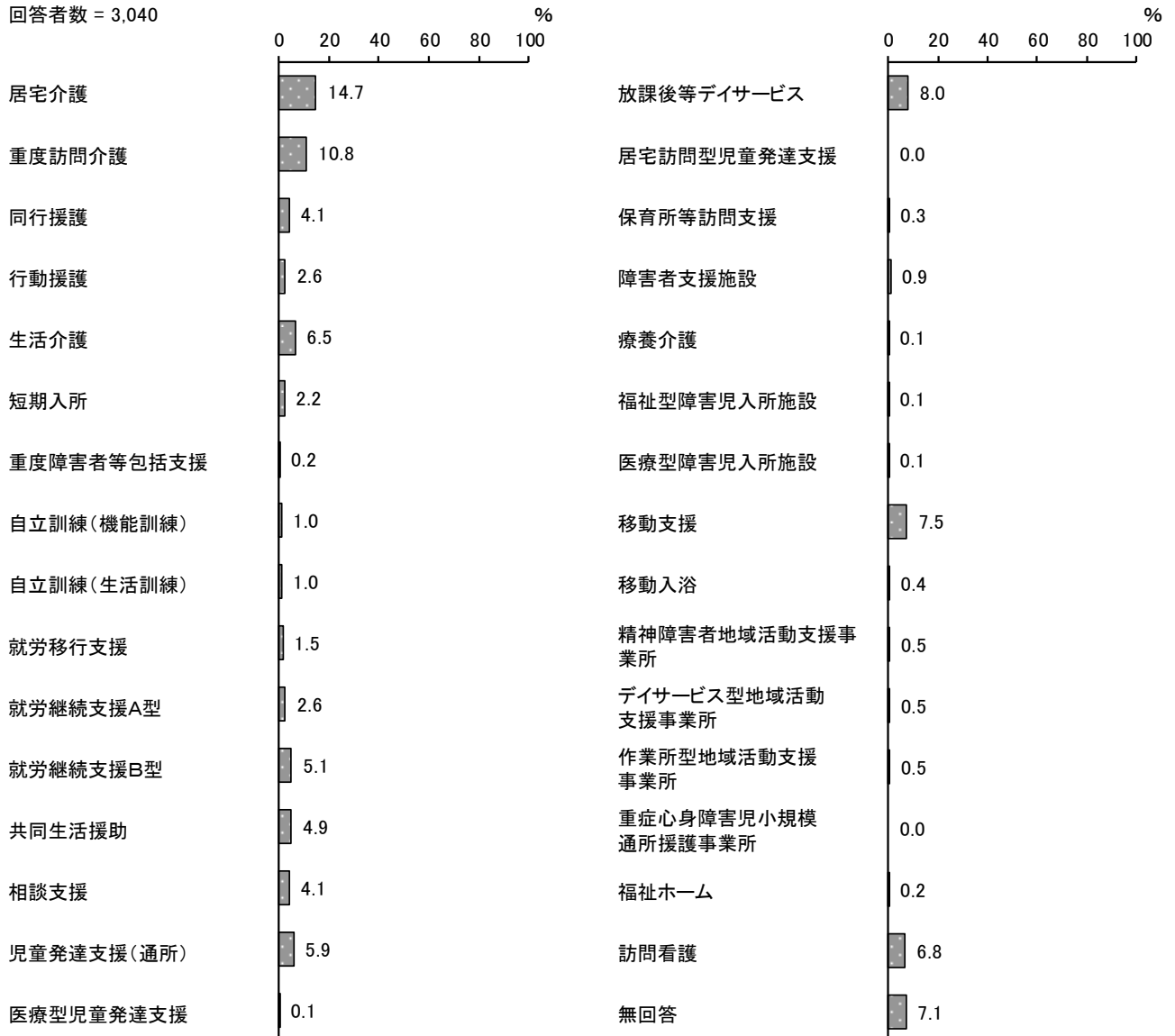
「居宅介護」の割合が14.7%と最も高く、次いで「重度訪問介護」の割合が10.8%となっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

全体	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	生活介護	短期入所	重度障害者等包括支援	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	共同生活援助	相談支援	児童発達支援（通所）	医療型児童発達支援
3,040	448	328	124	78	197	67	6	29	29	45	80	156	149	126	179	2
100.0	14.7	10.8	4.1	2.6	6.5	2.2	0.2	1.0	1.0	1.5	2.6	5.1	4.9	4.1	5.9	0.1

放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	障害者支援施設	療養介護	福祉型障害児入所施設	医療型障害児入所施設	移動支援	移動入浴	精神障害者地域活動支援事業所	デイサービス型地域活動支援事業所	作業所型地域活動支援事業所	重症心身障害児小規模通所支援事業所	福祉ホーム	訪問看護	無回答
242	-	9	26	3	2	2	228	12	14	15	14	1	6	208	215
8.0	-	0.3	0.9	0.1	0.1	0.1	7.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.0	0.2	6.8	7.1

回答者数 = 3,040



問2 貴事業所・施設の所在区を記入してください。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

全 体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区
3,040	175	82	228	213	188	161	168	97	101	280
100.0	5.8	2.7	7.5	7.0	6.2	5.3	5.5	3.2	3.3	9.2

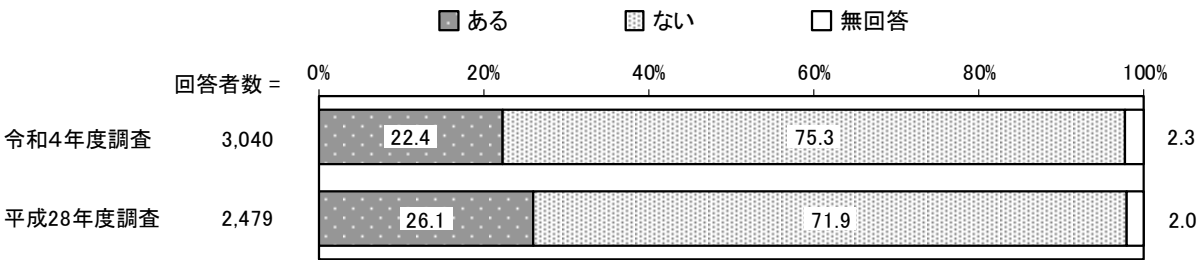
港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区	無回答
144	160	301	247	222	226	47
4.7	5.3	9.9	8.1	7.3	7.4	1.5

問3 今までに重症心身障害児者を貴事業所・施設で受入れたことがありますか。
いずれかに○をつけてください。

「ある」の割合が22.4%、「ない」の割合が75.3%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

全 体	ある	ない	無回答
3,040	680	2,289	71
100.0	22.4	75.3	2.3



【重症心身障害児者の受入れ（サービス種別ごと）】

サービス種別ごとにみると、移動入浴で「ある」の割合が75.0%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	あ る	な い	無 回 答
全 体	3,040 100.0	680 22.4	2,289 75.3	71 2.3
居宅介護	448 100.0	114 25.4	325 72.5	9 2.0
重度訪問介護	328 100.0	80 24.4	238 72.6	10 3.0
同行援護	124 100.0	12 9.7	108 87.1	4 3.2
行動援護	78 100.0	11 14.1	64 82.1	3 3.8
生活介護	197 100.0	79 40.1	117 59.4	1 0.5
短期入所	67 100.0	25 37.3	41 61.2	1 1.5
重度障害者等包括支援	6 100.0	4 66.7	2 33.3	－ －
自立訓練（機能訓練）	29 100.0	－ －	29 100.0	－ －
自立訓練（生活訓練）	29 100.0	－ －	29 100.0	－ －
就労移行支援	45 100.0	－ －	44 97.8	1 2.2

表続き [上段：回答数（事業所）、下段：構成比（％）]

区分	全 体	あ る	な い	無 回 答
就労継続支援 A 型	80 100.0	6 7.5	72 90.0	2 2.5
就労継続支援 B 型	156 100.0	6 3.8	147 94.2	3 1.9
共同生活援助	149 100.0	20 13.4	127 85.2	2 1.3
相談支援	126 100.0	61 48.4	65 51.6	－ －
児童発達支援(通所)	179 100.0	33 18.4	141 78.8	5 2.8
医療型児童発達支援	2 100.0	2 100.0	－ －	－ －
放課後等デイサービス	242 100.0	59 24.4	178 73.6	5 2.1
居宅訪問型児童発達支援	－ －	－ －	－ －	－ －
保育所等訪問支援	9 100.0	2 22.2	7 77.8	－ －
障害者支援施設	26 100.0	11 42.3	15 57.7	－ －
療養介護	3 100.0	3 100.0	－ －	－ －

表続き [上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

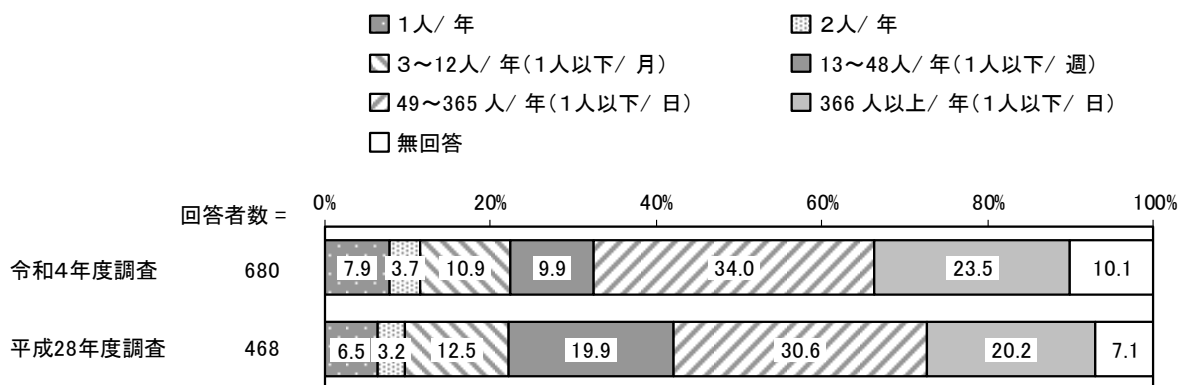
区分	全 体	あ る	な い	無 回 答
福祉型障害児入所施設	2 100.0	－ －	2 100.0	－ －
医療型障害児入所施設	2 100.0	2 100.0	－ －	－ －
移動支援	228 100.0	25 11.0	190 83.3	13 5.7
移動入浴	12 100.0	9 75.0	3 25.0	－ －
精神障害者地域活動支援 事業所	14 100.0	－ －	14 100.0	－ －
デイサービス型地域活動 支援事業所	15 100.0	1 6.7	14 93.3	－ －
作業所型地域活動支援事 業所	14 100.0	3 21.4	11 78.6	－ －
重症心身障害児小規模通 所援護事業所	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －
福祉ホーム	6 100.0	1 16.7	5 83.3	－ －
訪問看護	208 100.0	70 33.7	136 65.4	2 1.0
無回答	215 100.0	40 18.6	165 76.7	10 4.7

問4 問3で「ある」に○をつけた方のみ記入してください。
重症心身障害児者の利用実績について、平均延人数を記入し、回答された人数の
単位に○をつけてください。

「49～365 人/年（1 人以下/日）」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「366 人以上/年（1 人
以下/日）」の割合が 23.5%、「3～12 人/年（1 人以下/月）」の割合が 10.9%となっています。
平成 28 年度調査と比較すると、「13～48 人/年（1 人以下/週）」の割合が減少しています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

全 体	1 人/年	2 人/年	3～12 人/年 (1 人以下/月)	13～48 人/年 (1 人以下/週)	49～365 人/年 (1 人以下/日)	366 人以上/年 (1 人以下/日)	無回答
680	54	25	74	67	231	160	69
100.0	7.9	3.7	10.9	9.9	34.0	23.5	10.1



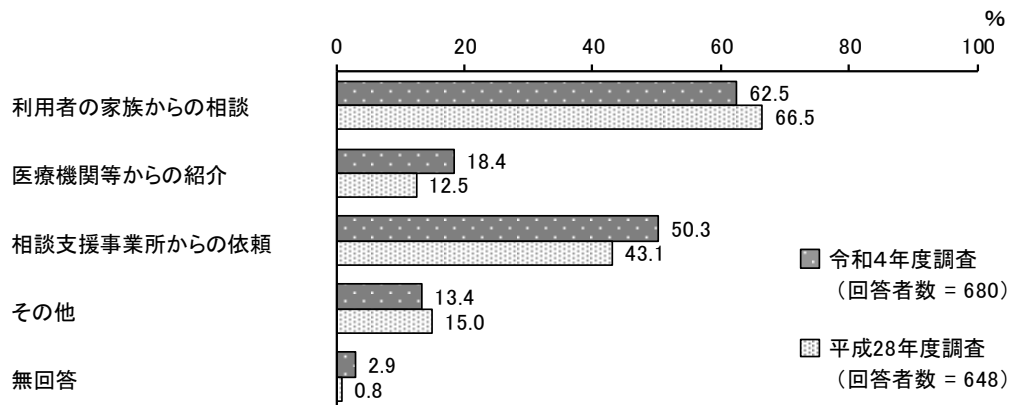
問5 問3で「ある」に○をつけた方のみ記入してください。
重症心身障害児者を受入れるに至った経緯について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用者の家族からの相談」の割合が62.5%と最も高く、次いで「相談支援事業所からの依頼」の割合が50.3%、「医療機関等からの紹介」の割合が18.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「医療機関等からの紹介」の割合が18.4%、「相談支援事業所からの依頼」の割合が50.3%に増加しています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

全 体	利用者の家族からの相談	医療機関等からの紹介	相談支援事業所からの依頼	その他	無回答
680	425	125	342	91	20
100.0	62.5	18.4	50.3	13.4	2.9



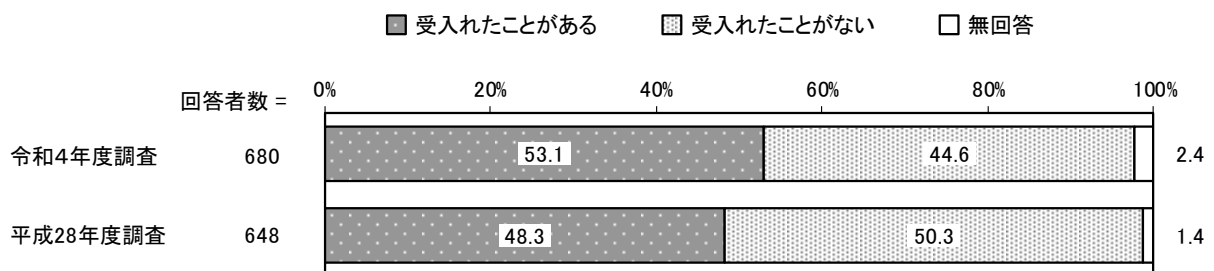
問6 問3で「ある」に○をつけた方のみ記入してください。
 医療的ケアが必要な重症心身障害児者を受入れたことがありますか。いずれかに○をつけてください。
 また、「受入れたことがある」に○をつけた方は、必要な医療的ケアすべてに○をつけてください。

「受入れたことがある」の割合が53.1%、「受入れたことがない」の割合が44.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「受入れたことがない」の割合が44.6%に減少しています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

全 体	受入れたことがある	受入れたことがない	無回答
680	361	303	16
100.0	53.1	44.6	2.4



【医療的ケアが必要な重症心身障害児者の受入れ（サービス種別ごと）】

サービス種別ごとにみると、他に比べ、訪問看護で「受入れたことがある」の割合が 97.1%、同行援護で「受入れたことがない」の割合が 91.7%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	あ る 受 入 れ た こ と が	な い 受 入 れ た こ と が	無 回 答
全 体	680 100.0	361 53.1	303 44.6	16 2.4
居宅介護	114 100.0	48 42.1	62 54.4	4 3.5
重度訪問介護	80 100.0	37 46.3	43 53.8	－ －
同行援護	12 100.0	1 8.3	11 91.7	－ －
行動援護	11 100.0	3 27.3	7 63.6	1 9.1
生活介護	79 100.0	45 57.0	29 36.7	5 6.3
短期入所	25 100.0	8 32.0	17 68.0	－ －
重度障害者等包括支援	4 100.0	－ －	4 100.0	－ －
自立訓練(機能訓練)	－ －	－ －	－ －	－ －
自立訓練(生活訓練)	－ －	－ －	－ －	－ －
就労移行支援	－ －	－ －	－ －	－ －

表続き [上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	ある 受 入 れ た こ と が	ない 受 入 れ た こ と が	無 回 答
就労継続支援 A 型	6 100.0	－ －	5 83.3	1 16.7
就労継続支援 B 型	6 100.0	－ －	6 100.0	－ －
共同生活援助	20 100.0	5 25.0	15 75.0	－ －
相談支援	61 100.0	41 67.2	18 29.5	2 3.3
児童発達支援(通所)	33 100.0	23 69.7	9 27.3	1 3.0
医療型児童発達支援	2 100.0	2 100.0	－ －	－ －
放課後等デイサービス	59 100.0	32 54.2	27 45.8	－ －
居宅訪問型児童発達支援	－ －	－ －	－ －	－ －
保育所等訪問支援	2 100.0	1 50.0	1 50.0	－ －
障害者支援施設	11 100.0	7 63.6	4 36.4	－ －
療養介護	3 100.0	3 100.0	－ －	－ －

表続き [上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	ある 受 入 れ た こ と が	ない 受 入 れ た こ と が	無 回 答
福祉型障害児入所施設	- -	- -	- -	- -
医療型障害児入所施設	2 100.0	2 100.0	- -	- -
移動支援	25 100.0	6 24.0	19 76.0	- -
移動入浴	9 100.0	9 100.0	- -	- -
精神障害者地域活動支援 事業所	- -	- -	- -	- -
デイサービス型地域活動 支援事業所	1 100.0	- -	1 100.0	- -
作業所型地域活動支援事 業所	3 100.0	- -	3 100.0	- -
重症心身障害児小規模通 所援護事業所	1 100.0	1 100.0	- -	- -
福祉ホーム	1 100.0	- -	1 100.0	- -
訪問看護	70 100.0	68 97.1	2 2.9	- -
無回答	40 100.0	19 47.5	19 47.5	2 5.0

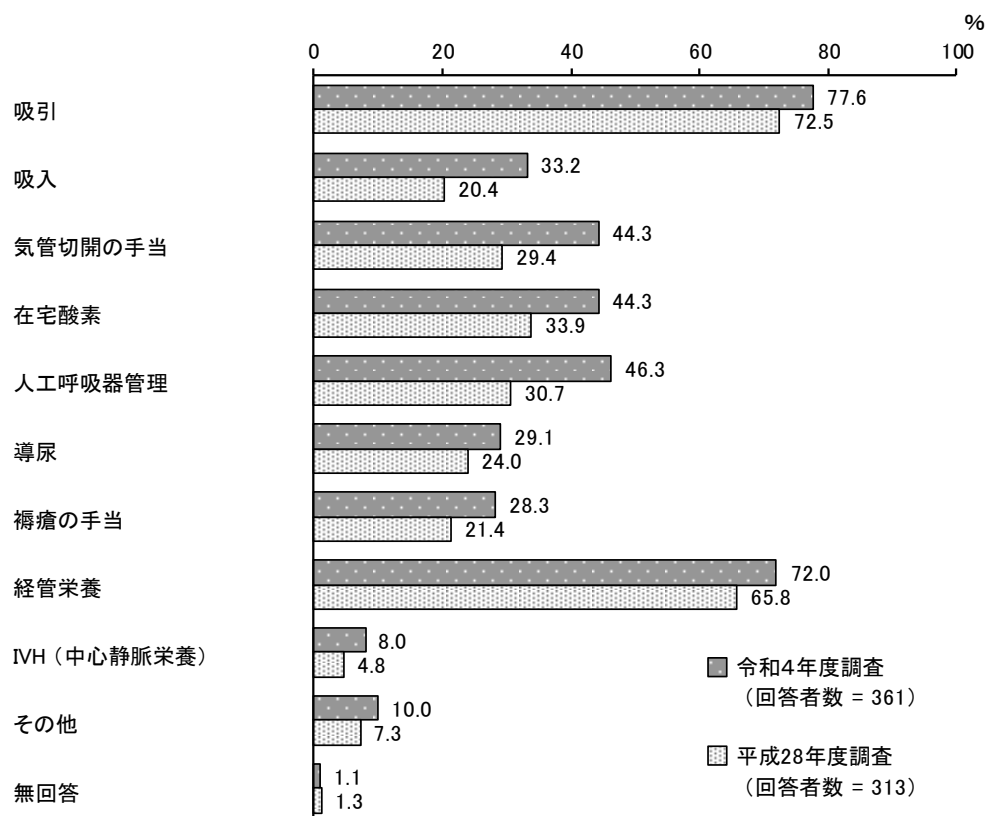
＜必要な医療的ケア＞

「吸引」の割合が77.6%と最も高く、次いで「経管栄養」の割合が72.0%、「人工呼吸器管理」の割合が46.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「吸入」「気管切開の手当」「在宅酸素」「人工呼吸器管理」の割合が増加しています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

	吸引	吸入	気管切開の手当	在宅酸素	人工呼吸器管理	導尿	褥瘡の手当	経管栄養	IVH（中心静脈栄養）	その他	無回答
全 体	361	120	160	160	167	105	102	260	29	36	4
	100.0	33.2	44.3	44.3	46.3	29.1	28.3	72.0	8.0	10.0	1.1



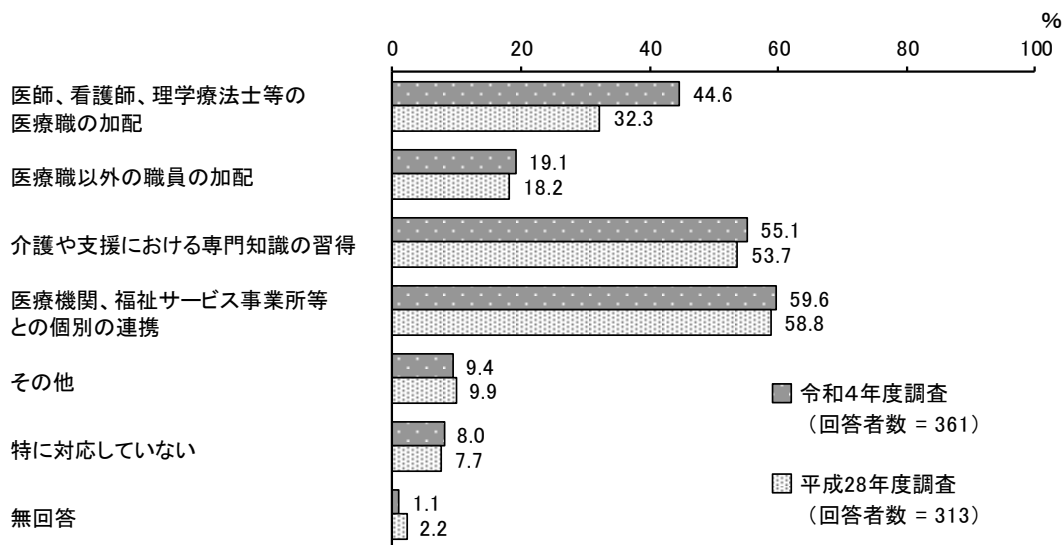
問7 問6で「受入れたことがある」に○をつけた方のみ記入してください。
重症心身障害児者を受入れるにあたって、対応したことはどのようなことですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

「医療機関、福祉サービス事業所等との個別の連携」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「介護や支援における専門知識の習得」の割合が 55.1%、「医師、看護師、理学療法士等の医療職の加配」の割合が 44.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「医師、看護師、理学療法士等の医療職の加配」の割合が 44.6%に増加しています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

全 体	医師、看護師、理学療法士等の医療職の加配	医療職以外の職員の加配	介護や支援における専門知識の習得	医療機関、福祉サービス事業所等との個別の連携	その他	特に対応していない	無回答
361	161	69	199	215	34	29	4
100.0	44.6	19.1	55.1	59.6	9.4	8.0	1.1



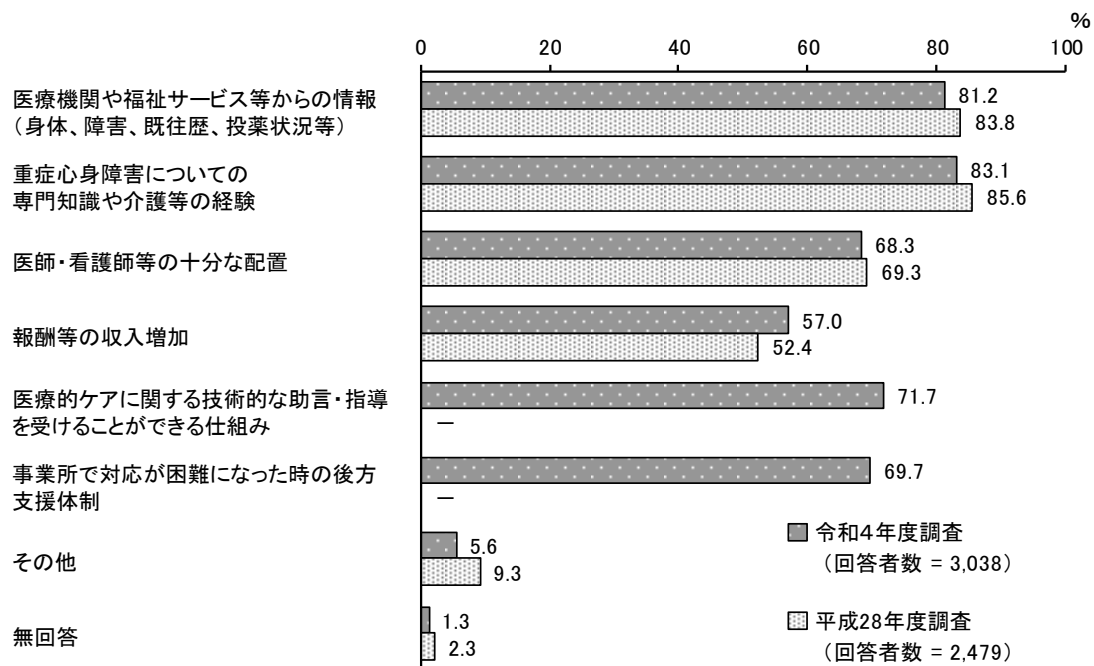
問 8 医療的ケアが必要な重症心身障害児者の利用を受け入れるにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「重症心身障害についての専門知識や介護等の経験」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」の割合が 81.2%、「医療的ケアに関する技術的な助言・指導を受けることができる仕組み」の割合が 71.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

全 体	医療機関や福祉サービス等からの情報 (身体、障害、既往歴、投薬状況等)	重症心身障害についての専門知識や介護等の経験	医師・看護師等の十分な配置	報酬等の収入増加	医療的ケアに関する技術的な助言・指導を受けることができる仕組み	事業所に対応が困難になった時の後方支援体制	その他	無回答
3,040	2,468	2,525	2,075	1,734	2,179	2,119	170	38
100.0	81.2	83.1	68.3	57.0	71.7	69.7	5.6	1.3



※平成 28 年度は「医療的ケアに関する技術的な助言・指導を受けることができる仕組み」「事業所に対応が困難になった時の後方支援体制」の選択肢はありませんでした。

【医療的ケアが必要な重症心身障害児者の受入に必要なこと（重症心身障害児者の受入の有無別）】

重症心身障害児者の受入の有無別でみると、あるに比べ、ないで「重症心身障害についての専門知識や介護等の経験」の割合が84.6%、「医師・看護師等の十分な配置」の割合が69.4%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	医療機関や福祉サ ービス等 からの情報（身体、障 害、 既往歴、投薬状況等）	重 症 心 身 障 害 に つ い て の 専 門 知 識 や 介 護 等 の 経 験	医 師 ・ 看 護 師 等 の 十 分 な 配 置	報 酬 等 の 収 入 増 加	医 療 的 ケ ア に 関 する 技 術 的 な 助 言 ・ 指 導 を 受 け る こ と が で き る 仕 組 み	事 業 所 で 対 応 が 困 難 に な った 時 の 後 方 支 援 体 制	そ の 他	無 回 答
全 体	3,040 100.0	2,468 81.2	2,525 83.1	2,075 68.3	1,734 57.0	2,179 71.7	2,119 69.7	170 5.6	38 1.3
ある	680 100.0	569 83.7	532 78.2	435 64.0	410 60.3	476 70.0	486 71.5	43 6.3	11 1.6
ない	2,289 100.0	1,844 80.6	1,936 84.6	1,589 69.4	1,283 56.1	1,654 72.3	1,591 69.5	121 5.3	19 0.8
無回答	71 100.0	55 77.5	57 80.3	51 71.8	41 57.7	49 69.0	42 59.2	6 8.5	8 11.3

【医療的ケアが必要な重症心身障害児者の利用時に必要なこと（重症心身障害児者の利用実績別）】

重症心身障害児者の利用実績別でみると、1人/年で「医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）」の割合が92.6%、「事業所で対応が困難になった時の後方支援体制」の割合が81.5%、366人以上/年（1人以下/日）で「医師・看護師等の十分な配置」の割合が78.1%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	医療機関や福祉サービス等 からの情報（身体、障害、 既往歴、投薬状況等）	重症心身障害児者についての 専門知識や介護等の経験	医師・看護師等の十分な配置	報酬等の収入増加	医療的ケアに関する技術的な 助言・指導を受けることが できる仕組み	事業所での対応が困難に なった時の後方支援体制	その他	無 回 答
全 体	680 100.0	569 83.7	532 78.2	435 64.0	410 60.3	476 70.0	486 71.5	43 6.3	11 1.6
1人/年	54 100.0	50 92.6	39 72.2	36 66.7	36 66.7	42 77.8	44 81.5	3 5.6	1 1.9
2人/年	25 100.0	20 80.0	15 60.0	10 40.0	10 40.0	15 60.0	15 60.0	1 4.0	－ －
3～12人/年 （1人以下/月）	74 100.0	59 79.7	55 74.3	34 45.9	37 50.0	46 62.2	47 63.5	3 4.1	5 6.8
13～48人/年 （1人以下/週）	67 100.0	58 86.6	45 67.2	46 68.7	45 67.2	43 64.2	53 79.1	3 4.5	－ －
49～365人/年 （1人以下/日）	231 100.0	190 82.3	187 81.0	150 64.9	134 58.0	157 68.0	162 70.1	16 6.9	2 0.9
366人以上/年 （1人以下/日）	160 100.0	133 83.1	136 85.0	125 78.1	115 71.9	121 75.6	116 72.5	13 8.1	1 0.6
無回答	69 100.0	59 85.5	55 79.7	34 49.3	33 47.8	52 75.4	49 71.0	4 5.8	2 2.9

【医療的ケアが必要な重症心身障害児者の利用時に必要なこと

（医療的ケアが必要な重症心身障害児者の受入の有無別）】

医療的ケアが必要な重症心身障害児者受入の有無別でみると、受入れたことがないに比べ、受入れたことがあるで「重症心身障害についての専門知識や介護等の経験」の割合が 82.3%、「医師・看護師等の十分な配置」の割合が 67.0%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	医療機関や福祉サー ビス等 からの情報（身体、障 害、 既往歴、投薬状況等）	重 心 身 障 害 に 関 する 専 門 知 識 や 介 護 等 の 経 験	医 師 ・ 看 護 師 等 の 十 分 な 配 置	報 酬 等 の 収 入 増 加	医 療 的 ケ ア に 関 する 技 術 的 な 助 言 ・ 指 導 を 受 け る こ と が で き る 仕 組 み	事 業 所 で 対 応 が 困 難 に な った 時 の 後 方 支 援 体 制	そ の 他	無 回 答
全 体	680 100.0	569 83.7	532 78.2	435 64.0	410 60.3	476 70.0	486 71.5	43 6.3	11 1.6
受入れたことがある	361 100.0	302 83.7	297 82.3	242 67.0	225 62.3	259 71.7	258 71.5	29 8.0	6 1.7
受入れたことがない	303 100.0	255 84.2	223 73.6	183 60.4	175 57.8	204 67.3	217 71.6	14 4.6	3 1.0
無回答	16 100.0	12 75.0	12 75.0	10 62.5	10 62.5	13 81.3	11 68.8	－ －	2 12.5

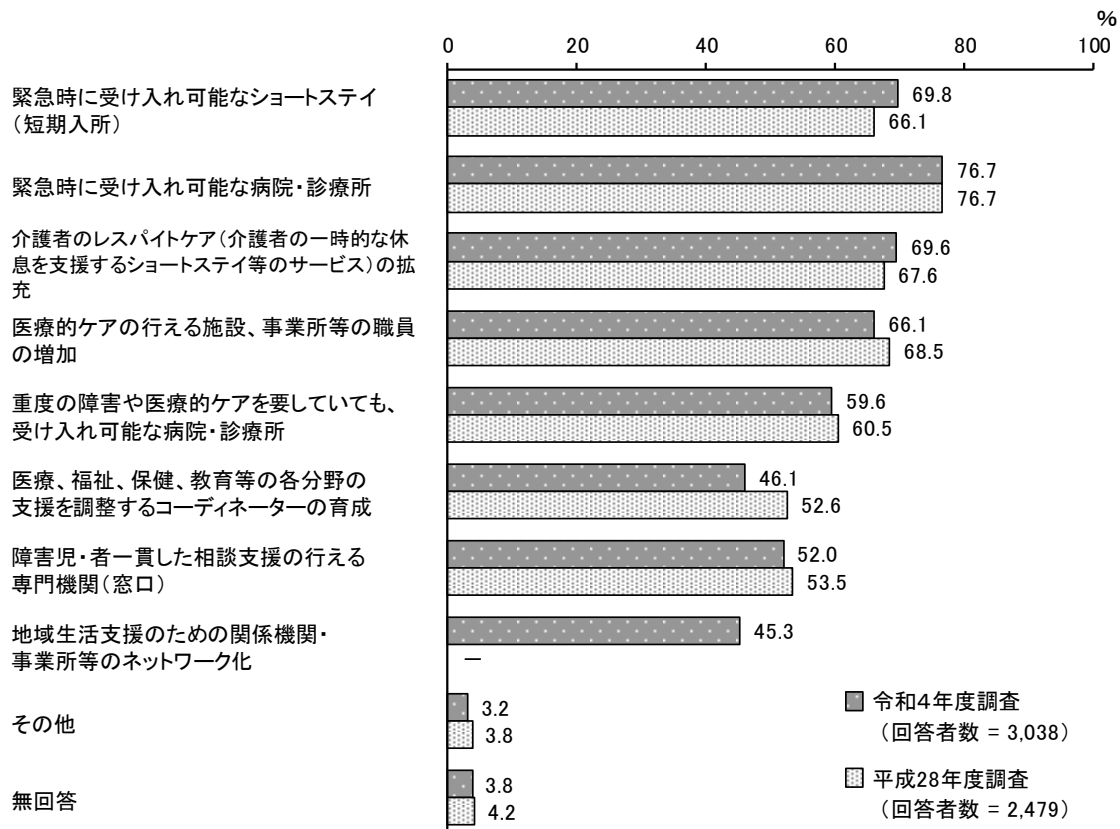
問 9 重症心身障害児者およびその介護者の方の地域での生活を支援するにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「緊急時に受け入れ可能な病院・診療所」の割合が 76.7%と最も高く、次いで「緊急時に受け入れ可能なショートステイ」の割合が 69.9%、「介護者のレスパイトケアの拡充」の割合が 69.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成」の割合が 46.1%に減少しています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

全 体	緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	重度の障害や医療的ケアを要している、受け入れ可能な病院・診療所	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関（窓口）	地域生活支援のための関係機関・事業所等のネットワーク化	その他	無回答
3,040	2,124	2,331	2,115	2,009	1,810	1,402	1,581	1,378	97	114
100.0	69.9	76.7	69.6	66.1	59.5	46.1	52.0	45.3	3.2	3.8



※平成 28 年度は「地域生活支援のための関係機関・事業所等のネットワーク化」の選択肢がありませんでした。

【地域での生活の支援に必要なこと（重症心身障害児者の受入の有無別）】

重症心身障害児者の受入の有無別でみると、ないに比べ、あるで「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」の割合が 77.9%、「医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加」の割合が 71.5%、「地域生活支援のための関係機関・事業所等のネットワーク化」の割合が 50.3%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能なショートステイ （短期入所）	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	介護者のレスパイトケア（介護者の一時激な休息を支援するショートステイ等のサービスの拡充）	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	重度の障害や医療的ケアを要している、受け入れ可能な病院・診療所	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関（窓口）	地域生活支援のための関係機関・事業所等のネットワーク化	その他	無回答
全 体	3,040 100.0	2,124 69.9	2,331 76.7	2,115 69.6	2,009 66.1	1,810 59.5	1,402 46.1	1,581 52.0	1,378 45.3	97 3.2	114 3.8
ある	680 100.0	530 77.9	519 76.3	499 73.4	486 71.5	424 62.4	300 44.1	363 53.4	342 50.3	44 6.5	8 1.2
ない	2,289 100.0	1,556 68.0	1,767 77.2	1,575 68.8	1,484 64.8	1,350 59.0	1,073 46.9	1,185 51.8	1,010 44.1	52 2.3	88 3.8
無回答	71 100.0	38 53.5	45 63.4	41 57.7	39 54.9	36 50.7	29 40.8	33 46.5	26 36.6	1 1.4	18 25.4

【地域での生活の支援に必要なこと（利用実績別）】

利用実績別でみると、1人/年で「介護者のレスパイトケア（介護者の一時激な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」の割合が83.3%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能なショートステイ （短期入所）	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	介護者のレスパイトケア（介護者の一時激な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関（窓口）	地域生活支援のための関係機関・事業所等のネットワーク化	その他	無回答
全 体	680 100.0	530 77.9	519 76.3	499 73.4	486 71.5	424 62.4	300 44.1	363 53.4	342 50.3	44 6.5	8 1.2
1人/年	54 100.0	47 87.0	47 87.0	45 83.3	45 83.3	38 70.4	21 38.9	23 42.6	29 53.7	4 7.4	1 1.9
2人/年	25 100.0	18 72.0	15 60.0	15 60.0	10 40.0	11 44.0	9 36.0	14 56.0	9 36.0	2 8.0	- -
3～12人/年 （1人以下/月）	74 100.0	56 75.7	61 82.4	54 73.0	44 59.5	40 54.1	27 36.5	26 35.1	28 37.8	5 6.8	- -
13～48人/年 （1人以下/週）	67 100.0	48 71.6	47 70.1	40 59.7	51 76.1	47 70.1	27 40.3	38 56.7	39 58.2	4 6.0	- -
49～365人/年 （1人以下/日）	231 100.0	165 71.4	174 75.3	168 72.7	157 68.0	144 62.3	108 46.8	135 58.4	109 47.2	13 5.6	5 2.2
366人以上/年 （1人以下/日）	160 100.0	137 85.6	121 75.6	123 76.9	135 84.4	100 62.5	71 44.4	88 55.0	86 53.8	9 5.6	1 0.6
無回答	69 100.0	59 85.5	54 78.3	54 78.3	44 63.8	44 63.8	37 53.6	39 56.5	42 60.9	7 10.1	1 1.4

【地域での生活の支援に必要なこと（医療的ケアの必要な重症心身障害児者の受入の有無別）】

医療的ケアの必要な重症心身障害児者の受入の有無別でみると、受け入れたことがないに比べ、受けたことがあるで「緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）」の割合が 82.8%、「介護者のレスパイトケア（介護者の一時激な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充」の割合が 79.2%、「医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加」の割合が 75.3%、「医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成」の割合が 48.5%、「障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関（窓口）」の割合が 56.8%、「その他」の割合が 10.2%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	緊急時に受け入れ可能なショートステイ （短期入所）	緊急時に受け入れ可能な病院・診療所	介護者のレスパイトケア（介護者の一時激な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充	医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加	重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所	医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成	障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関（窓口）	地域生活支援のための関係機関・事業所等のネットワーク化	その他	無回答
全 体	680 100.0	530 77.9	519 76.3	499 73.4	486 71.5	424 62.4	300 44.1	363 53.4	342 50.3	44 6.5	8 1.2
受入れたことがある	361 100.0	299 82.8	282 78.1	286 79.2	272 75.3	224 62.0	175 48.5	205 56.8	184 51.0	37 10.2	1 0.3
受入れたことがない	303 100.0	220 72.6	227 74.9	201 66.3	202 66.7	191 63.0	117 38.6	150 49.5	149 49.2	6 2.0	6 2.0
無回答	16 100.0	11 68.8	10 62.5	12 75.0	12 75.0	9 56.3	8 50.0	8 50.0	9 56.3	1 6.3	1 6.3

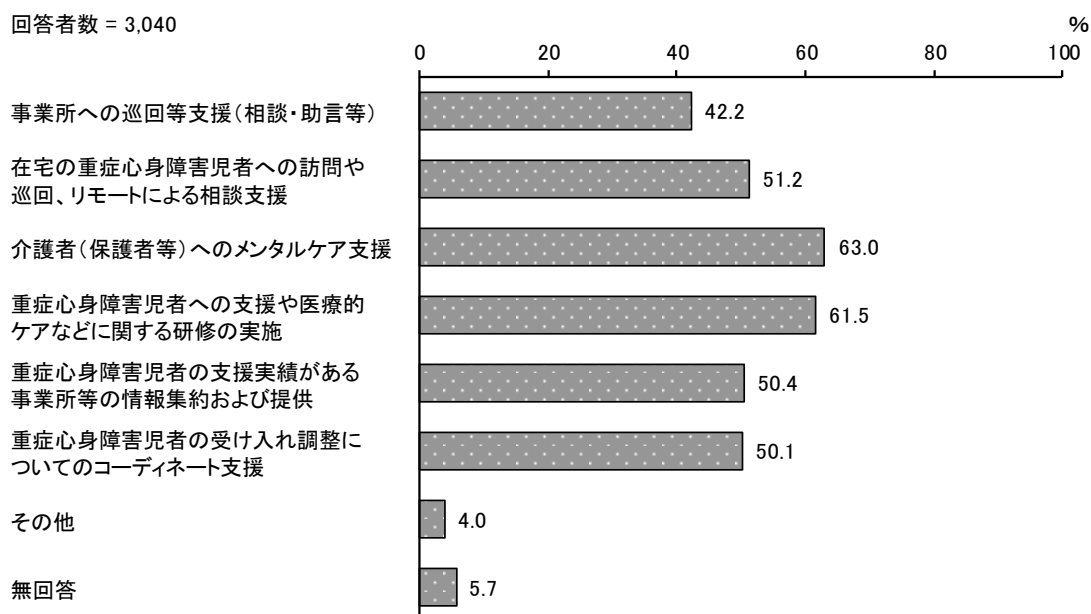
問 10 重症心身障害児者およびその介護者の方の地域での生活を支援するにあたって、今後、名古屋市重症心身障害児者施設（ティンクルなごや）の役割として、期待されることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「介護者（保護者等）へのメンタルケア支援」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「重症心身障害児者への支援や医療的ケアなどに関する研修の実施」の割合が 61.5%、「在宅の重症心身障害児者への訪問や巡回、リモートによる相談支援」の割合が 51.2%となっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

全 体	事業所への巡回等支援 （※相談・助言等）	在宅の重症心身障害児者への訪問や 巡回、リモートによる相談支援	介護者（保護者等）へのメンタルケア 支援	重症心身障害児者への支援や医療的 ケアなどに関する研修の実施	重症心身障害児者の支援実績がある 事業所等の情報集約および提供	重症心身障害児者の受け入れ調整に ついてのコーディネート支援	その他	無回答
3,040 100.0	1,284 42.2	1,556 51.2	1,915 63.0	1,869 61.5	1,533 50.4	1,523 50.1	121 4.0	174 5.7

回答者数 = 3,040



【ティンクルなごやに期待される役割（重症心身障害児者の受入の有無別）】

重症心身障害児者の受入の有無別でみると、あるに比べ、ないで「事業所への巡回等支援（相談・助言等）」の割合が44.3%、「在宅の重症心身障害児者への訪問や巡回、リモートによる相談支援」の割合が53.3%、「介護者（保護者等）へのメンタルケア支援」の割合が65.1%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	事業所への巡回等支援 （相談・助言等）	在宅の重症心身障害児者への 訪問や巡回、リモートによる相 談支援	介護者（保護者等）への メンタルケア支援	重症心身障害児者への支援や 医療的ケアなどに関する 研修の実施	重症心身障害児者の支援実績 がある事業所等の情報集約 および提供	重症心身障害児者の 受け入れ調整についての コーディネート支援	その他	無 回 答
全 体	3,040 100.0	1,284 42.2	1,556 51.2	1,915 63.0	1,869 61.5	1,533 50.4	1,523 50.1	121 4.0	174 5.7
ある	680 100.0	238 35.0	308 45.3	380 55.9	400 58.8	327 48.1	334 49.1	55 8.1	22 3.2
ない	2,289 100.0	1,014 44.3	1,219 53.3	1,491 65.1	1,431 62.5	1,175 51.3	1,155 50.5	65 2.8	134 5.9
無回答	71 100.0	32 45.1	29 40.8	44 62.0	38 53.5	31 43.7	34 47.9	1 1.4	18 25.4

【ティンクルなごやに期待される役割（利用実績別）】

利用実績別でみると、1人/年で「事業所への巡回等支援（相談・助言等）」の割合が55.6%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	事業所への巡回等支援 （相談・助言等）	在宅の重症心身障害児者への 訪問や巡回、リモートによる相 談支援	介護者（保護者等）への メンタルケア支援	重症心身障害児者への支援や 医療的ケアなどに関する 研修の実施	重症心身障害児者の支援実績 がある事業所等の情報集約 および提供	重症心身障害児者の 受け入れ調整についての コーディネート支援	その他	無 回 答
全 体	680 100.0	238 35.0	308 45.3	380 55.9	400 58.8	327 48.1	334 49.1	55 8.1	22 3.2
1人/年	54 100.0	30 55.6	30 55.6	36 66.7	34 63.0	22 40.7	29 53.7	6 11.1	1 1.9
2人/年	25 100.0	11 44.0	13 52.0	13 52.0	12 48.0	12 48.0	14 56.0	1 4.0	2 8.0
3～12人/年 （1人以下/月）	74 100.0	29 39.2	33 44.6	47 63.5	41 55.4	38 51.4	34 45.9	3 4.1	－ －
13～48人/年 （1人以下/週）	67 100.0	20 29.9	34 50.7	35 52.2	30 44.8	33 49.3	35 52.2	10 14.9	1 1.5
49～365人/年 （1人以下/日）	231 100.0	81 35.1	102 44.2	131 56.7	134 58.0	103 44.6	118 51.1	12 5.2	10 4.3
366人以上/年 （1人以下/日）	160 100.0	49 30.6	64 40.0	77 48.1	107 66.9	93 58.1	73 45.6	17 10.6	4 2.5
無回答	69 100.0	18 26.1	32 46.4	41 59.4	42 60.9	26 37.7	31 44.9	6 8.7	4 5.8

【ティンクルなごやに期待される役割（医療的ケアの必要な重症心身障害児者の受入の有無別）】

医療的ケアの必要な重症心身障害児者の受入の有無別でみると、受入れたことがないに比べ、受入れたことがあるで、「重症心身障害児者への支援や医療的ケアなどに関する研修の実施」の割合が61.8%と高くなっています。一方、受け入れたことがあるに比べ、受け入れたことがないで「事業所への巡回等支援（相談・助言等）」の割合が38.9%、「在宅の重症心身障害児者への訪問や巡回、リモートによる相談支援」の割合が48.2%と高くなっています。

[上段：回答数（事業所）、下段：構成比（%）]

区分	全 体	事業所への巡回等支援 （相談・助言等）	在宅の重症心身障害児者への 訪問や巡回、リモートによる相 談支援	介護者（保護者等）への メンタルケア支援	重症心身障害児者への支援や 医療的ケアなどに関する 研修の実施	重症心身障害児者の支援実績 がある事業所等の情報集約 および提供	重症心身障害児者の 受け入れ調整についての コーディネート支援	その他	無回 答
全 体	680 100.0	238 35.0	308 45.3	380 55.9	400 58.8	327 48.1	334 49.1	55 8.1	22 3.2
受入れたことがある	361 100.0	117 32.4	155 42.9	193 53.5	223 61.8	170 47.1	179 49.6	43 11.9	9 2.5
受入れたことがない	303 100.0	118 38.9	146 48.2	177 58.4	169 55.8	152 50.2	148 48.8	11 3.6	12 4.0
無回答	16 100.0	3 18.8	7 43.8	10 62.5	8 50.0	5 31.3	7 43.8	1 6.3	1 6.3

Ⅲ 調査票

1 障害児（者）

障害児（者）の方への調査アンケート

問1 このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。ご本人（障害児・者）から見た続柄で1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------------|----------|---------------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母 | 5. その他親族 | 6. 施設・事業所等の職員 |
| 7. その他 () | | |

問2 ご本人が現在生活しているところについて、1つだけ○をつけてください。

(短期入所中、一時的な入所又は入院中の方は、それまでに普段生活していたところを選択してください。)

- | | | | |
|-------|------------|---------|-------|
| 1. 自宅 | 2. グループホーム | 3. 入所施設 | 4. 病院 |
|-------|------------|---------|-------|

ご本人の状況

問3 ご本人の年齢を記入してください。(令和4年4月1日現在)

満 _____ 歳

問4 ご本人の身長と体重を記入してください。

身長 _____ c m 体重 _____ k g

問5 ご本人のお住まいの区を記入してください。

なお、ご本人がグループホームに入居中の場合はグループホームの所在区、入所・入院中の場合は、入所・入院する前の居住区を記入してください。

名古屋市 _____ 区

問6 ご本人の手帳の内容について記入してください。

1. 身体障害者手帳 _____ 級

障害名 ()

2. 愛護手帳 _____ 度 (療育手帳 A B C)

問7 ご本人は、障害支援区分の認定を受けていますか。いずれかに○をつけてください。

1. 受けている → あてはまる区分に○
(区分1・区分2・区分3・区分4・区分5・区分6)

2. 受けていない

日常生活の状況

問8 ご本人が義務教育対象年齢の方にお聞きします。学校教育はどこで受けていますか。
1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|-----------------|
| 1. 施設や病院内の学校で受けている（施設や病院で受ける訪問教育は除く） | 3. 特別支援学校へ通っている |
| 2. 訪問教育を受けている | 5. 受けていない |
| 4. 普通学級へ通っている | |

問9 ご本人の移動等の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 寝たきり | 2. 寝返りができる |
| 3. 腹ばい | 4. 四つばい |
| 5. 座ったままで進む | 6. 歩行器等を使用して移動できる |
| 7. 手つなぎ等で介助すれば歩くことができる | |
| 8. その他 [|] |

問10 ご本人の移動の手段はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. バギーを使用している |
| 2. 車いすを使用しているが、本人は操作できない |
| 3. 車いすを使用しており、本人が操作できる（電動車いすを含む） |
| 4. 歩行する（歩行器等の使用、手つなぎ等の介助を含む） |
| 5. その他 [|

問11 ご本人の意思表示・言語はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 意思表示がほとんどできない |
| 2. 表情、目の動きで伝えることができる |
| 3. 話せないが、声や手ぶりや身ぶりで伝えることができる |
| 4. 文字盤やトーキングエイド等の器具や装置を使って伝えることができる |
| 5. 単語で意思表示ができる |
| 6. 会話ができる |
| 7. その他 [|

問12 ご本人の食事の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 経管栄養（チューブで栄養剤を与える） | 3. 全介助（経口摂取） |
| 2. IVH（中心静脈栄養） | 5. 自力で食べることができる |
| 4. 一部介助（経口摂取） | |

問13 一回の食事に要する平均時間について、1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分～1時間未満 | 3. 1時間以上 |
|----------|--------------|----------|

問14 ご本人の排泄の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. おむつを使用 | 2. 全介助（トイレを使用） |
| 3. 一部介助（トイレを使用） | 4. 自力でできる |

問15 ご本人の排泄の予告の状況はいかがですか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 事前に知らせる | 2. 事後に知らせる |
| 3. 知らせることができない | |

問16 ご本人の排便に関して緩下剤又は浣腸を使用しますか。1つだけ○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 使用する（毎日又は数日おきの定期的な使用） |
| 2. ときどき使用する（便が溜まったとき等、不定期に使用） |
| 3. 使用しない |

問17 ご本人はてんかん発作がありますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 発作あり」に○をつけた方は、その頻度について、平均回数を記入し、回答された回数単位に○をつけてください。

- | | | |
|---------|------|----------------------|
| 1. 発作あり | → 頻度 | _____回 / (日・週・月・年) |
| 2. 発作なし | | |

問18 てんかん発作を抑える服薬はしていますか。いずれかに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 服薬している | 2. 服薬していない |
|-----------|------------|

問19 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活等でお困りのことはありますか。あてはまるものがありましたら、すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 本人又は家族が感染した場合、受入先がない |
| 2. 本人の家族が感染した場合、本人を介助する者がいない |
| 3. 本人が感染した場合、家族への感染対策に配慮した介助方法が分からない |
| 4. 福祉サービス事業所で感染者が出たため、事業所が休業してしまい、サービスを受けられない |
| 5. 本人又は家族がストレスを抱えている |
| 6. その他 (_____) |

医療に関する状況

問20 ご本人は医療的処置を受けていますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 受けている」に○をつけた方は、受けている医療的処置すべてに○をつけてください。

1. 受けている

- | | | |
|--------------------------|-------------|-------------|
| ア. 吸引 | イ. 吸入 | ウ. 在宅酸素 |
| エ. 人工呼吸器管理 | オ. 導尿 | カ. じょくそうの手当 |
| キ. 経管栄養 | → あてはまる処置に○ | |
| [鼻から・胃ろう・腸ろう・その他 ()] | | |
| ク. 気管切開の手当 (カニューレ交換、消毒等) | | |
| ケ. IVH (中心静脈栄養) | | |
| コ. その他 | () | |

2. 受けていない

問21 問2で、ご本人が現在生活しているところを「1. 自宅」と答えた方のみ記入してください。ご本人が風邪、軽症な感染症等の診療、予防接種等が必要な場合、地域でかけられる診療所等がありますか。いずれかに○をつけ、ある場合はかかる診療科を記入してください。

1. ある (診療科 _____ 科) 2. ない

福祉サービスの利用状況

問22～問25は、問2で、ご本人が現在生活しているところを「1. 自宅」又は「2. グループホーム」と答えた方のみ記入してください。なお、各福祉サービスの概要については、ご案内の裏面にある「福祉サービス一覧」をご参照ください。

問22 ご本人は現在、福祉サービスを利用していますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 利用している」に○をつけた方は、利用しているサービスすべてに○をつけてください。

1. 利用している

- | | | |
|----------------|----------------|-----------|
| ア. 居宅介護 | イ. 重度訪問介護 | ウ. 同行援護 |
| エ. 行動援護 | オ. 生活介護 | カ. 短期入所 |
| キ. 重度障害者包括支援 | ク. 児童発達支援 (通所) | ケ. 放課後等デイ |
| コ. 居宅訪問型児童発達支援 | サ. 移動支援 | シ. 移動入浴 |
| ス. 日常生活用具 | セ. 補装具 | |
| ソ. その他 | () | |

2. 利用していない

問23 今後どのような福祉サービスの利用を希望しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|----------------|-----------|
| 1. 居宅介護 | 2. 重度訪問介護 | 3. 同行援護 |
| 4. 行動援護 | 5. 生活介護 | 6. 短期入所 |
| 7. 重度障害者包括支援 | 8. 児童発達支援(通所) | 9. 放課後等デイ |
| 10. 居宅訪問型児童発達支援 | 11. 移動支援 | 12. 移動入浴 |
| 13. 日常生活用具 | 14. 補装具 | |
| 15. 療養介護 | 16. 障害者支援施設 | |
| 17. 福祉型障害児入所施設 | 18. 医療型障害児入所施設 | |
| 19. その他 (| |) |
| 20. 利用の希望がない | | |

問24 ご本人が利用している福祉サービスの量に満足していますか。1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. 普通 |
| 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 | |

問25 ご本人が利用している福祉サービスの質や内容に満足していますか。1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|-------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. 普通 |
| 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 | |

家族（介護者）の状況

問26～問32は、問2で「1. 自宅」と答えた方のみ記入してください。

問26 ご本人からみて同居されている家族について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母 | 5. その他親族 | |
| 6. その他 (| |) |

問27 どなたがご本人のお世話を主にされていますか。1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------|----------|--------------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 兄弟姉妹 |
| 4. 祖父母 | 5. その他親族 | 6. 事業所のヘルパー等 |
| 7. その他 | 〔 〕 | |

問28 問27で1～5に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の年齢を記入してください。(令和4年4月1日現在)

満_____歳

問29 問27で1～5に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の健康状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| 1. 健康 | 2. 腰痛 | 3. 肩痛 |
| 4. 慢性疲労 | 5. 慢性的な睡眠不足 | 6. 慢性病で治療中 |
| 7. 高齢による体力の減退 | 〔 〕 | |
| 8. その他 | 〔 〕 | |

問30 問27で1～5に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の睡眠状況について、あてはまるものいずれかに○をつけ、一日の睡眠時間を記入してください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 連続・継続してまとまった時間眠れる (_____時間 / 日) |
| 2. 短時間睡眠を複数回とっている (_____時間 / 日) |

問31 問27で1～5に○をつけた方のみ記入してください。主な介護者の他に、日常的に介護の協力をしていただいている方がみえますか。いずれかに○をつけてください。また、おみえになる場合は、ご本人から見た続柄で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|-------|---------|-------------|
| 1. いる | 〔 〕 | | |
| ↓ | ア 父 | イ 母 | ウ 兄弟姉妹 |
| ↓ | エ 祖父母 | オ その他親族 | カ 事業所のヘルパー等 |
| ↓ | キ その他 | 〔 〕 | |
| 2. いない | 〔 〕 | | |

問32 主な介護者が急な病気等でお世話できないときはどうされていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 他の家族が世話をする | 2. 家族以外の親戚に依頼する |
| 3. 知人に依頼する | 4. ホームヘルプを利用する |
| 5. ショートステイ（短期入所）を利用する | |
| 6. その他 | |

[

]

その他

問33 今後、新設または拡充してほしいサービス等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。また、選択肢にないものにつきましてもなにかございましたら、「8. その他」に記載してください。

1. 緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）
2. 介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充
3. 緊急時に受け入れ可能な病院・診療所
4. 重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所
5. 医療的ケアの行える施設、事業所等の増加
6. 医療、福祉、保健、教育などの各分野の包括的な相談や、障害児・者一貫した相談ができる窓口
7. ピアカウンセリング（※）による相談
8. その他

[

]

（※）ピアカウンセリング

同じような立場や悩みを抱えた人たちが集まり、同じ仲間として対等な立場で、悩みや不安を相談し合い、仲間同士で支え合うことを目的としたカウンセリングのことです。

問34 今後、在宅で生活していくために、ご本人およびその介護者の方への支援などで、不足している、または、必要であると感じることについて、あてはまるものがありましたら、すべてに○をつけてください。

また、選択肢にないものにつきましても、感じることなどがございましたら、「9. その他」に記載してください。

1. 吸引や呼吸器管理など医療的ケアに関するアドバイス
2. 摂食・嚥下に関するアドバイス
3. 介護や介助方法に関するアドバイス
4. 日常生活動作の維持・向上に関するアドバイス
5. 在宅生活での不安や悩みなどに対する心のケア（ピアカウンセリングなど）
6. 家庭への訪問による相談対応
7. 保護者同士のつながり（交流サロンの開催など）
8. 在宅生活支援に関する情報提供や支援制度についての相談対応
9. その他

問35 現在お困りのことで、名古屋市に期待すること、名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごやへ期待すること等がございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

アンケートについてご不明な点などがございましたら、名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課（電話：052-972-2560（直通））までお問い合わせください。

名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごやは、施設入所、短期入所を運営しております。当施設について、お知りになりたいことやお尋ねがございましたら、以下の連絡先までご連絡ください。

（名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや
電話：052-916-0333（※受付時間：午前9時～午後5時（土日祝日を除く））

2 事業所

重症心身障害児者の障害福祉サービス等に係る調査票

調査票は指定を受けられているサービス種別ごとにご回答ください。ただし、施設入所支援とともに日中活動系サービスの指定を受けられている場合、問1は「20. 障害者支援施設」に○をつけてください。

問1 貴事業所・施設のサービス種別について、1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 居宅介護 | 2. 重度訪問介護 |
| 3. 同行援護 | 4. 行動援護 |
| 5. 生活介護 | 6. 短期入所 |
| 7. 重度障害者等包括支援 | 8. 自立訓練（機能訓練） |
| 9. 自立訓練（生活訓練） | 10. 就労移行支援 |
| 11. 就労継続支援A型 | 12. 就労継続支援B型 |
| 13. 共同生活援助 | 14. 相談支援 |
| 15. 児童発達支援（通所） | 16. 医療型児童発達支援 |
| 17. 放課後等デイサービス | 18. 居宅訪問型児童発達支援 |
| 19. 保育所等訪問支援 | 20. 障害者支援施設 |
| 21. 療養介護 | 22. 福祉型障害児入所施設 |
| 23. 医療型障害児入所施設 | 24. 移動支援 |
| 25. 移動入浴 | 26. 精神障害者地域活動支援事業所 |
| 27. デイサービス型地域活動支援事業所 | 28. 作業所型地域活動支援事業所 |
| 29. 重症心身障害児小規模通所援護事業所 | 30. 福祉ホーム |
| 31. 訪問看護 | |

問2 貴事業所・施設の所在区を記入してください。

名古屋市_____区

問3 今までに重症心身障害児者（※）を貴事業所・施設で受入れたことがありますか。
いずれかに○をつけてください。

1. ある 2. ない → 問8へ

※「重症心身障害児者」とは次のいずれかに該当する方です。

1. 愛護手帳が1度又は2度で、かつ身体障害者手帳の肢体不自由（下肢、体幹又は脳原性による移動機能障害）の程度が1級又は2級の方
2. 児童相談所から重症心身障害児として認定を受けた方

問4 問3で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者の利用実績について、平均延人数を記入し、回答された人数の単位に○をつけてください。

実績_____人 / (日 ・ 週 ・ 月 ・ 年)

問5 問3で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者を受入れるに至った経緯について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 利用者の家族からの相談
2. 医療機関等からの紹介
3. 相談支援事業所からの依頼
4. その他

()

問6 問3で「1. ある」に○をつけた方のみ記入してください。医療的ケアが必要な重症心身障害児者を受入れたことがありますか。いずれかに○をつけてください。また、「1. 受入れたことがある」に○をつけた方は、必要な医療的ケアすべてに○をつけてください。

1. 受入れたことがある

- | | | | |
|---|----------|------------|-----------------|
| → | ア. 吸引 | イ. 吸入 | ウ. 気管切開の手当 |
| | エ. 在宅酸素 | オ. 人工呼吸器管理 | カ. 導尿 |
| | キ. 褥瘡の手当 | ク. 経管栄養 | ケ. IVH (中心静脈栄養) |
| | コ. その他 | () | |

2. 受入れたことがない

→ 問8へ

問7 問6で「1. 受入れたことがある」に○をつけた方のみ記入してください。重症心身障害児者を受入れるにあたって、対応したことはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 医師、看護師、理学療法士等の医療職の加配
2. 医療職以外の職員の加配
3. 介護や支援における専門知識の習得
4. 医療機関、福祉サービス事業所等との個別の連携
5. その他
6. 特に対応していない

()

問8 医療的ケアが必要な重症心身障害児者の利用を受け入れるにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 医療機関や福祉サービス等からの情報（身体、障害、既往歴、投薬状況等）
2. 重症心身障害についての専門知識や介護等の経験
3. 医師・看護師等の十分な配置
4. 報酬等の収入の増加
5. 医療的ケアに関する技術的な助言・指導を受けることができる仕組み
6. 事業所での対応が困難になった時の後方支援体制
7. その他 {

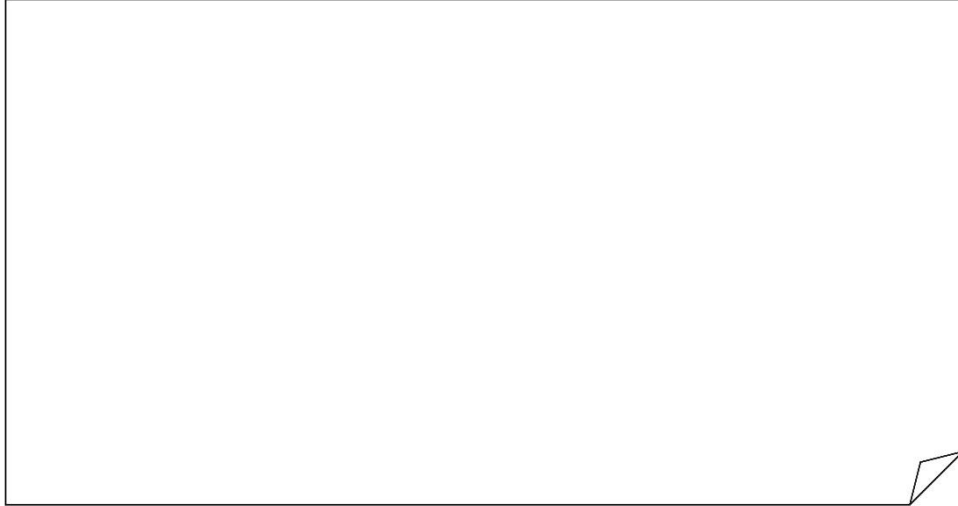
問9 重症心身障害児者およびその介護者の方の地域での生活を支援するにあたって、必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 緊急時に受け入れ可能なショートステイ（短期入所）
2. 緊急時に受け入れ可能な病院・診療所
3. 介護者のレスパイトケア（介護者の一時的な休息を支援するショートステイ等のサービス）の拡充
4. 医療的ケアの行える施設、事業所等の職員の増加
5. 重度の障害や医療的ケアを要していても、受け入れ可能な病院・診療所
6. 医療、福祉、保健、教育等の各分野の支援を調整するコーディネーターの育成
7. 障害児・者一貫した相談支援の行える専門機関（窓口）
8. 地域生活支援のための関係機関・事業所等のネットワーク化
9. その他 {

問10 重症心身障害児者およびその介護者の方の地域での生活を支援するにあたって、今後、名古屋市重症心身障害児者施設（ティンクルなごや）の役割として、期待されることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 事業所への巡回等支援（※相談・助言等）
2. 在宅の重症心身障害児者への訪問や巡回、リモートによる相談支援
3. 介護者（保護者等）へのメンタルケア支援
4. 重症心身障害児者への支援や医療的ケアなどに関する研修の実施
5. 重症心身障害児者の支援実績がある事業所等の情報集約および提供
6. 重症心身障害児者の受け入れ調整についてのコーディネート支援
7. その他 {

問11 その他、重症心身障害児者の支援について、名古屋市に期待すること、ご意見等がございましたら、ご記入ください。



※ 差支えなければ、貴事業所・施設の名称、ご担当者名、ご連絡先について、記入してください。

事業所・施設名称 _____

担当者 _____

住 所 _____

電 話 _____

ご協力ありがとうございました。

重症心身障害児者実態調査報告書

発行年月 令和4年8月

発 行 名古屋市

編 集 名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課
〒460-8508

名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電 話 〈052〉972-2560（ダイヤルイン）

FAX 〈052〉972-4149